



日本鳥類目録

Check-List of Japanese Birds

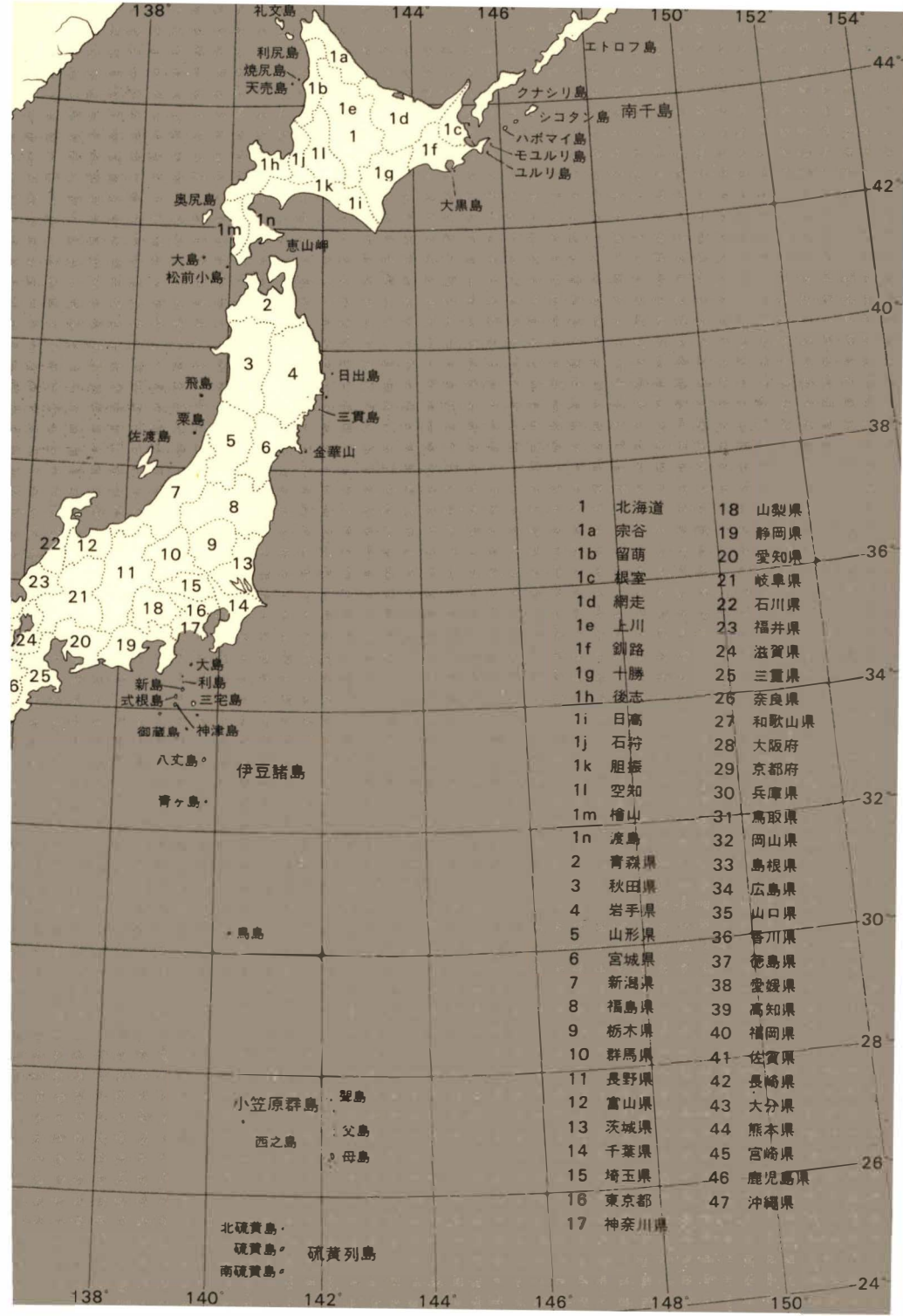
改訂第5版—1974

編纂—日本鳥学会

発行—学習研究社
昭和50年10月30日
(第2刷)

日本列島と島嶼地名図







●昭和48年度文部省科学研究費補助金(研究成果刊行費)交附助成図書

緒 言

世界各国の鳥類の種は、熱帯や大陸の大国では1,000種を越えるが、温帯地方の国では500種内外（通常約20%の迷鳥などを含む）であり、多くの国が自国産の全種の目録や図説を発行している。

本書もその代表的な出版物であり、日本領土から知られる全鳥類の種について学名、和名、英名、分布、国内産地、生息環境及び現状を掲げてある。

本書の初版は、1922年（大正11年）に日本鳥学会の創立10周年記念出版として発行され、その後、10年ごとに第2版（1932年）、第3版（1942年）と改訂、増補された。その内容は日本鳥学会の日本産鳥類の分類学的研究の歴史を如実に示しており、その間に多くの新種、亜種が収録され、第2、第3版では当時日本委任統治領であった裏南洋（マイクロネシア）の鳥類目録も加えられた。そして第3版において事実上、日本産鳥類の種類と分布の全貌が明らかにされたのである。

第4版は、1952年発行の予定であったが、戦後の諸事情で1958年まで延びた。この版では分類学的にはいくつかの学名変更はあるが、概ね第3版を踏襲し新しく“種の世界分布”（それまでは亜種を基準とした）と“現状status”を加えたが、政治的な日本領土の縮小に従い日本本土の鳥類に限定された（ただし、樺太、小笠原、千島、琉球、台湾、朝鮮の関連亜種も併記してある）。

今回の改訂第5版は1968年出版を目標に、1966年10月10人の編集準備委員によって着手し、週1回計30数回の委員会を開いて学名、和名、産地記録を検討し、1968年6月で全種についてこれを終了、国内産地の和文目録も作成することとし、7月から英文は黒田長久、浦本昌紀、和文は高野伸二の各委員担当で起草段階に入った（鳥89号：209）¹⁾しかし、その後の出版事情の困難もあって原稿の進捗が遅れていた。

1) その他の関連記事は鳥83号：219; 84号：271; 87号133参照。

このような状況のとき、1972年10月、学習研究社の原正氏から本書の刊行に協力の御申し出があり、従来は学会で編纂、発行してきた本書を、今回は日本鳥学会編纂、学習研究社発行とすることを評議員会で了承し、文部省大学学術局に研究成果刊行費の補助金を申請し受理された。

よって原稿完成を急ぐため更めて英文を黒田長久（スズメ目以外）、森岡弘之（スズメ目）、和文は高野伸二（代表）外の各氏担当で責任分担し、準備委員会の資料を基に新委員会を発足させ、学研から原正氏の参加を得て円滑に編集を進め、1974年3月の文部省

規定の刊行期日に間に合わすことができた次第であり、各執筆者、協力者、学習研究社の御協力を深く感謝する。

この版では、準備委員会で決定してあった、1) 範囲は日本本土のほか、南千島、沖縄、小笠原群島、硫黄列島、南鳥島、大東群島を含める、2) 種を単位とする第4版の方式を一層徹底する〔英文版ではRange, Status, Habitat, Locality Recordsの項目を設ける(新委員会で決定)〕3) 分類方式は従来のHartert式から近年各国で採用のWetmore式、つまりPetersの世界鳥類目録の方式に変更し、目、科はA new dictionary of birds, 属、種はVaurie, The birds of Palearctic faunaおよび一部はPetersのCheck list, X, XVなどを考慮する、の3点に基づいて編纂した。

初版以来の目録に収録された目、科、属、種、亜種の数、次表のようである。

日本鳥類目録収録種類数の変化

版 刊行年	目	科	属	種	種亜種	範囲
初版 1922	26	61	387	504	788	日本本土、小笠原・硫黄諸島、 沖縄、樺太、千島、朝鮮、台湾
第2版 1932	25 17	67 34	311 85	599 141	856 169	同 上 裏南洋 (マイクロネシア)
第3版 1942	25 18	67 36	291 86	577 147	893 194	同 上 裏南洋 (マイクロネシア)
第4版 1958	22	61	205	424	552	日本本土 (北海道～奄美大島)
第5版 1974	18	70	213	490	626	日本本土、小笠原、硫黄諸島、 沖縄、南千島

この表から、地理的範囲が版によって違うので比較には同地域で算定する必要があるが、少なくとも日本鳥類の分類も属の細分から統合への世界的な傾向に従っていることがわかる。第5版の英文版の分類学的内容は、準備委員会の検討を基礎とするが、終局的には黒田長久(スズメ目以外)、森岡(スズメ目)委員の個人的な分担によって執筆され、とくに森岡委員は独自の見解を随所に述べ、両者を執筆責任者とする形をとっている。

日本鳥類目録では、和名は初版以来各亜種につけられ、種の和名は載せていなかった。従来はこれでも特に不便を感じなかったが、分類学的研究以外は亜種に拘泥する必要は

少なく、また野外観察では亜種を確かめられない場合がほとんどである。このため、種に和名を選定する必要が生じ、次の主旨によって選定した。

1. 原則として1958年第4版の亜種名の中からもっとも一般的と思われる名（これは日本においてもっとも分布の広い亜種の和名と一致する場合が多い）を種名として採用した。

2. 一般名と混同されるおそれがあり、特に日本において多いとは言えない種については、接頭詞をつけて区別したものもある（例：コミズナギドリ、コゲンカンドリ、コクハクチョウ、クロハゲワシ等）。

3. 2, 3のものは各委員の意見を参考に改名した（例：アシナガコシジロウミツバメ→アシナガウミツバメ、タイワンミゾゴイ→ズグロミゾゴイ、カラフトコヒバリ→ヒメコウテンシ、キガシラツメナガセキレイ→キガシラセキレイ、スインホーガラ→ツリスガラ等）。

4. 日本国内に1亜種しかない場合は、原則として種名と同じものを亜種名とした。

5. 日本国内に2つ以上の亜種がある場合はもっとも分布の広い亜種に、種名と同じものをを用い、他の亜種は種名に接頭詞をつけて区別した（以上は原則として1958年第4版によった）。

6. 日本国内に2つ以上の亜種が同等に分布し、出現する場合は、すべての亜種を種名に接頭詞をつけて区別した（例：ヤマドリ、ダイサギ、フクロウ、ツメナガセキレイ等）。

7. 分類学的な関係を示すために、従来と違った名を採用したものがある（例：テッケイ→タイワンコジュケイ、コムシクイ→コメボソムシクイ）。

和文版の、種、亜種の分類、配列番号、学名は英文版に一致させてある。

終りに、本書の出版に当たり、その学術的意義を評価され、進んで御協力下さった学習研究社社長古岡秀人氏並びに編集、印刷上の実務および出版事務に細心、周到な努力を惜まれなかった同社科学書籍開発室原正氏及び岩本和子氏、莫大な英文タイプを担当された高橋克子氏に深堪の謝意を表し、多額の出版補助金の交付を決められた文部省の大学術局担当官の方々の御配慮を深く感謝する。さらに、小林桂助氏からは学名、和名、産地の全般について多くの助言、補足をいただき、英文に関してはR. De Lapp氏の校閲を煩したことを記し、心からの謝意を呈する。

昭和49年3月31日

日本鳥学会々頭 黒田長久

●日本鳥類目録改訂第5版編集委員

準備委員 (1966年11月～1968年6月)

山階芳麿 (委員長) 池田真次郎 清棲幸保 黒田長禮 黒田長久 三島冬嗣 高野
伸二 宇田川竜男 浦本昌紀 吉井 正

編集 (執筆) 委員 (1972年1月～1973年10月)

英文: 黒田長久 (スズメ目以外)

森岡弘之 (スズメ目)

和文: 高野伸二 (代表)

松山資郎 (アビ目～コウノトリ目)

柳沢紀夫 (ガンカモ目～ワシタカ目ワシタカ科, ヒタキ科ヒゲガラ亜科～ヒタ
キ亜科)

笹川昭雄 (ワシタカ目ハヤブサ科～ツル目, チドリ目カモメ亜目, ヤイロチョ
ウ科～モズ科)

高野伸二 (チドリ目チドリ亜目, レンジャク科～ヒタキ科ツグミ亜科, アトリ
科～カラス科)

内田康夫 (チドリ目ウミスズメ亜目～キツツキ目, エナガ科～ホオジロ科)

編集協力

小林桂助 (全般), Richard De Lapp (英文校閲), 学習研究社 (科学書籍開発室):

原 正

●凡例

1. 分類学的配列, 学名

分類学的配列, 種および亜種の分類, 学名についてはすべて英文版によった。

2. 産地の配列

おもな島は北から南へ, 付属の小島はおもな島のすぐ後に記した。

3. 本文中の記号

B = 繁殖, W = 越冬を示す。はっきりせぬものやまれなものには記号をつけなかった。

目次

アビ目	1
GAVIIFORMES	

アビ科	1
GAVIIDAE	

カイツブリ目	1
PODICIPEDIFORMES	

カイツブリ科	1
PODICIPITIDAE	

ミズナギドリ目	2
PROCELLARIIFORMES	

アホウドリ科	2
DIOMEDEIDAE	

ミズナギドリ科	3
PROCELLARIIDAE	

ウミツバメ科	5
HYDROBATIDAE	

ペリカン目	6
PELECANIFORMES	

ネットタイチョウ科	6
PHAETHONTIDAE	

ペリカン科	6
PELECANIDAE	

カツオドリ科	7
SULIDAE	

ウ科	7
PHALACROCORACIDAE	

ゲンカンドリ科	8
FREGATIDAE	

コウノトリ目	8
CICONIIFORMES	

サギ科	8
ARDEIDAE	

コウノトリ科	12
CICONIIDAE	

トキ科	13
THRESKIORNITHIDAE	

ガンカモ目	14
ANSERIFORMES	

ガンカモ科	14
ANATIDAE	

ワシタカ目 ————— 22
FALCONIFORMES

ワシタカ科 ————— 22
ACCIPITRIDAE

ハヤブサ科 ————— 26
FALCONIDAE

キジ目 ————— 27
GALLIFORMES

ライチョウ科 ————— 27
TETRAONIDAE

キジ科 ————— 28
PHASIANIDAE

ツル目 ————— 30
GRUIFORMES

ミフウズラ科 ————— 30
TURNICIDAE

ツル科 ————— 30
GRUIDAE

クイナ科 ————— 31
RALLIDAE

ノガン科 ————— 33
OTIDAE

チドリ目 ————— 34
CHARADRIIFORMES

レンカク科 ————— 34
JACANIDAE

タマシギ科 ————— 34
ROSTRATULIDAE

ミヤコドリ科 ————— 34
HAEMATOPODIDAE

チドリ科 ————— 34
CHARADRIIDAE

シギ科 ————— 37
SCOLOPACIDAE

セイタカシギ科 ————— 44
RECURVIROSTRIDAE

ヒレアシシギ科 ————— 44
PHALAROPODIDAE

ツバメチドリ科 ————— 44
GLAREOLIDAE

トウゾクカモメ科 ————— 44
STERCORARIIDAE

カモメ科 ————— 45
LARIDAE

ウミスズメ科 ————— 50
ALCIDAE

ハト目 ————— 53
COLUMBIFORMES

サケイ科 ————— 53
PTEROCLIDIDAE

ハト科 ————— 53
COLUMBIDAE

ホトトギス目	55
CUCULIFORMES	
ホトトギス科	55
CUCULIDAE	

フクロウ目	56
STRIGIFORMES	
フクロウ科	56
STRIGIDAE	

ヨタカ目	59
CAPRIMULGIFORMES	
ヨタカ科	59
CAPRIMULGIDAE	

アマツバメ目	60
APODIFORMES	
アマツバメ科	60
APODIDAE	

ブッポウソウ目	61
CORACIIFORMES	

カワセミ科	61
ALCEDINIDAE	

ハチクイ科	62
MEROPIDAE	

ブッポウソウ科	62
CORACIIDAE	

ヤツガシラ科	62
UPUPIDAE	

キツツキ目	63
PICIFORMES	

キツツキ科	63
PICIDAE	

スズメ目	66
PASSERIFORMES	
ヤイロチョウ科	66
PITTIDAE	
ヒバリ科	66
ALAUDIDAE	
ツバメ科	67
HIRUNDINIDAE	
セキレイ科	69
MOTACILLIDAE	
サンショウクイ科	71
CAMPEPHAGIDAE	
ヒヨドリ科	72
PYCNONOTIDAE	
モズ科	73
LANIIDAE	
レンジャク科	74
BOMBYCILLIDAE	
カワガラス科	75
CINCLIDAE	
ミソサザイ科	75
TROGLODYTIDAE	
イワヒバリ科	75
PRUNELLIDAE	
ヒタキ科	76
MUSCICAPIDAE	
ツグミ亜科	76
TURDINAE	
ダルマエナガ亜科	81
PARADOXORNITHINAE	
ウグイス亜科	82
SYLVIINAE	
ヒタキ亜科	85
MUSCICAPINAE	
カササギヒタキ亜科	87
MONARCHINAE	

エナガ科	87
AEGITHALIDAE	
ツリスガラ科	88
REMIZIDAE	
シジュウカラ科	88
PARIDAE	
ゴジュウカラ科	90
SITTIDAE	
キバシリ科	91
CERTHIIDAE	
メジロ科	91
ZOSTEROPIDAE	
ミツスイ科	92
MELIPHAGIDAE	
ホオジロ科	92
EMBERIZIDAE	
アトリ科	97
FRINGILLIDAE	
ハタオリドリ科	101
PLOCEIDAE	
ムクドリ科	102
STURNIDAE	
コウライウグイス科	102
ORIOLIDAE	
モリツバメ科	102
ARTAMIDAE	
カラス科	103
CORVIDAE	

日本鳥類目録改訂
第5版から除いた
種および亜種について——118

アビ目 GAVIIFORMES

アビ科 GAVIIDAE

1 アビ *Gavia stellata* (Pontoppidan)

アビ *Gavia stellata stellata* (Pontoppidan)

北海道, 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 伊豆諸島(大島)

冬期, 本州から九州沿岸の海上, 湾内, 河口に渡来する。

2 オオハム *Gavia arctica* (Linnaeus)

オオハム *Gavia arctica viridigularis* Dwight

北海道, 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬

冬期, 本州以南の沿岸や内海に渡来する。

3 シロエリオオハム *Gavia pacifica* (Lawrence)

北海道, 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(大島)

冬期, 主としてわが国の太平洋沿岸の内海に渡来する。

4 ハシジロアビ *Gavia adamsii* (Gray)

北海道(W), 本州(W), 九州(長崎1883年)

冬期, 太平洋岸に渡来するが多くない。北日本のほうが多い。

カイツブリ目 PODICIPEDIFORMES

カイツブリ科 PODICIPITIDAE

5 カイツブリ *Podiceps ruficollis* (Pallas)

カイツブリ *Podiceps ruficollis poggei* (Reichenow)

北海道(B), 南千島, 本州(B,W), 佐渡, 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄, 久米), 南部琉球(石垣, 与那国), 大東群島(B,W)

北海道から九州まで各地でふつうに繁殖するが, 北海道, 本州北部では夏鳥, 本州南部では留鳥である。

6 ハジロカイツブリ *Podiceps nigricollis* Brehm

ハジロカイツブリ *Podiceps nigricollis nigricollis* Brehm

北海道(W), 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島, 南部琉球(宮古)

冬期, 浅瀬の海岸や湾にふつうに渡来する。

7 ミミカイツブリ *Podiceps auritus* (Linnaeus)

ミミカイツブリ *Podiceps auritus auritus* (Linnaeus)

北海道(W), 南千島, 本州(W), 九州, 対馬(W), 北部琉球(奄美)

冬期, 本州, 九州の沿岸に渡来するが, 少ない。

8 アカエリカイツブリ *Podiceps grisegena* (Boddaert)

アカエリカイツブリ *Podiceps grisegena holbollii* Reinhardt

北海道(B), 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬
北海道で繁殖し, 本州以南へは冬期渡来し, 岸近くの海上に見られる。

9 カンムリカイツブリ *Podiceps cristatus* (Linnaeus)

カンムリカイツブリ *Podiceps cristatus cristatus* (Linnaeus)

北海道, 本州(B, W), 九州(W), 対馬(W), 南部琉球(宮古, 石垣)

主に冬鳥として渡来し, 湖沼や海上, 岸边近くに生息する。1972年, 青森県市柳沼にて繁殖しているのが発見された。

ミズナギドリ目 PROCELLARIIFORMES

アホウドリ科 DIOMEDEIDAE

10 アホウドリ *Diomedea albatrus* Pallas

北海道, 南千島, 本州, 九州, 対馬, 伊豆諸島(鳥島B), 小笠原群島(B?), 硫黄列島, 南鳥島(1924年), 南部琉球(尖閣B?)

かつては鳥島, 小笠原群島等で多数繁殖していたが, 現在は鳥島で少数繁殖している。

11 コアホウドリ *Diomedea immutabilis* Rothschild

北海道, 南千島, 本州, 伊豆諸島(八丈, 鳥島), 南鳥島, 中部琉球(久米), 南部琉球(宮古)

かつて鳥島で繁殖していたが, 現在は海上で見られるだけである。

12 クロアシアホウドリ *Diomedea nigripes* Audubon

北海道, 南千島, 本州, 四国, 伊豆諸島(鳥島B), 小笠原群島(B), 硫黄列島, 南部琉球(石垣, 仲神島, 尖閣)

鳥島および小笠原群島で繁殖が確認されているが, 硫黄列島, 尖閣列島等でも繁殖の可能性はある。

ミズナギドリ科 PROCELLARIIDAE

13 フルマカモメ *Fulmarus glacialis* (Linnaeus)

フルマカモメ *Fulmarus glacialis rodgersii* Cassin

北海道(W), 南千島(W), 本州(W), 伊豆諸島(八丈, 想婦岩沖)

北海道, 本州中部以北では冬期, 海上に渡来し, 北海道では夏も見られる。暴風雨等のために偶然陸地で発見されることもある。

14 ハジロミズナギドリ *Pterodroma solandri* (Gould)

大東群島(南大東島1931年8月3日一鳥33・34号), 本州東方海上(1964年6月30日～7月5日一鳥86号)

日本近海にはごくまれに飛来し, 少数の記録があるにすぎない。

15 オオシロハラミズナギドリ *Pterodroma externa* (Salvin)

オオシロハラミズナギドリ *Pterodroma externa cervicalis* (Salvin)

本州(愛知県名古屋市鶴舞公園1962年7月29日一山階鳥研報3巻3号)

北半球一日本からは初記録である。台風7号が名古屋地方を7月27日～28日にかけて通過後, 道路上で拾われたものである。

16 シロハラミズナギドリ *Pterodroma hypoleuca* (Salvin)

シロハラミズナギドリ *Pterodroma hypoleuca hypoleuca* (Salvin)

本州, 四国, 九州, 伊豆諸島, 小笠原群島(伊島B, 北之島), 硫黄列島(北硫黄島B), 南鳥島, 琉球(Hartert 報), 中部琉球(沖縄1971年)

小笠原群島と硫黄列島で繁殖し, 付近の海域には多いが, 本州, 四国, 九州には, ときに飛来するだけである。台風とともに飛来することが多い。

17 ヒメシロハラミズナギドリ *Pterodroma longirostris* (Stejneger)

ヒメシロハラミズナギドリ *Pterodroma longirostris longirostris*

(Stejneger)

本州(青森県陸奥湾1893年, 京都市嵯峨新宮町1972年9月)

日本では上記の記録しかない。1964年7月2日、本州東方(38°N~149°30'E付近)海上で本種6羽(亜種不明)が観察されている(鳥86号)。

18 アナドリ *Bulweria bulwerii* (Jardine & Selby)

本州(栃木, 長野, 大阪湾), 伊豆諸島, 小笠原群島(西之島B), 硫黄列島(北硫黄島, 硫黄島B), 南鳥島, 南部琉球(石垣, 西表), 大東群島(南大東島)
小笠原群島, 硫黄列島で繁殖している。本州, 伊豆諸島へはまれに飛来する。

19 オオミズナギドリ *Calonectris leucomelas* (Temminck)

北海道(B), 南千島, 本州(B, W), 佐渡, 隠岐, 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬, 男女群島(B, W), 種子島, 伊豆諸島(大島B, 利島B, 新島B, 三宅B, 神津B, 御蔵B, 八丈B), 北部琉球(奄美, 徳之島, 沖永良部), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 西表, 仲神島, 尖閣)

日本周辺の島では北海道から九州まで集団繁殖地があり, 春から秋にかけて繁殖し, 海上にも多数見られるが, 厳寒期には少なくなる。

20 オナガミズナギドリ *Puffinus pacificus* (Gmelin)

オナガミズナギドリ *Puffinus pacificus chlororhynchus* Lesson

本州(相模湾, 富山, 福井, 山梨), 伊豆諸島(鳥島), 小笠原群島(B), 硫黄列島(北硫黄島B, 硫黄島B, 南硫黄島B), 南鳥島

小笠原群島, 硫黄列島で繁殖し, 本州, 伊豆諸島へ飛来したことがある。

21 アカアシミズナギドリ *Puffinus carneipes* Gould

アカアシミズナギドリ *Puffinus carneipes carneipes* Gould

北海道, 南千島, 本州, 伊豆諸島(大島, 新島, 鳥島)

本州沿岸, 北海道の南部に, 春から夏にかけてふつうに飛来する。

22 ハイイロミズナギドリ *Puffinus griseus* (Gmelin)

北海道, 南千島, 本州, 九州, 伊豆諸島

本州沿岸および北海道沿岸へ, 春から夏にかけてふつうに渡来する。

23 ハシボソミズナギドリ *Puffinus tenuirostris* (Temminck)

北海道, 南千島, 本州, 四国, 九州, 伊豆諸島, 小笠原群島

春から夏にかけて日本近海に多数渡来し, 大きな群れが見られる。

24 コミズナギドリ *Puffinus nativitatis* Streets

本州(宮城県亘理郡坂元1947年3月, 神奈川県相模湾1924年2月)

迷行した上記記録があるだけの, まれな種である。

4 25 セグロミズナギドリ *Puffinus lherminieri* Lesson

セグロミズナギドリ *Puffinus lherminieri bannermani* Mathews & Iredale

小笠原群島, 硫黄列島(北硫黄島B), 南部琉球(石垣)

北硫黄島で繁殖し, 小笠原群島, 硫黄列島の海域に見られるが, 多くない。

ウミツバメ科 HYDROBATIDAE

26 アシナガウミツバメ *Oceanites oceanicus* (Kuhl)

アシナガウミツバメ *Oceanites oceanicus exasperatus* Mathews

本州(千葉県犬吠埼灯台1932年4月6日, 岩手県三陸沖1967年7月11日), 伊豆諸島(鳥島東50カイリ1967年11月—山階鳥研報30号)

日本近海への飛来は少なく, 3例があるのみである。

27 ハイイロウミツバメ *Oceanodroma furcata* (Gmelin)

ハイイロウミツバメ *Oceanodroma furcata furcata* (Gmelin)

北海道, 南千島, 本州(青森, 岩手, 新潟, 神奈川, 静岡, 兵庫), 硫黄列島, 南鳥島

わが国の沿岸に, まれに飛来する。

28 コシジロウミツバメ *Oceanodroma leucorhoa* (Vieillot)

コシジロウミツバメ *Oceanodroma leucorhoa leucorhoa* (Vieillot)

北海道(B), 南千島, 本州, 伊豆諸島(大島, 八丈, 鳥島), 小笠原群島(父島)

北海道の大黒島で繁殖し, 本州, 伊豆諸島, 小笠原群島へ飛来の記録がある。

29 ヒメクロウミツバメ *Oceanodroma monorhis* (Swinhoe)

本州(B—青森県尻屋崎, 岩手県三貫島, 京都府杵島), 隠岐(B), 九州(沖ノ島B), 伊豆諸島(八丈), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣)

尻屋崎, 三貫島, 沖ノ島等で繁殖し, 本州沿岸, 伊豆諸島, 沖縄へ渡来する。

30 クロコシジロウミツバメ *Oceanodroma castro* (Harcourt)

本州(青森, 岩手県三貫島B, 日出島B, 宮城, 栃木, 静岡県御前崎, 千葉県犬吠埼, 茂原, 神奈川県横須賀, 福井, 奈良)

岩手県下の三貫島, 日出島で繁殖し, 本州の沿岸に飛来する。

31 オーストンウミツバメ *Oceanodroma tristrami* Salvin

本州, 伊豆諸島(蛇島B, オンパセ岩B, 鳥島B), 小笠原群島, 硫黄列島(北硫黄島B)

伊豆諸島の鳥島や、硫黄列島で繁殖し、春、本州沿岸へ飛来する。岩手県三貫島で繁殖期に捕獲されている。

32 クロウミツバメ *Oceanodroma malsudairae* Kuroda

本州(相模湾1921年5月, 宮城県本吉郡志津川町1956年2月24日), 小笠原群島(母島, 西之島), 硫黄列島(北硫黄島B)

硫黄列島の北硫黄島で繁殖の記録があるが, 本州沿岸では2回しか飛来の報告がない。

ペリカン目 PELECANIFORMES

ネッタイチョウ科 PHAETHONTIDAE

33 アカオネッタイチョウ *Phaethon rubricauda* Boddaert

アカオネッタイチョウ *Phaethon rubricauda rothschildi* (Mathews)

本州(岩手, 埼玉, 長野, 山梨, 岐阜, 大阪, 兵庫), 小笠原群島, 硫黄列島(北硫黄島B, 南硫黄島B?), 南鳥島(B)

硫黄列島の北硫黄島, 南鳥島で繁殖の記録がある。ほかに迷鳥として本州へ飛来することがある。

34 シラオネッタイチョウ *Phaethon lepturus* Daudin

シラオネッタイチョウ *Phaethon lepturus dorotheae* Mathews

本州(山梨, 石川, 長野), 小笠原群島(嫁島), 硫黄列島(北硫黄島), 南鳥島, 琉球

わが国へは, 迷鳥としてきわめてまれに飛来する。

ペリカン科 PELECANIDAE

35 ハイイロペリカン *Pelecanus philippensis* Gmelin

ハイイロペリカン *Pelecanus philippensis crispus* Bruch

九州(福岡県糸島郡今津村浜崎1941年10月17日, 鹿児島県嚙喰郡志布志町安楽川口1919年10月~11月), 南部琉球(石垣, 登野島)

わが国へは, 迷鳥としてまれに渡来するだけである。上記のほかに千葉県行徳での観察記録(1968年9月, 10月)がある。

カツオドリ科 SULIDAE

36 カツオドリ *Sula leucogaster* (Boddaert)

カツオドリ *Sula leucogaster plotus* (Forster)

本州(金華山沖, 宮城, 犬吠埼, 静岡, 兵庫), 四国(高知), 九州(長崎, 熊本, 宮崎, 鹿児島, 草垣島B), 伊豆諸島(御蔵, 八丈, 蘭灘波B, 須美寿B), 小笠原群島(B), 硫黄列島(B), 南鳥島, 南部琉球(石垣, 西表, 仲神島B, 尖閣B) 大東群島(南大東島, 沖大東島)

伊豆諸島(須美寿, 蘭灘波), 小笠原群島, 硫黄列島, 九州(草垣島), 八重山群島(仲神島); 尖閣列島で繁殖する。本州, 伊豆諸島, 四国, 九州に, ときどき飛来する。

37 アオツラカツオドリ *Sula dactylatra* Lesson

アオツラカツオドリ *Sula dactylatra personata* Gould

佐渡(1968年1月), 伊豆諸島(明神礁付近1969年7月22日), 小笠原群島(父島と母島の間海域1968年8月23日), 南部琉球(仲神島1965年8月) 小笠原群島, 八重山群島などの沿岸へ, まれに飛来する。

38 アカアシカツオドリ *Sula sula* (Linnaeus)

アカアシカツオドリ *Sula sula rubripes* Gould

小笠原群島(西之島), 硫黄列島(北硫黄島), 南鳥島, 南部琉球 ごくまれに渡来するにすぎない。

ウ科 PHALACROCORACIDAE

39 カワウ *Phalacrocorax carbo* (Linnaeus)

カワウ *Phalacrocorax carbo hanedae* Kuroda

北海道, 南千島, 本州(B, W), 四国, 九州, 対馬, 伊豆諸島, 小笠原群島(智島), 南部琉球(宮古, 西表, 与那国), 大東群島(南大東島)

本州各地で繁殖していたが, 現在しだいに減っている。本州以外での繁殖については確実な報告がない。

40 ウミウ *Phalacrocorax filamentosus* (Temminck & Schlegel)

北海道(B, W), 南千島(B), 本州(B, W), 佐渡, 隠岐, 四国(W), 九州(B, W), 対馬, 種子島, 伊豆諸島(W), 小笠原群島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(黒島, 与那国)

北海道, 本州北部, 九州北部で繁殖し, その他の地方へは冬鳥として飛来する。

41 ヒメウ *Phalacrocorax pelagicus* Pallas

ヒメウ *Phalacrocorax pelagicus pelagicus* Pallas

北海道(B,W), 南千島(B), 本州(B,W), 佐渡, 隠岐, 九州(B,W), 対馬(W),
伊豆諸島(大島W, 式根W, 三宅W)

北海道, 本州(青森), 九州北部で繁殖。本州中部以北の海岸や島で越冬するものが多い。

42 チシマウガラス *Phalacrocorax urile* (Gmelin)

北海道(B), 南千島(B), 本州(青森, 宮城, 新潟)

北海道東部の岬および島で繁殖しているが, 本州にはまれに渡来するにすぎない。

グンカンドリ科 FREGATIDAE

43 オオグンカンドリ *Fregata minor* (Gmelin)

オオグンカンドリ *Fregata minor minor* (Gmelin)

本州(兵庫県昆陽池1954年9月29日), 淡路島(1969年7月), 伊豆諸島(八丈島八丈町中之郷三原山1954年11月30日), 小笠原群島(父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島, 南硫黄島), 南鳥島

確実な記録としては上記のものしかないが, それらしい鳥の観察記録は本州の大平洋岸で数回ある。

44 コグンカンドリ *Fregata ariel* (Gray)

コグンカンドリ *Fregata ariel ariel* (Gray)

北海道(函館, 釧路), 本州(宮城, 栃木, 千葉, 神奈川, 静岡, 兵庫, 大阪),
佐渡, 九州, 伊豆諸島(大島, 新島), 大東群島(南大東島)

わが国へは迷鳥として, ときに飛来する。

コウノトリ目 CICONIIFORMES

サギ科 ARDEIDAE

45 サンカノゴイ *Botaurus stellaris* (Linnaeus)

サンカノゴイ *Botaurus stellaris stellaris* (Linnaeus)

北海道(B?), 本州(W), 佐渡, 四国, 九州, 奄岐, 伊豆諸島(大島, 八丈), 北部琉球(奄美), 南部琉球(伊良部, 石垣, 与那国)

北海道では夏期観察されるが, 巣卵の発見はない。本州以南では冬期記録されるが, 少ない。広大なよし原にすむ。

46 ヨシゴイ *Ixobrychus sinensis* (Gmelin)

ヨシゴイ *Ixobrychus sinensis sinensis* (Gmelin)

北海道(B), 南千島(クナシリ), 本州(B), 佐渡(B), 四国(B), 九州(B), 伊豆諸島(大島, 御蔵, 八丈, 鳥島), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美, 沖永良部, 与論), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣), 大東群島

各地のよし原でふつうに繁殖していたが, 近年は減っている。

マリアナヨシゴイ *Ixobrychus sinensis bryani* (Seale)

本州(静岡県御前崎1937年10月3日一鳥78号)

台風で迷行した1例だけである。

47 オオヨシゴイ *Ixobrychus eurhythmus* (Swinhoe)

北海道(B), 本州(B), 佐渡(B), 四国, 九州, 対馬, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島), 南部琉球(石垣), 大東群島(南大東島)

本州中部以北のよし原, 草原で繁殖しているが, ヨシゴイより少なく, 特に近年減っている。

48 リュウキュウヨシゴイ *Ixobrychus cinnamomeus* (Gmelin)

種子島, 硫黄列島(北硫黄島), 南鳥島, 北部琉球(奄美, 徳之島, 沖永良部B, W, 与論), 中部琉球(沖縄B, W, 屋我地), 南部琉球(宮古, 伊良部, 石垣B, W, 西表B, W, 与那国), 大東群島(北大東島, 南大東島)

薩南諸島以南に留鳥としてふつうに生息する。

49 ミゾゴイ *Gorsakius goisagi* (Temminck)

北海道(松前小島), 本州(B), 佐渡, 四国(B), 九州(B, W), 対馬, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(B), 硫黄列島, 北部琉球(奄美, 喜界), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣)

本州, 伊豆諸島, 九州で繁殖する夏鳥で, 日本南部で越冬するものがある。

50 ズグロミゾゴイ *Gorsakius melanolophus* (Raffles)

ズグロミゾゴイ *Gorsakius melanolopus melanolopus* (Raffles)

南部琉球(石垣 B, W - 鳥研報30号, 西表島 B, W, 黒島)

八重山群島では留鳥として生息する。

51 ゴイサギ *Nycticorax nycticorax* (Linnaeus)

ゴイサギ *Nycticorax nycticorax nycticorax* (Linnaeus)

北海道, 本州(B, W), 佐渡(B, W), 隠岐, 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬, 伊豆諸島(大島, 新島, 三宅, 御蔵, 八丈, 鳥島), 小笠原群島(智島, 父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国)

本州以南では留鳥, 漂鳥として生息し, 中国, フィリピン諸島, インドシナまで渡るものもある。

52 ハシブトゴイ *Nycticorax caledonicus* (Gmelin)

ハシブトゴイ *Nycticorax caledonicus crassirostris* Vigors

小笠原群島(媒島)

1827年, 1828年, 1889年の3回, 3点の採集記録を残して絶滅したと考えられている。

53 ササゴイ *Butorides striatus* (Linnaeus)

ササゴイ *Butorides striatus amurensis* (Schrenck)

北海道(函館), 本州(B), 佐渡, 四国(B), 九州(B), 対馬, 種子島, 屋久島, 伊豆諸島(三宅 B, 八丈), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国), 大東群島
本州, 四国, 九州でふつうに繁殖していたが, 近年は著しく減っている。

54 アカガシラサギ *Ardeola bacchus* (Bonaparte)

北海道(函館), 本州(山形, 宮城, 茨城, 新潟1969年, 長野, 兵庫), 九州(佐賀), 伊豆諸島(大島1972年, 八丈), 硫黄列島(北硫黄島), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表1972年, 与那国)

わが国へは迷鳥として, まれに飛来する。

55 アマサギ *Bubulcus ibis* (Linnaeus)

アマサギ *Bubulcus ibis coromandus* (Boddaert)

北海道, 本州(B), 隠岐, 四国(B), 九州(B), 対馬, 男女群島, 屋久島, 伊豆諸島(大島, 八丈, 鳥島), 小笠原群島, 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄

美), 中部琉球(沖縄, 久米), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 鳩間, 与那国), 大東群島(南大東島)

本州中部以南ではふつうに繁殖するが, 近年北上の傾向があり, 北海道でも夏の記録が多くなりつつある。

56 **ダイサギ** *Egretta alba* (Linnaeus)

オオダイサギ *Egretta alba alba* (Linnaeus)

北海道, 本州(W), 九州(W), 小笠原群島, 琉球

冬鳥として飛来するが, 多くない。

チュウダイサギ *Egretta alba modesta* (Gray)

北海道, 南千島, 本州(B, W), 佐渡, 四国(W), 九州(B, W), 対馬, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島, 硫黄列島, 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄W), 南部琉球(宮古W, 石垣W, 西表W, 与那国W)

本州中部以南および九州ではふつうに繁殖し, 冬も残るものがある。

57 **チュウサギ** *Egretta intermedia* (Wagler)

チュウサギ *Egretta intermedia intermedia* (Wagler)

北海道, 南千島, 本州(B, W), 佐渡(B), 四国(B), 九州(B, W), 対馬, 伊豆諸島(大島, 神津, 三宅, 八丈, 鳥島), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島, 硫黄島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 西表, 与那国), 大東群島(南大東島)

夏鳥として渡来し, 本州, 佐渡, 四国, 九州でふつうに繁殖する。日本南部では冬期残るものもある。

58 **コサギ** *Egretta garzetta* (Linnaeus)

コサギ *Egretta garzetta garzetta* (Linnaeus)

北海道, 本州(B, W), 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬(B, W), 屋久島(W), 伊豆諸島(三宅W), 小笠原群島(父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄W), 南部琉球(宮古W, 石垣W, 西表W, 小浜, 与那国W) 本州, 四国, 九州で繁殖し, 越冬するものも多い。

59 **カラシラサギ** *Egretta eulophotes* (Swinhoe)

北海道(石狩川1972年8月), 本州(大阪湾南港1956年5月, 8月一鳥67号, 鳥獣集報16巻1号), 佐渡(1973年4月), 対馬(1963年1月, 1964年10月), 男女群島(女島1970年4月—どうぶつと動物園24巻4号)

迷鳥として、まれに飛来する。

60 クロサギ *Egretta sacra* (Gmelin)

クロサギ *Egretta sacra sacra* (Gmelin)

本州(B,W), 佐渡(B,W), 粟島(B,W), 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬(B,W), 五島列島(B,W), 種子島(B,W), 伊豆諸島(B,W), 琉球全域(B,W)
本州中部以南で繁殖しているが、近年、本州北部(青森, 山形, 宮城, 福島)でも観察されている。

61 アオサギ *Ardea cinerea* Linnaeus

アオサギ *Ardea cinerea jouyi* Clark

北海道(B), 南千島, 本州(B,W), 粟島, 佐渡, 四国(B,W), 九州(W), 対馬(B,W), 伊豆諸島(大島, 八丈), 小笠原群島(父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島, 硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国)

北海道, 本州, 四国で繁殖する。北海道では夏鳥, 本州, 四国では留鳥あるいは漂鳥である。

62 ムラサキサギ *Ardea purpurea* Linnaeus

ムラサキサギ *Ardea purpurea manilensis* Meyen

北海道, 利尻島, 本州, 四国, 九州, 伊豆諸島(八丈), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(沖永良部), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, B,W, 与那国)
旅鳥または冬鳥として飛来するが、少ない。八重山群島では繁殖の可能性があり。

コウノトリ科 CICONIIDAE

63 コウノトリ *Ciconia ciconia* (Linnaeus)

コウノトリ *Ciconia ciconia boyciana* Swinhoe

北海道(十勝, 苫小牧1972年), 本州(秋田, 茨城1959年, 千葉, 東京, 神奈川, 石川, 福井B,W, 静岡1973年, 京都1968年, 1973年, 兵庫B,W), 佐渡(1972年), 四国(徳島, 愛媛1973年, 高知1969年, 1973年), 九州(福岡1972年, 熊本1962年, 宮崎1960年, 長崎1973年, 鹿児島), 中部琉球(沖縄1967年), 南部琉球(宮古, 石垣)
近年まで兵庫, 福井両県下で繁殖するものがあったが、現在は、野生のものは冬期ときおり各地へ大陸から飛来するだけとなった。

64 ナベコウ *Ciconia nigra* (Linnaeus)

本州(東京1892年1月19日, 1946年12月29日, 埼玉, 山梨1970年11月10日, 岐阜1968年11月, 三重1973年11月), 四国(高知), 九州(鹿児島1927年, 1928年, 1929年, 1930年, 1936年, 1937年, 1938年, 1939年, 1948年), 種子島, 伊豆諸島(八丈1941年10月), 南部琉球(宮古, 石垣1929年3月, 1933年2月, 西表1921年11月, 1964年12月25日, 与那国1973年3月16日)

かつて九州には数年続けて渡来したことがある。北海道, 本州, その他へ迷鳥または, まれな冬鳥として飛来する。

トキ科 THRESKIORNITHIDAE

65 ヘラサギ *Platalea leucorodia* Linnaeus

ヘラサギ *Platalea leucorodia leucorodia* Linnaeus

北海道(函館), 南千島(エトロフ), 本州(W-青森, 茨城, 千葉, 東京, 神奈川, 新潟, 石川, 愛知, 京都, 大阪, 兵庫), 四国(徳島), 九州(W), 琉球
鹿児島県出水市荒崎には冬鳥として毎年渡来するが, その他の地方ではまれである。

66 クロツラヘラサギ *Platalea minor* Temminck & Schlegel

本州(千葉1963年, 新潟1956年11月, 愛知1973年), 九州(福岡, 長崎, 熊本1973年4月, 鹿児島1963年, 1965年, 1969年, 1970年), 五島列島, 南部琉球(石垣)
鹿児島県出水市荒崎にはときどき渡来するが, その他の地方ではまれである。
近年の記録として千葉県浦安1963年7月~9月, 愛知県鍋田1973年12月, 熊本県八代1973年4月, 鹿児島県荒崎1965年12月, 1969年12月, 1970年11月がある。

67 トキ *Nipponia nippon* T(Temminck)

北海道, 本州(岩手, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 新潟, 長野, 岐阜, 石川, 福井1957年), 佐渡(B, W), 隠岐, 四国(徳島), 九州, 伊豆諸島(八丈), 琉球
かつては日本各地に生息していたが, 現在では繁殖が確認されているのは佐渡だけとなった。1973年現在, 野生のもの13羽, 飼育中のもの1羽がいる。

68 クロトキ *Threskiornis melanocephalus* (Latham)

北海道(函館, 網走郡美幌1955年10月), 本州(岩手1962年, 埼玉, 東京1973年, 千葉1951年, 1954年, 1963年, 1964年, 1965年, 1966年, 1973年, 神奈川, 愛知1963年, 大阪1971年, 兵庫1961年, 1963年), 九州(鹿児島1963年, 1970年),

伊豆諸島(御蔵1963年2月), 南部琉球(石垣1966年), 琉球各地に不規則に渡来するが, 少ない。大部分は若鳥である。1963年10月, 鹿児島県出水市荒崎に18羽が渡来したことがある。

ガンカモ目 ANSERIFORMES

ガンカモ科 ANATIDAE

69 シジュウカラガン *Branta canadensis* (Linnaeus)

シジュウカラガン *Branta canadensis leucopareia* (Brant)

北海道(函館), 本州(W-青森, 秋田1973年, 宮城1965年, 1970年, 1971年, 1972年, 1973年, 埼玉1925年, 1929年, 千葉1913年~28年, 兵庫県昆陽池 1950年)かつては冬鳥として定期的に渡来していたが, 1929年以後, 標本記録がなかった。近年は不定期であるが, 本州北部にごく少数が越冬する。1972年冬には宮城県伊豆沼に3羽, 1973年冬には2羽が渡来した。

ヒメシジュウカラガン *Branta canadensis minima* Ridgway

本州(神奈川県横浜1894年一鳥61号)

アラスカからカリフォルニアへ渡るが, ハワイでも記録がある。わが国では迷鳥として1例のみ。

70 コクガン *Branta bernicla* (Linnaeus)

コクガン *Branta bernicla orientalis* Tougarinov

北海道(W), 本州(W), 佐渡(W), 四国, 九州(W), 対馬
本州中部以北の海岸に少数が渡来する。陸奥湾, 松島湾には, 現在でも冬鳥として毎年渡来する。

71 ハイイロガン *Anser anser* (Linnaeus)

ハイイロガン *Anser anser rubrirostris* Swinhoe

本州(埼玉, 千葉, 長野1973年, 愛知1973年), 九州(熊本1972年), 南部琉球(石垣1931年, 1933年, 1972年, 与那国1972年)

きわめてまれに渡来するのみで, 主に秋から春にかけての冬期間に記録されている。

72 マガン *Anser albifrons* (Scopoli)

オオマガン *Anser albifrons gambelli* Hartlaub

本州(宮城県福田町1966年, 宮城県伊豆沼1966年, 千葉県手賀沼1925年?)

冬鳥として渡来するが, 少ない。

マガン *Anser albifrons frontalis* Baird

北海道, 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬, 伊豆諸島, 硫黄列島(北硫黄島)

北海道では旅鳥として秋および春に通過し, 本州北部で越冬するが, 数は多くない。四国, 九州で越冬するものの数はごく少ない。

73 カリガネ *Anser erythropus* (Linnaeus)

北海道, 本州(W-青森, 宮城, 山形, 茨城, 千葉, 東京, 神奈川, 石川), 四国(高知), 九州(福岡), 伊豆諸島(八丈)

主にマガンの群中に混じって渡来するが, 数はごく少ない。近年は連続渡来が見られる。

74 ヒシクイ *Anser fabalis* (Latham)

ヒシクイ *Anser fabalis serrirostris* Swinhoe

北海道, 南千島, 本州(W), 佐渡, 四国, 九州(W), 対馬, 壱岐, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(智島, 父島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣)

北海道では旅鳥として秋および春期に通過し, 本州北部で越冬するが, マガンよりも少ない。マガンよりも沼地を好む。

オオヒシクイ *Anser fabalis middendorffii* Severtzow

北海道, 本州(W-青森, 新潟, 茨城, 千葉, 岐阜)

冬鳥として渡来するが, 少ない。

ヒメヒシクイ *Anser fabalis curtus* Lönnerberg

小笠原群島(智島)

まれに渡来する。本州(福井)の記録もある。

75 ハクガン *Anser caerulescens* (Linnaeus)

ハクガン *Anser caerulescens hyperboreus* Pallas

北海道(1971年, 1972年), 本州(W-青森1971年, 宮城1951年, 1965年, 1973年, 埼玉1936年, 1937年, 千葉1936年, 1957年, 東京, 神奈川, 新潟1940年, 1970年, 1971年, 石川1966年, 長野1940年), 九州(長崎)

マガン等に混じって, まれに渡来するのみである。

- 76 ミカドガン *Anser canagicus* (Sewastianov)
 本州(宮城県仙台市福田町 1羽 1964年11月~1965年2月)
 迷鳥として1例のみ。
- 77 サカツラガン *Anser cygnoides* (Linnaeus)
 北海道, 南千島, 本州(W), 九州
 かつて東京湾では1950年までは定期的に渡来し, 越冬していた。現在は他種のガン類に混じって, まれにごく少数(1羽のことが多い)が渡来するのみ。近年の記録として札幌(1970年), 石川(1967年), 兵庫(1956年), 山口(1974年)がある。
- 78 コブハクチョウ *Cygnus olor* (Gmelin)
 伊豆諸島(八丈1933年11月)
 迷鳥として1例あるのみ。
- 79 オオハクチョウ *Cygnus cygnus* (Linnaeus)
 北海道(W), 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬, 小笠原群島(父島)
 冬鳥として渡来し, 北海道, 本州北部の湖沼, 河川などに生息する。
- 80 コハクチョウ *Cygnus columbianus* (Ord)
 コハクチョウ *Cygnus columbianus jankowskii* Alphéraky
 北海道, 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 硫黄列島(北硫黄島)
 本州各地に冬鳥として渡来する。オオハクチョウよりも, より南で越冬している。
- アメリカコハクチョウ *Cygnus columbianus columbianus* (Ord)
 本州(宮城県伊豆沼1972年11月, 1974年1月, 福島県猪苗代湖1968年1月, 1974年2月, 新潟県瓢湖1974年2月)
 迷鳥として5回記録がある。
- 81 リュウキュウガモ *Dendrocygna javanica* (Horsfield)
 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 西表, 黒島)
 主に南部琉球の島々の湖沼や川に生息しているが, 生息状況等ははっきりしない。
- 82 アカツクシガモ *Tadorna ferruginea* (Pallas)
 本州, 佐渡, 隠岐, 九州(W), 五島列島, 南部琉球(石垣)

数の少ない冬鳥として渡来する。

83 ツクシガモ *Tadorna tadorna* (Linnaeus)

北海道, 本州, 隠岐, 四国, 九州(W), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣)
主に九州地方の, 干潟のある海岸に渡来する冬鳥。他地域にも渡来するが,
数はごく少ない。

84 カンムリツクシガモ *Tadorna cristata* (Kuroda)

北海道(函館付近湯の川—古図例)

南満州, 韓国, ソ連沿海州などから記録がある。わが国からは上記の函館の絵
図の例で知られるのみである。

85 オシドリ *Aix galericulata* (Linnaeus)

北海道(B), 南千島(クナシリ), 本州(B,W), 粟島, 佐渡, 隠岐, 四国, 九州
(B,W), 対馬, 壱岐, 種子島, 伊豆諸島(三宅, 八丈), 北部琉球(奄美), 中部
琉球(沖縄B,W), 大東群島(南大東島)

平地や低山の林中の樹洞に営巣し, 溪流や湖沼にすむ。市街地の公園で繁殖す
るものもある。

86 マガモ *Anas platyrhynchos* Linnaeus

マガモ *Anas platyrhynchos platyrhynchos* Linnaeus

北海道(B), 礼文島, 焼尻島, 南千島, 本州(B,W), 粟島, 佐渡, 四国(W),
九州(W), 対馬(B,W), 壱岐, 上甕島, 種子島, 馬毛島, 伊豆諸島(大島, 八
丈), 小笠原群島, 硫黄列島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古,
石垣, 西表, 与那国), 大東群島(北大東島, 南大東島B,W)

多くは冬鳥として渡来するが, 少数は繁殖する。

87 カルガモ *Anas poecilorhyncha* Forster

カルガモ *Anas poecilorhyncha zonorhyncha* Swinhoe

北海道(B), 南千島, 本州(B,W), 粟島, 佐渡(B,W), 隠岐(B,W), 角島,
四国(B,W), 九州(B,W), 対馬(B,W), 壱岐(B?), 種子島, 伊豆諸島(大
島, 三宅, 八丈), 北部琉球(喜界B,W, 奄美, 徳之島, 沖永良部), 中部琉球
(沖縄, 伊平屋), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表B,W, 小浜, 与那国), 大東群島
全国的に繁殖し, 本州以南では留鳥として多い。

88 コガモ *Anas crecca* Linnaeus

コガモ *Anas crecca crecca* Linnaeus

北海道(B), 南千島(エトロフ, クナシリ, シコタン), 本州(B, W), 佐渡, 隠岐, 四国(W), 九州(W), 種子島(W), 伊豆諸島(大島W, 三宅W, 八丈W), 小笠原群島(父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国), 大東群島(南大東島)

北海道および本州の山地で少数繁殖するが, 主に冬鳥として渡来し, 各地の池沼に多い。

アメリカコガモ *Anas crecca carolinensis* Gmelin

本州(W—宮城, 茨城, 埼玉, 東京, 千葉, 新潟, 兵庫)

コガモの群れに混じって, まれに渡来する。

89 トモエガモ *Anas formosa* Georgi

北海道, 南千島, 本州(W), 四国(W), 九州(W), 対馬, 奄岐, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(父島)

全国に冬鳥として渡来する。

90 ヨシガモ *Anas falcata* Georgi

北海道(B), 南千島(エトロフ, クナシリ), 本州(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(三宅, 八丈)

北海道では繁殖するものも少しある。本州以南には, 冬鳥として渡来する。

91 オカヨシガモ *Anas strepera* Linnaeus

オカヨシガモ *Anas strepera strepera* Linnaeus

北海道(B), 本州(W), 四国, 九州(W), 南部琉球(与那国)

北海道の東部では少数が繁殖する。本州以南には冬鳥として渡来するが, 多くない。内陸の水面を好む。

92 ヒドリガモ *Anas penelope* Linnaeus

北海道(W), 南千島(エトロフ, クナシリ, シコタン, ハボマイ), 本州(W), 粟島, 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 奄岐, 種子島, 伊豆諸島(三宅, 八丈), 小笠原群島(父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島, 硫黄島), 南部琉球(石垣, 小浜, 与那国)

冬鳥として渡来し, 広い内水面を好む。

93 アメリカヒドリ *Anas americana* Gmelin

本州(W), 九州(W)

約30例が知られる程度で、冬鳥として渡来するが、数はごく少ない。

94 オナガガモ *Anas acuta* Linnaeus

オナガガモ *Anas acuta acuta* Linnaeus

北海道、南千島(エトロフ、クナシリ)、本州(W)、佐渡、隠岐、四国(W)、九州(W)、対馬、種子島、伊豆諸島(八丈)、硫黄列島(北硫黄島)、南部琉球(宮古、石垣、与那国)、大東群島(南大東島)

冬鳥として、ふつうに渡来する。近年特に数がふえている。

95 シマアジ *Anas querquedula* Linnaeus

北海道、南千島、本州、四国、九州(W?), 伊豆諸島(八丈)、南部琉球(宮古、石垣、小浜、与那国)

わが国には春秋に渡来し通過する旅鳥で、数は多くない。

96 ハシビロガモ *Anas clypeata* Linnaeus

北海道(B)、南千島(クナシリ)、本州(W)、四国(W)、九州(W)、対馬、種子島、伊豆諸島(八丈)、中部琉球(沖縄)、南部琉球(宮古)、大東群島(南大東島)
北海道では少数が繁殖する。本州以南には冬鳥として渡来する。内水面を好む。

97 アカハシハジロ *Netta rufina* (Pallas)

本州(福井県三方五湖の中の菅湖1968年12月♂1羽、1970年11月♂1羽)、南部琉球(宮古1967年2月♂3羽)

ごくまれな冬鳥として迷行例がある。

98 ホシハジロ *Aythya ferina* (Linnaeus)

北海道、本州(W)、佐渡、四国(W)、九州(W)

冬鳥として全国に渡来し、ひらけた内水面を好む。

99 オオホシハジロ *Aythya valisineria* (Wilson)

北海道(厚岸1931年一鳥31号)、本州(千葉県手賀沼1931年一鳥31号)

迷鳥として2回記録がある。

100 メジロガモ *Aythya nyroca* (Güldenstädt)

本州(千葉県市川市宮内庁新浜猟場1959年12月♂1羽採集一鳥75号)

迷鳥として1回記録がある。

101 アカハジロ *Aythya baeri* (Radde)

北海道(W)、本州(W-青森、宮城、千葉、東京、神奈川、山梨)

冬鳥として渡来するが、少ない。

102 キンクロハジロ *Aythya fuligula* (Linnaeus)

北海道(B), 南千島(エトロフ, クナシリ, シコタン), 本州(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 対馬, 壱岐, 屋久島, 伊豆諸島(大島, 八丈), 小笠原群島(父島, 母島), 硫黄列島(硫黄島), 北部琉球(奄美), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国), 大東群島

主に冬鳥として渡来し, 広い内水面を好む。北海道では繁殖するものがある。
本州北部でも夏期の観察記録がある。

103 スズガモ *Aythya marila* (Linnaeus)

スズガモ *Aythya marila mariloides* (Vigors)

北海道(W), 南千島(エトロフ, クナシリ), 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国, 九州(W), 種子島, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(父島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣)

冬鳥として渡来し, 湾や海岸に大群で生息する。

104 コケワタガモ *Polysticta stelleri* (Pallas)

北海道(秋勇留島1894年, 根室1894年, 1971年, 1973年), 南千島(エトロフ), 本州(松島湾1964年)

まれな冬鳥で, 磯のある海岸にすむ。

105 ケワタガモ *Somateria spectabilis* (Linnaeus)

北海道(根室花咲岬1970年3月2日♂若鳥1羽)

まれな冬鳥として渡来する。

106 クロガモ *Melanitta nigra* (Linnaeus)

クロガモ *Melanitta nigra americana* (Swainson)

北海道(W), 南千島(シコタンW), 本州(W), 佐渡, 隠岐, 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(八丈)

冬鳥として全国に渡来し, 海岸, 海上にすむ。

107 ビロードキンクロ *Melanitta fusca* (Linnaeus)

ビロードキンクロ *Melanitta fusca stejnegeri* (Ridgway)

北海道(W), 南千島(シコタン), 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(八丈)

冬鳥として全国の海上に渡来する。

108 アラナミキンクロ *Melanitta perspicillata* (Linnaeus)

北海道(根室落石岬1970年3月3日♂成鳥1羽)

まれな迷鳥として渡来する。

109 シノリガモ *Histrionicus histrionicus* (Linnaeus)

北海道(W), 天売島, 南千島, 本州(W), 粟島, 佐渡, 九州(W), 伊豆諸島(三宅), 中部琉球(座間味)

主として北海道, 本州北部に冬鳥として渡来し, 磯のある海岸に生息する。西日本ではきわめてまれ。北海道の離島, 本州北部の海岸では夏期の記録もある。日光の中禅寺湖よりの記録もあるが, 冬期海岸以外の所からの記録はごくまれである。

110 コオリガモ *Clangula hyemalis* (Linnaeus)

北海道(W), 天売島, 南千島, 本州(W)

北海道の海岸, 河口には冬鳥としてふつうに渡来するが, 本州では青森県以外では数は少ない。本州での南限は千葉県(手賀沼, 幕張海岸, 新浜)である。

111 ホオジロガモ *Bucephala clangula* (Linnaeus)

ホオジロガモ *Bucephala clangula clangula* (Linnaeus)

北海道(W), 天売島, 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬, 五島列島, 伊豆諸島(八丈)

冬鳥としてふつうに渡来する。

112 ヒメハジロ *Bucephala albeola* (Linnaeus)

北海道(網走1921年, 厚岸1971年), 本州(青森県小湊, 岩手県宮古1962年~64年, 宮城県1925年, 千葉県新浜1966年, 新潟県中之島村1956年)

ごくまれな冬鳥として渡来する。ホオジロガモ群中に見ることが多い。

113 ミコアイサ *Mergus albellus* Linnaeus

北海道(B), 南千島(エトロフ), 本州(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 奄岐
本州以南に主として冬鳥として渡来し, 内水面に多くすむ。北海道の北部で繁殖するものがある。

114 ウミアイサ *Mergus serrator* Linnaeus

北海道(W), 天売島, 南千島(エトロフ), 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(父島), 中部琉球(沖縄)

冬鳥として全国に渡来する。

115 カワアイサ *Mergus merganser* Linnaeus

カワアイサ *Mergus merganser merganser* Linnaeus

北海道(B), 南千島(エトロフ, シコタン, ハボマイ), 本州(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 中部琉球(沖縄)

本州以南に冬鳥として渡来するが, 数は多くない。北海道では冬期はふつう。海上で見られることもあるが, 内陸水面や河川で見ることが多い。

ワシタカ目 FALCONIFORMES

ワシタカ科 ACCIPITRIDAE

116 ミサゴ *Pandion haliaetus* (Linnaeus)

ミサゴ *Pandion haliaetus haliaetus* (Linnaeus)

北海道(B), 南千島, 本州(B,W), 佐渡(B,W), 隠岐, 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬(B), 甌島(B,W), 種子島, 伊豆諸島(大島B,W, 三宅B,W, 御蔵B,W, 八丈B,W), 小笠原群島(父島), 硫黄列島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄, 座間味), 南部琉球(石垣, 西表), 大東群島

主に海岸に生息する。全国で繁殖し, 冬期も見られるが, 北日本のものは冬期, 南へ移動する。

117 ハチクマ *Pernis apivorus* (Linnaeus)

ハチクマ *Pernis apivorus japonicus* Kuroda

北海道(B), 本州(B), 佐渡(B), 九州, 馬渡島

北海道および本州に夏鳥として渡来し, 低山帯の森林中で繁殖する。

118 トビ *Milvus migrans* (Boddaert)

トビ *Milvus migrans lineatus* (Gray)

北海道(B,W), 南千島, 本州(B,W), 佐渡(B,W), 隠岐, 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬(W), 壱岐, 種子島, 馬毛島, 伊豆諸島(大島B,W, 三宅B,W, 御蔵B,W, 八丈B,W), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古)

九州以北に留鳥として生息し, 繁殖している。海岸, 河川などに多くすむ。

119 オジロワシ *Haliaeetus albicilla* (Linnaeus)

オジロワシ *Haliaeetus albicilla albicilla* (Linnaeus)

北海道(B,W), 南千島(エトロフB, シコタンB), 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国, 九州(W), 対馬(W), 伊豆諸島(大島, 三宅, 御蔵, 八丈), 小笠原群島

(父島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古)

北海道の森林で, ごく少数が繁殖している。本州以南へは冬鳥として渡来する。

120 オオワシ *Haliaeetus palagicus* (Pallas)

オオワシ *Haliaeetus pelagicus pelagicus* (Pallas)

北海道(W), 南千島, 本州(W), 佐渡, 隠岐, 四国, 九州, 対馬(W), 五島列島, 伊豆諸島(新島, 三宅, 鳥島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄)

わが国には冬鳥として渡来するが, 本州北部以北に見られることが多い。

121 オオタカ *Accipiter gentilis* (Linnaeus)

チヨウセンオオタカ *Accipiter gentilis schvedowi* (Menzbier)

北海道(B), 南千島, 本州(新潟, 長野)

北海道で繁殖をしているのは, 本亜種であろうと考えられる。

オオタカ *Accipiter gentilis fujiyamae* (Swann & Hartert)

本州(B, W), 佐渡, 隠岐, 四国(W), 九州(W), 馬渡島, 対馬, 伊豆諸島(大島, 新島, 三宅, 八丈), 小笠原群島(母島, 西之島), 南部琉球(石垣)

本州の山地の森林に繁殖する。

122 アカハラダカ *Accipiter soloensis* (Horsfield)

男女群島, 伊豆諸島(鳥島1926年10月), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣1966年, 与那国)

日本西南部, 琉球列島を通過するものがある。

123 ツミ *Accipiter gularis* (Temminck & Schlegel)

ツミ *Accipiter gularis gularis* (Temminck & Schlegel)

北海道, 南千島, 本州(B, W), 佐渡, 隠岐, 四国(B, W), 九州, 屋久島, 伊豆諸島(八丈, 鳥島), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 南部琉球(石垣, 西表), 大東群島(南大東島)

本州, 四国の低山帯の森林で少数が繁殖する。九州(熊本)でも繁殖する。

リュウキュウツミ *Accipiter gularis iwasakii* Mishima

南部琉球(石垣B, 西表B)

留鳥と考えられるが, 数は非常に少ない。

124 ハイタカ *Accipiter nisus* (Linnaeus)

ハイタカ *Accipiter nisus nisosimilis* (Tickell)

北海道(B), 南千島, 本州(B, W), 佐渡, 隠岐, 四国(W), 九州(W), 馬渡島,

対馬, 種子島, 伊豆諸島(大島, 新島, 三宅, 八丈), 大東群島(南大東島)
本州以北の低山帯の森林内で繁殖する。

なお, ハイロ ハイタカ (*A. n. pallens*) と称されるものが本州, 伊豆諸島等で
記録されているが, ハイタカの個体変異と考えられる。

125 ケアシノスリ *Buteo lagopus* (Pontoppidan)

ケアシノスリ *Buteo lagopus menzbieri* Dementiev

北海道(W), 南千島, 本州(W), 九州(W), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古,
石垣)

冬鳥として北海道, 本州北部に渡来するが, 数は少ない。

126 オオノスリ *Buteo hemilasius* Temminck & Schlegel

九州("Fauna Japonica" pl.vii), 対馬

迷鳥として2回の記録がある。

127 ノスリ *Buteo buteo* (Linnaeus)

ノスリ *Buteo buteo japonicus* (Temminck & Schlegel)

北海道(B,W), 南千島(クナシリ), 本州(B,W), 佐渡(B,W), 隠岐, 四国
(B,W), 九州(W), 対馬, 伊豆諸島(大島B,W, 新島B,W, 神津B,W, 三宅
B,W, 御蔵B,W, 八丈B,W), 北部琉球(奄美), 南部琉球(石垣, 与那国)
留鳥として四国以北で繁殖する。

オガサワラノスリ *Buteo buteo toyoshimai* Momiyama

小笠原群島(父島B,W, 母島B,W)

留鳥として少数生息する。

ダイトウノスリ *Buteo buteo oshiroi* N. h. Kuroda

大東群島(北大東島, 南大東島B,W)

留鳥として生息するが数は少ない。

128 サシバ *Butastur indicus* (Gmelin)

本州(B), 佐渡(B?), 四国(B), 九州(B), 馬渡島, 対馬, 屋久島, 種子島,
伊豆諸島(大島B, 利島B, 新島B, 神津B, 三宅B, 御蔵B, 八丈B, 鳥島),
硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美, 徳之島, 与論), 中部琉球(沖縄), 南部
琉球(宮古, 石垣, 西表, 竹富, 黒島, 与那国), 大東群島(南大東島)

山形県以南の本州から九州までの, 低山帯の森林で繁殖する夏鳥。秋期は群れ
をつくって九州, 沖縄を通過する。沖縄地方では少数が越冬もする。

129 クマタカ *Spizaetus nipalensis* (Hodgson)

クマタカ *Spizaetus nipalensis orientalis* Temminck & Schlegel
北海道(B), 本州(B,W), 佐渡, 隠岐, 四国(B,W), 九州(B,W)
北海道から九州までの山地に留鳥として生息する。

130 カラフトワシ *Aquila clanga* Pallas

本州(神奈川1952年, 宮城1973年), 中部琉球(沖縄1968年)
迷鳥として, まれに渡来する。

131 カタジロワシ *Aquila heliaca* Savigny

カタジロワシ *Aquila heliaca heliaca* Savigny
本州(岩手), 南部琉球(西表1969年)
迷鳥として, まれに渡来する。

132 イヌワシ *Aquila chrysaetos* (Linnaeus)

イヌワシ *Aquila chrysaetos japonica* Severtzov
北海道(B?), 南千島(シコタン), 本州(B,W), 佐渡, 隠岐, 四国(B?, W), 九州
本州には留鳥として生息し, 岩手, 宮城, 新潟, 石川, 長野, 兵庫の各県からは繁殖の記録がある。主に標高800m前後かそれ以上の高さの山地で繁殖し, 断崖の岩だなに営巣する例が多いが, 大木に営巣した例もある。

133 クロハゲワシ *Aegypius monachus* (Linnaeus)

北海道(釧路), 本州(福島, 静岡, 兵庫, 島根), 四国(高知), 九州(鹿児島1972年, 熊本1972年), 南部琉球(宮古, 西表1967年)
迷鳥として少数が主に冬期渡来する

134 カンムリワシ *Spilornis cheela* (Latham)

カンムリワシ *Spilornis cheela perplexus* Swann
南部琉球(石垣B,W, 西表B,W, 与那国B,W)
南部琉球の島々に留鳥として生息している。

135 ハイイロチュウヒ *Circus cyaneus* (Linnaeus)

ハイイロチュウヒ *Circus cyaneus cyaneus* (Linnaeus)
北海道(W), 南千島, 本州(W), 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(八丈), 北部琉球(奄美), 南部琉球(石垣, 西表)
全国に冬鳥として渡来し, 平地の湿原や湖沼畔など, 水辺の草原上空を好んで

飛翔する。

136 マダラチュウヒ *Circus melanoleucos* (Pennant)

九州(草垣島1973年4月), 対馬(1973年4月一野鳥38巻7号)

迷鳥として2回の記録がある。

137 チュウヒ *Circus aeruginosus* (Linnaeus)

チュウヒ *Circus aeruginosus spilonotus* Kaup

北海道(B), 本州北部(B, W), 本州南部(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(式根), 硫黄列島(北硫黄島), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国), 大東群島(南大東島)

北海道の湿原では少数が繁殖している。本州以南には冬鳥として渡来し, 湿地, 湖沼畔など水辺の草原で見ることが多い。

ハヤブサ科 FALCONIDAE

138 シロハヤブサ *Falco rusticolus* Linnaeus

北海道(W), 南千島(W), 対馬(1963年12月25日)

数少ない冬鳥として, 主に北海道に渡来する。北千島の松輪島では繁殖記録がある。

139 ハヤブサ *Falco peregrinus* Tunstall

オオハヤブサ *Falco peregrinus pealei* Ridgway

北海道(W-函館, 厚岸), 南千島(W), 本州(W-新潟), 南部琉球(石垣)
冬鳥として渡来するが, 多くない。

シベリアハヤブサ *Falco peregrinus hartei* Buturlin

本州北部(W-富山, 新潟)

冬鳥として渡来するが, 記録は少ない。

シマハヤブサ *Falco peregrinus fruitii* Momiyama

伊豆諸島(鳥島1956年), 硫黄列島(北硫黄島B)

近年, 繁殖の確認がない。

ハヤブサ *Falco peregrinus japonensis* Gmelin

北海道(B), 礼文島, 利尻島(B), 天売島(B), 南千島(B), 本州(B, W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(B, W), 対馬(B), 伊豆諸島(大島W, 三宅W, 八丈W, 鳥島), 小笠原群島, 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄W), 南部琉球(宮古W, 石垣W, 西表W), 大東群島(南大東島)

北日本および日本海沿岸の、島および海岸の断崖で繁殖し、冬は全国的に見られる。主にひらけた場所にすみ、鳥類をとらえる。

140 チゴハヤブサ *Falco subbuteo* Linnaeus

チゴハヤブサ *Falco subbuteo subbuteo* Linnaeus

北海道(B), 南千島(B), 本州北部(W, 青森, 岩手, B), 本州南部(W), 粟島, 佐渡, 四国(W), 九州(W), 南部琉球(宮古)

北海道, 南千島で繁殖する。本州では岩手県, 青森県で繁殖例があり, 冬は全国的に見られる。

141 コチョウゲンボウ *Falco columbarius* Linnaeus

コチョウゲンボウ *Falco columbarius insignis* (Clark)

北海道(W), 南千島(W), 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(八丈W)

冬鳥として渡来するが, 多くない。

カラフトコチョウゲンボウ *Falco columbarius pacificus* (Stegmann)

本州北部(W)

まれに冬鳥として渡来する。

142 チョウゲンボウ *Falco tinnunculus* Linnaeus

チョウゲンボウ *Falco tinnunculus interstinctus* Horsfield

北海道, 本州北部(B, W), 本州南部(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 種子島(W), 伊豆諸島(八丈W, 鳥島W), 硫黄列島, 中部琉球(沖縄W), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 鳩間, 黒島, 与那国)

主に本州中部で繁殖し, 冬は全国的に見られる。

キジ目 GALLIFORMES

ライチョウ科 TETRAONIDAE

143 ライチョウ *Lagopus mutus* (Montin)

ライチョウ *Lagopus mutus japonicus* Clark

本州中部(B, W)

中部山岳地帯の北アルプス, 南アルプス, 中央アルプス, 白山等により分布繁

殖する。

144 エゾライチョウ *Tetrastes bonasia* (Linnaeus)

エゾライチョウ *Tetrastes bonasia vicinitas* Riley

北海道(B,W)

留鳥として北海道の森林に生息する。

キジ科 PHASIANIDAE

145 ウズラ *Coturnix coturnix* (Linnaeus)

ウズラ *Coturnix coturnix japonica* Temminck & Schlegel

北海道(B), 南千島(B), 本州(B,W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(B), 五島列島(W), 屋久島, 種子島(W), 馬毛島, 伊豆諸島(大島W, 三宅W, 八丈W), 北部琉球(奄美W), 南部琉球(石垣W)

主に本州中部以北の草原で繁殖し, 冬は暖地の草原に移動する。

146 コジュケイ *Bambusicola thoracica* (Temminck)

コジュケイ *Bambusicola thoracica thoracica* (Temminck)

本州(B,W), 佐渡(B,W), 四国(B,W), 九州(B,W), 伊豆諸島(大島B,W, 新島B,W, 式根B,W, 三宅, 八丈), 硫黄列島(硫黄島B,W)
積雪の多くない地方に, 留鳥として多数生息する。南中国原産を放鳥したものが増殖した。

台湾コジュケイ(テッケイ) *Bambusicola thoracica sonorivox* Gould

本州(越ヶ谷, 兵庫B,W)

放鳥されたものが一部繁殖している。埼玉県越ヶ谷で放鳥された記録もある。

147 ヤマドリ *Phasianus soemmerringii* Temminck

キタヤマドリ *Phasianus soemmerringii scintillans* Gould

本州(北緯35°10'より北B,W)

低地から低山の森林にすむが, 近年減少している。

シコクヤマドリ *Phasianus soemmerringii intermedius* Kuroda

本州西南部(B,W-岡山, 広島, 鳥取, 島根), 四国(B,W)

留鳥として生息するが, 近年減っている。

ウスアカヤマドリ *Phasianus soemmerringii subrufus* Kuroda

本州(北緯35°10'より南の太平洋側の地域B,W), 四国(愛媛県南部B,W)

留鳥としてすむが、近年減少している。

アカヤマドリ *Phasianus soemmerringii soemmerringii* Temminck

九州北部(B,W)，九州中部(B,W—熊本県北部，宮崎県北部)

留鳥であるが，多くない。

コシジロヤマドリ *Phasianus soemmerringii ijimae* Dresser

九州南部(B,W—熊本県南部，宮崎県南部，鹿児島)

留鳥として生息するが，少ない。

148 キジ *Phasianus colchicus* Linnaeus

コウライキジ *Phasianus colchicus karpowi* Buturlin

北海道(B,W)，本州，九州，対馬(B,W)，伊豆諸島(八丈B,W)

北海道，対馬，八丈島に放鳥したものが繁殖している。

キタキジ *Phasianus colchicus robustipes* Kuroda

本州北部(B,W—新潟，茨城以北)，佐渡(B,W)

留鳥として生息している。なお人工的放鳥の結果，各亜種間の差異は現在明瞭でなくなっている。

トウカイキジ *Phasianus colchicus tohkaidi* Momiyama

本州中部および西部(B,W—富山，長野，群馬，栃木，茨城以南)，四国(B,W)

留鳥として生息している。なお人工的放鳥の結果，各亜種間の差異は現在明瞭でなくなっている。

キュウシュウキジ *Phasianus colchicus versicolor* Vieillot

本州南部(B,W—山口)，九州(B,W)，五島列島(B,W)

留鳥として生息している。なお人工的放鳥の結果，各亜種間の差異は現在明瞭でなくなっている。

シマキジ *Phasianus colchicus tanensis* Kuroda

本州(B,W—伊豆半島，三浦半島，紀伊半島)，屋久島(B,W)，種子島(B,W)，

伊豆諸島(大島B,W，新島B,W)

新島では1925年に絶滅している。

ツル目 GRUIFORMES

ミフウズラ科 TURNICIDAE

149 ミフウズラ *Turnix suscitator* (Gmelin)

ミフウズラ *Turnix suscitator okinavensis* Phillips

馬毛島, 種子島, 北部琉球(奄美B, W, 徳之島B, W, 沖永良部B, W), 中部琉球(沖縄B, W, 伊江), 南部琉球(宮古B, W, 石垣B, W, 西表B, W, 竹富B, W, 小浜, 黒島, 与那国B, W)

琉球列島に留鳥としてふつうに生息する。ほかに佐多岬での観察記録がある。

ツル科 GRUIDAE

150 クロヅル *Grus grus* (Linnaeus)

クロヅル *Grus grus lilfordi* Sharpe

北海道(W—阿寒1970年, 釧路1971年, 濤沸湖1970年), 本州(茨城1928年, 山口1960年), 九州(鹿児島W), 中部琉球(沖縄1955年)

まれな冬鳥として渡来するが, 鹿児島県出水市荒崎には毎冬, 数羽が渡来する。

151 タンチョウ *Grus japonensis* (Müller)

北海道(B, W), 本州(W—宮城1922年, 福島1949年, 新潟1935年, 福井1969年, 滋賀1943年, 岡山1974年1月, 島根1973年11月, 山口), 九州(長崎1885年, 鹿児島1936年, 1937年, 1939年, 1943年, 1966年)

北海道東部の湿原には約200羽がいて繁殖するほか, 冬鳥としてまれに本州, 九州に渡来する。

152 ナベヅル *Grus monacha* Temminck

北海道(札幌1874年), 本州(東京1874年, 神奈川, 新潟1931年, 石川1926年, 兵庫, 鳥取, 山口W), 四国(高知), 九州(福岡1929年, 佐賀, 熊本W, 長崎, 鹿児島W), 対馬

冬鳥として山口県八代と鹿児島県荒崎に定期的に渡来するほか, 各地に少数の記録がある。

153 カナダヅル *Grus canadensis* (Linnaeus)

カナダヅル *Grus canadensis canadensis* (Linnaeus)

北海道(釧路1970年12月~1971年2月), 九州(鹿児島県出水市荒崎1963年11月~1964年2月, 1973年12月)

迷鳥として3回の記録がある。

154 マナヅル *Grus vipio* Pallas

北海道(千歳1871年), 本州(東京1877年, 山口1964年, 1973年, 福井1972年, 石川1973年, 兵庫, 鳥取), 四国(高知1972年), 九州(福岡1935年, 長崎1935年, 熊本1971年, 鹿児島県出水市W), 対馬(1963年, 1964年), 中部琉球(沖縄1968年)

鹿児島県出水市荒崎に200~400羽が毎年渡来するほか, 各地に少数の迷行例がある。

155 ソデグロヅル *Grus leucogeranus* Pallas

本州(石川県羽咋市邑知潟飯山川川口1961年 成鳥1羽), 九州(鹿児島県出水市荒崎1959年, 1960年 若鳥1羽), 中部琉球(沖縄1969年)

迷鳥として, ごくまれに渡来する。

156 アネハヅル *Anthropoides virgo* (Linnaeus)

北海道(石狩), 本州(宮城1922年6月5日, 伊豆半島), 九州(熊本1973年, 鹿児島1970年, 1971年, 1973年), 伊豆諸島(八丈1925年), 北部琉球(徳之島1965年) 冬期渡来するが, 定期的には見られない。

クイナ科 RALLIDAE

157 クイナ *Rallus aquaticus* Linnaeus

クイナ *Rallus aquaticus indicus* Blyth

北海道(B), 礼文島, 利尻島, 南千島(エトロフB, クナシリB), 本州北部(B?, W), 本州南部(W), 佐渡, 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣)

各地にふつうに生息するが, 姿を見にくい。北海道で繁殖し, 本州北部でも繁殖の可能性がある。

158 オオクイナ *Rallina eurizonoides* (Lafresnaye)

オオクイナ *Rallina eurizonoides sepiaria* (Stejneger)

南部琉球(石垣B, W, 西表B, W, 竹富B, W, 小浜B, W, 黒島B, W)

上記の島に留鳥として生息する。

159 ヒメクイナ *Porzana pusilla* (Pallas)

ヒメクイナ *Porzana pusilla pusilla* (Pallas)

北海道(B), 本州北部(B), 本州南部, 四国, 九州, 伊豆諸島(八丈), 硫黄列島(北硫黄島, 硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(伊江), 南部琉球(石垣)
本州中部以北に夏鳥として渡来し, 本州中部以南では旅鳥として通過する。

160 ヒクイナ *Porzana fusca* (Linnaeus)

ヒクイナ *Porzana fusca erythrothorax* (Temminck & Schlegel)

北海道(B), 本州(B), 佐渡(B), 四国(B), 九州(B), 対馬, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(御蔵, 八丈), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 西表), 大東群島
九州以北には夏鳥として, ふつうに渡来する。

リュウキュウヒクイナ *Porzana fusca phaeopyga* Stejneger

屋久島, 北部琉球(奄美B,W, 喜界B,W, 沖永良部B,W, 与論), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古B,W, 石垣B,W, 与那国), 大東列島(南大東島)
琉球列島に留鳥として生息する。

161 シマクイナ *Porzana exquisita* Swinhoe

北海道(W), 本州(W), 四国(W), 九州(W), 琉球列島(W)
冬鳥として渡来するが, 数は少ない。

162 マミジロクイナ *Poliolimnas cinereus* (Vieillot)

マミジロクイナ *Poliolimnas cinereus brevipes* (Ingram)

硫黄列島(硫黄島B1889年7月6日, 1911年5月, 南硫黄島B1911年2月)
硫黄列島に留鳥として生息していたが, 現在では絶滅したと推察されている。

163 シロハラクイナ *Amaurornis phoenicurus* (Pennant)

シロハラクイナ *Amaurornis phoenicurus chinensis* (Boddaert)

本州(宮城県志津川1967年8月6日), 九州(福岡県朝倉郡三輪村1931年11月20日, 1932年1月)
迷鳥として3例がある。

164 バン *Gallinula chloropus* (Linnaeus)

バン *Gallinula chloropus indica* Blyth

北海道(B), 本州(B,W), 佐渡, 四国(B), 九州(B,W), 対馬(B), 種子島, 伊豆諸島(大島, 新島, 三宅, 八丈), 小笠原群島(父島, 母島), 北部琉球(奄美B, 徳之島, 与論), 中部琉球(伊江), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 小浜, 与那国), 大東群島(南大東島)

主に夏鳥として渡来し、数は多いが、本州中部以南では越冬例も多い。

165 ツルクイナ *Gallicrex cinerea* (Gmelin)

北海道(奥尻島1932年5月25日)、本州、四国、九州(B)、伊豆諸島(八丈1923年10月, 1929年)、硫黄列島(北硫黄島)、中部琉球(沖縄1968年)、南部琉球(石垣1921年11月, 1933年9月、小浜)

主に旅鳥として通過するものと思われるが、1950年8月、佐賀県で1巢4卵の記録がある。

166 オオバン *Fulica atra* Linnaeus

オオバン *Fulica atra atra* Linnaeus

北海道(B)、本州北部(B,W)、本州南部(W)、四国、九州(W)、伊豆諸島、北部琉球(奄美W)、中部琉球(沖縄)、南部琉球(宮古、石垣、与那国)

北海道および本州中部以北の湖沼で繁殖し、冬は南へ移動するものもあるが、記録は少ない。

ノガン科 OTIDAE

167 ノガン *Otis tarda* Linnaeus

ノガン *Otis tarda dybowskii* Taczanowski

北海道(銭函1881年、室蘭1957年、石狩)、本州(青森1922年、1966年、長野1890年、山梨、岐阜1940年、石川1931年、1966年、福井1955年、滋賀、三重1903年、兵庫1907年、1939年、鳥取)、九州(長崎1880年、1916年、1917年、1918年)、五島列島

迷鳥として秋冬まれに渡来する。

168 ヒメノガン *Otis tetrax* Linnaeus

九州(福岡県山門郡西宮永村1940年4月1日♀1羽)

迷鳥として1例があるだけである。

チドリ目 CHARADRIIFORMES

レンカク科 JACANIDAE

169 レンカク *Hydrophasianus chirurgus* (Scopoli)

本州(茨城県石岡町1965年一山階標本, 茨城県個沼1971年7月12日一野鳥35巻10号), 九州(福岡県1955年7月7日一野鳥27巻5号), 南部琉球(与那国1973年3月10日)

迷鳥として, まれに湿地や水田に渡来する。

タマシギ科 ROSTRATULIDAE

170 タマシギ *Rostratula benghalensis* (Linnaeus)

タマシギ *Rostratula benghalensis benghalensis* (Linnaeus)

北海道, 本州(B, W), 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬, 種子島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄B), 南部琉球(西表, 与那国)

関東地方より西南部ではふつうに見られるが, 東北地方ではまれである。

ミヤコドリ科 HAEMATOPODIDAE

171 ミヤコドリ *Haematopus ostralegus* Linnaeus

ミヤコドリ *Haematopus ostralegus osculans* Swinhoe

北海道, 本州(W), 四国(W), 九州(W), 対馬, 種子島, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(智島), 北部琉球(徳之島, 喜界, 沖永良部), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣), 大東群島(南大東島)

冬鳥または旅鳥として海岸や河口の干潟に渡来するが少ない。

チドリ科 CHARADRIIDAE

172 ハジロコチドリ *Charadrius hiaticula* Linnaeus

ハジロコチドリ *Charadrius hiaticula tundrae* (Lowe)

本州(千葉1956年, 1963年, 1964年, 1965年, 1966年, 1970年, 神奈川1920年, 石川1973年), 硫黄列島(北硫黄島1931年)

数少ない旅鳥または冬鳥として, 干潟に渡来する。

173 コチドリ *Charadrius dubius* Scopoli

コチドリ *Charadrius dubius curonicus* Gmelin

北海道(B), 南千島, 本州(B), 粟島, 佐渡(B), 四国(B), 九州(B,W), 対馬(B), 伊豆諸島(大島, 八丈, 鳥島), 小笠原群島(西之島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄, 久米), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国), 大東群島(南大東島)

各地の川原, 海岸等で繁殖し, 冬は南へ移動するが, 九州以南では越冬する。

本州(東京以南)でも越冬記録がある。

174 イカルチドリ *Charadrius placidus* Gray

イカルチドリ *Charadrius placidus japonicus* Mishima

北海道, 本州(B,W), 佐渡, 隠岐, 四国(B,W), 九州(B,W), 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(母島), 北部琉球(奄美), 南部琉球(西表)

大きな川の, 中流より上の川原や中州に多い。

175 シロチドリ *Charadrius alexandrinus* Linnaeus

シロチドリ *Charadrius alexandrinus nihonensis* Deignan

北海道(B), 南千島, 本州(B,W), 佐渡, 四国(B,W), 九州(B,W), 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(大島, 八丈), 北部琉球(奄美, 徳之島, 喜界, 沖永良部), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 鳩間, 竹富, 小浜, 黒島)

全国の海岸や川の下流域にふつうに見られる。

ハシボソシロチドリ *Charadrius alexandrinus alexandrinus* Linnaeus

北海道, 本州(東京, 神奈川, 新潟), 伊豆諸島(大島), 中部琉球(久米)

迷鳥として, まれに記録される。

176 メダイチドリ *Charadrius mongolus* Pallas

メダイチドリ *Charadrius mongolus stegmanni* Portenko

北海道, 南千島, 本州, 佐渡, 四国, 九州, 対馬, 伊豆諸島(三宅), 硫黄列島(北硫黄島, 硫黄島), 北部琉球(喜界, 沖永良部), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 鳩間, 竹富, 小浜, 黒島, 与那国)

海岸や河口の干潟に旅鳥として, 春秋ふつうに渡来する。

モウコメダイチドリ *Charadrius mongolus mongolus* Pallas

本州(千葉県行徳1957年8月14日一山階鳥研報30号)

旅鳥として, まれに渡来する。

177 オオメダイチドリ *Charadrius leschenaultii* Lesson

本州, 九州, 男女群島, 伊豆諸島(八丈), 中部琉球(沖縄, 久米), 南部琉球(宮

古, 石垣, 西表, 黒島)

旅鳥として渡来するが, 少ない。

178 オオチドリ *Charadrius asiaticus* Pallas

オオチドリ *Charadrius asiaticus veredus* Gould

本州(神奈川1962年一野鳥27巻4号, 愛知1971年, 1973年一野鳥36巻1号, 38巻5号, 兵庫1973年), 中部琉球(沖縄1972年一野鳥35巻7号), 南部琉球(与那国)

まれな旅鳥として渡来する。

179 コバシチドリ *Eudromias morinellus* (Linnaeus)

北海道(函館1854年), 本州(宮城1962年, 栃木1969年, 東京1950年, 神奈川1914年, 1915年, 新潟1967年, 静岡1895年, 三重1972年)

まれな旅鳥として渡来する。

180 ムナグロ *Pluvialis dominica* (Müller)

ムナグロ *Pluvialis dominica fulva* (Gmelin)

北海道, 南千島, 本州, 佐渡, 四国, 九州, 男女群島, 伊豆諸島(大島, 神津, 八丈, 鳥島), 小笠原群島(賀島, 父島W, 母島), 硫黄列島(北硫黄島, 硫黄島), 北部琉球(徳之島, 喜界, 沖永良部), 中部琉球(沖縄, 久米), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 鳩間, 竹富, 黒島, 与那国), 大東群島(南大東島, 沖大東島)
旅鳥として春秋に多数渡来する。小笠原では冬期の記録がある。

181 ダイゼン *Pluvialis squatarola* (Linnaeus)

北海道, 南千島, 本州(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 五島列島, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(父島), 北部琉球(奄美, 徳之島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 小浜, 黒島)

旅鳥としてふつうに渡来するが, 本州中部以南では越冬するものも多い。

182 ケリ *Microsarcops cinereus* (Blyth)

北海道, 本州(B, W), 四国, 九州(W), 伊豆諸島(八丈)

本州北部および中部で繁殖するが, 局地的である。現在繁殖が知られているのは次の県である。青森, 秋田, 岩手, 宮城, 山形, 栃木, 静岡, 愛知, 岐阜, 福井, 石川, 三重, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫。

183 タゲリ *Vanellus vanellus* (Linnaeus)

北海道, 本州(B, W), 佐渡, 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬, 伊豆諸島(八

丈), 小笠原群島(父島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 尖閣), 大東群島(南大東島)

主に冬鳥として渡来するが, 1973年4月, 石川県にて巣卵およびひなが発見された(野鳥38巻9号)。

シギ科 SCOLOPACIDAE

184 キョウジョシギ *Arenaria interpres* (Linnaeus)

キョウジョシギ *Arenaria interpres interpres* (Linnaeus)

北海道, 南千島, 本州, 四国, 九州, 対馬, 男女群島, 種子島, 伊豆諸島(八丈, 鳥島), 北部琉球(奄美, 徳之島, 喜界, 沖永良部), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 黒島, 与那国)

旅鳥として春秋ふつうに渡来するが, 日本海側および九州には少ない。

185 トウネン *Calidris ruficollis* (Pallas)

北海道, 南千島(エトロフ), 本州, 佐渡, 四国, 九州, 男女群島, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島, 硫黄列島(硫黄島), 北部琉球(喜界), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 黒島), 大東群島

旅鳥として春秋, 多数渡来する。

186 ヒバリシギ *Calidris minutilla* (Vieillot)

ヒバリシギ *Calidris minutilla subminuta* (Middendorff)

北海道, 南千島(エトロフ), 本州, 九州, 伊豆諸島(八丈), 硫黄列島(北硫黄島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 与那国), 大東群島

旅鳥として渡来するが, 少ない。

187 オジロトウネン *Calidris temminckii* (Leisler)

南千島(エトロフ), 本州(W), 九州(W), 伊豆諸島(八丈), 中部琉球(久米), 大東群島(南大東島)

旅鳥または冬鳥として渡来するが, 多くない。

188 ヒメウズラシギ *Calidris bairdii* (Coues)

本州(宮城県蒲生1963年9月23日一鳥83号, 千葉県片貝1963年9月30日一鳥83号, 千葉県長生町1969年9月1日~7日一野鳥35巻5号, 三重県伊勢市1956年9月1日一鳥69号)

まれな旅鳥として渡来するにすぎない。千葉県行徳および南部琉球(石垣島)でも観察記録がある。

189 アメリカウズラシギ *Calidris melanotos* (Vieillot)

北海道, 南千島(エトロフ), 本州

旅鳥として渡来するが, 少ない。

190 ウズラシギ *Calidris acuminata* (Horsfield)

北海道, 南千島(エトロフ), 本州, 四国, 九州, 伊豆諸島(八丈), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美, 徳之島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣), 大東群島

旅鳥として渡来する。

191 ハマシギ *Calidris alpina* (Linnaeus)

ハマシギ *Calidris alpina sakhalina* (Vieillot)

北海道, 南千島(エトロフ, クナシリ), 本州(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(八丈), 中部琉球(沖縄, 久米), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 小浜, 黒島, 与那国), 大東群島

旅鳥としても渡来するが, 本州以南の海岸では多数越冬する。

192 サルハマシギ *Calidris ferruginea* (Pontoppidan)

本州, 九州, 伊豆諸島(八丈), 南鳥島

旅鳥として渡来するが, 多くない。

193 コオバシギ *Calidris canutus* (Linnaeus)

コオバシギ *Calidris canutus rogersi* (Mathews)

北海道, 本州, 九州, 南部琉球(宮古)

旅鳥として渡来するが, 多くない。

194 オバシギ *Calidris tenuirostris* (Horsfield)

北海道, 南千島(エトロフ), 本州, 九州, 対馬, 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣)

旅鳥として, ふつうに渡来する。

195 ミユビシギ *Crocethia alba* (Pallas)

北海道, 南千島, 本州(W), 九州, 中部琉球(久米), 南部琉球(宮古)

主に砂質の海岸に渡来し, 本州以南では越冬するものもある。

196 ヘラシギ *Eurynorhynchus pygmeus* (Linnaeus)

北海道, 南千島(クナシリ), 本州, 九州

旅鳥として渡来するが, 少ない。特に春の記録はまれである。

- 197 エリマキシギ *Philomachus pugnax* (Linnaeus)
北海道, 本州, 九州, 中部琉球(沖縄), 南部琉球(与那国)
旅鳥として春秋渡来するが少ない。秋のほうが多い。
- 198 コモンシギ *Tryngites subruficollis* (Vieillot)
本州(千葉県長生郡一ツ松1967年9月3日~7日一野鳥33巻2号, 東京都 Hartert :
Vög. Pal. Fauna, 愛知県名古屋市1891年5月一鳥31号, 大阪湾南港1957年5月19
日)
迷鳥として, きわめてまれに渡来する。
- 199 キリアイ *Limicola falcinellus* (Pontoppidan)
キリアイ *Limicola falcinellus sibirica* Dresser
北海道, 本州, 九州
旅鳥として渡来するが, 多くない。特に春は少ない。
- 200 オオハシシギ *Limnodromus scolopaceus* (Say)
北海道, 本州(W)
旅鳥または冬鳥として渡来するがまれで, 北海道, 千葉県, 神奈川県, 愛知県,
兵庫県の記録のみ。
- 201 シベリアオオハシシギ *Limnodromus semipalmatus* (Blyth)
本州(青森県小川原湖1972年5月23日一鳥91/92号)
きわめてまれな迷鳥である。
- 202 ツルシギ *Tringa erythropus* (Pallas)
北海道, 南千島, 本州, 四国, 九州, 対馬, 伊豆諸島(八丈), 中部琉球(沖縄)
旅鳥として渡来するが, 秋よりも春のほうがずっと多い。越冬例もある。
- 203 アカアシシギ *Tringa totanus* (Linnaeus)
アカアシシギ *Tringa totanus eurhinus* (Oberholser)
北海道(B), 南千島(クナシリ), 本州, 九州, 伊豆諸島(大島), 中部琉球(沖
縄), 南部琉球(石垣)
旅鳥として渡来するが少ない。1972年6月, 野付半島で繁殖が確認された(鳥
91/92号)。
- 204 コアアシシギ *Tringa stagnatilis* (Bechstein)
本州, 九州, 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古)
旅鳥として海岸に近い湿地や水田に渡来するが, 多くない。

205 アオアシシギ *Tringa nebularia* (Gunnerus)

北海道, 南千島, 本州, 四国, 九州, 対馬, 屋久島, 伊豆諸島(八丈), 硫黄列島(北硫黄島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 小浜)
旅鳥として, 干潟や湿地にふつうに渡来する。

206 オオキアシシギ *Tringa melanoleuca* (Gmelin)

本州(宮城県仙台市蒲生1964年8月3日—野鳥29巻5号)
迷鳥として1回の記録がある。

207 カラフトアオアシシギ *Tringa guttifer* (Nordmann)

北海道(室蘭, 石狩), 本州(千葉, 東京, 三重, 大阪), 九州(佐賀, 熊本, 鹿児島)
まれな旅鳥として渡来する。

208 クサシギ *Tringa ochropus* Linnaeus

北海道, 本州(W), 佐渡, 四国, 九州(W), 対馬, 種子島, 伊豆諸島(三宅, 八丈), 小笠原群島(父島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国)
旅鳥として川岸や内陸の湿地に渡来するが, 越冬するものもある。

209 タカブシギ *Tringa glareola* Linnaeus

北海道, 南千島(エトロフ, クナシリ), 本州, 四国, 九州, 対馬, 男女群島, 屋久島, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国), 大東群島(南大東島)
旅鳥として, ふつうに渡来する。ときに越冬の記録もある。

210 メリケンキアシシギ *Tringa incana* (Gmelin)

南千島(クナシリ), 本州, 四国, 伊豆諸島(大島, 八丈), 小笠原群島(父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島), 南鳥島, 北部琉球(与論), 大東群島(南大東島, 沖大東島)
まれな旅鳥として渡来する。

211 キアシシギ *Tringa brevipes* (Vieillot)

北海道, 南千島(クナシリ, シコタン), 本州, 佐渡, 四国, 九州, 対馬, 男女群島, 種子島, 伊豆諸島(三宅, 八丈), 小笠原群島(父島, 母島, 姪島), 硫黄列島(北硫黄島, 硫黄島), 北部琉球(奄美, 徳之島, 喜界, 沖永良部), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 竹富, 黒島, 与那国), 大東群島

旅鳥として海岸、干潟等に多数渡来する。

212 イソシギ *Tringa hypoleucos* Linnaeus

北海道(B,W), 南千島(エトロフB, クナシリB), 本州(B,W), 佐渡(B?), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬(B,W), 五島列島, 男女群島, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(式根, 三宅, 八丈, 鳥島), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美, 徳之島, 喜界), 中部琉球(沖縄, 伊是名, 久米), 南部琉球(宮古島から与那国島まで), 大東群島(南大東島)

本州中部以北で繁殖し, 冬は暖地に移動して越冬する。

213 ソリハシシギ *Xenus cinereus* (Güldenstädt)

北海道, 南千島, 本州, 四国, 九州, 対馬, 男女群島, 伊豆諸島(三宅, 八丈), 北部琉球(喜界), 南部琉球(西表)

旅鳥として春秋ふつうに渡来する。

214 オグロシギ *Limosa limosa* (Linnaeus)

オグロシギ *Limosa limosa melanuroides* Gould

北海道, 南千島, 本州, 九州, 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣)

旅鳥として, ふつうに渡来する。

215 オオソリハシシギ *Limosa lapponica* (Linnaeus)

オオソリハシシギ *Limosa lapponica baueri* Naumann

北海道, 本州, 四国, 九州, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(父島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣)

旅鳥として多数渡来する。

コシジロオオソリハシシギ *Limosa lapponica menzbieri* Portenko

本州(東京都羽田1945年, 神奈川県辻堂1954年10月13日), 南部琉球(宮古1921年12月, 石垣1921年11月)

まれな旅鳥として渡来する。

216 ダイシャクシギ *Numenius arquata* (Linnaeus)

ダイシャクシギ *Numenius arquata orientalis* Brehm

北海道, 本州(W), 四国(W), 九州(W), 対馬, 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 小浜)

旅鳥として渡来するが, 本州中部以南では越冬するものもある。

217 ホウロクシギ *Numenius madagascariensis* (Linnaeus)

北海道, 南千島(エトロフ), 本州, 四国, 九州, 対馬, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(母島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(黒島), 大東群島(南大東島)

旅鳥として, ふつうに渡来する。

218 シロハラチュウシャクシギ *Numenius tenuirostris* Vieillot

本州(2 標本—動雑45号)

きわめてまれな迷鳥として 2 例があるのみ。

219 チュウシャクシギ *Numenius phaeopus* (Linnaeus)

チュウシャクシギ *Numenius phaeopus variegatus* (Scopoli)

北海道, 南千島(エトロフ, クナシリ), 本州, 佐渡, 四国, 九州, 対馬, 男女群島, 馬毛島, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(鯉島, 父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(徳之島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 竹富, 小浜, 与那国), 大東群島(南大東島, 沖大東島)

旅鳥として, ふつうに渡来する。

220 ハリモモチュウシャク *Numenius tahitiensis* (Gmelin)

本州(山形1958年一鳥獣集報17巻2号, 千葉県浦安1968年9月29日~10月12日一野鳥34巻2号, 京都府1909年7月一鳥4号), 小笠原群島
まれな旅鳥として渡来する。

221 コシャクシギ *Numenius minutus* Gould

北海道, 本州(千葉, 東京, 長野, 愛知, 三重, 山口), 九州(福岡), 男女群島(1970年)

旅鳥として渡来するが, 少ない。草生地に生息する。

222 ヤマシギ *Scolopax rusticola* Linnaeus

北海道(B), 南千島, 本州(B, W), 佐渡(W), 四国(B?, W), 九州(W), 対馬(W), 屋久島, 種子島, 草垣島, 伊豆諸島(大島B, W, 新島W, 三宅B, W, 御蔵B, W, 八丈B, W, 鳥島B), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(西表, 与那国), 大東群島(南大東島, 沖大東島)

本州以北および伊豆諸島のよく茂った林で繁殖し, 冬は暖地で越冬する。

223 アマミヤマシギ *Scolopax mira* Hartert

北部琉球(奄美B, W)

留鳥として奄美大島に生息する。

224 タシギ *Gallinago gallinago* (Linnaeus)

タシギ *Gallinago gallinago gallinago* (Linnaeus)

北海道, 南千島(エトロフ, クナシリ), 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬, 男女群島, 種子島, 伊豆諸島(八丈, 青ヶ島), 小笠原群島(智島, 父島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 小浜, 与那国), 大東群島(南大東島)

旅鳥または冬鳥として多数渡来する。

225 ハリオシギ *Gallinago stenura* (Bonaparte)

北海道, 南千島, 本州, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(智島, 父島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 与那国)

旅鳥として渡来するが, 多くない。

226 チュウジシギ *Gallinago megala* Swinhoe

北海道, 本州, 佐渡, 隠岐, 四国, 九州, 対馬, 伊豆諸島(八丈, 鳥島), 小笠原群島(父島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国), 大東群島

旅鳥として, ふつうに渡来する。

227 オオジシギ *Gallinago hardwickii* (Gray)

北海道(B), 南千島, 本州(B), 佐渡, 四国, 九州, 伊豆諸島(八丈), 大東群島(南大東島)

本州中部以北の草原で繁殖し, 本州の低地や暖地は旅鳥として通過する。

228 アオシギ *Gallinago solitaria* Hodgson

アオシギ *Gallinago solitaria japonica* (Bonaparte)

北海道(W), 南千島(エトロフW?), 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 伊豆諸島(八丈W), 小笠原群島(父島), 南部琉球(西表)
冬鳥として渡来するが, 多くない。

229 コシギ *Lymnocyptes minimus* (Brünnich)

北海道, 南千島(エトロフ), 本州(W-宮城, 福島, 茨城, 千葉, 埼玉, 東京, 神奈川, 静岡, 兵庫)

旅鳥または冬鳥として渡来するが, 少ない。

セイタカシギ科 RECURVIROSTRIDAE

230 セイタカシギ *Himantopus himantopus* (Linnaeus)

セイタカシギ *Himantopus himantopus himantopus* (Linnaeus)

北海道(鶴川), 本州(山形, 宮城, 茨城, 千葉, 東京, 新潟, 石川, 静岡, 愛知, 大阪, 兵庫, 山口), 四国(愛媛), 九州(福岡, 宮崎, 熊本, 鹿児島), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(硫黄島), 中部琉球(沖縄)

旅鳥として渡来するが少ない。近年, 渡来数が増加し, 越冬記録もある。

231 ソリハシセイタカシギ *Recurvirostra avocetta* Linnaeus

本州(青森1972年一野鳥38巻2号, 宮城1972年一野鳥38巻2号, 愛知1971年, 1972年一野鳥36巻7号, 野鳥38巻2号), 中部琉球(沖縄1973年一野鳥38巻4号) 1971年2月, 日本で初めて記録されてから三年連続渡来している。

ヒレアシシギ科 PHALAROPODIDAE

232 ハイイロヒレアシシギ *Phalaropus fulicarius* (Linnaeus)

北海道, 本州, 九州(熊本1972年), 伊豆諸島(八丈)

旅鳥として日本付近の海上を通過するが, 内陸部へ渡来することは少ない。

233 アカエリヒレアシシギ *Phalaropus lobatus* (Linnaeus)

北海道, 礼文島, 南千島(エトロフ, クナシリ), 本州, 佐渡, 四国, 九州, 対馬, 伊豆諸島(大島, 新島, 三宅, 八丈), 北部琉球(奄美, 喜界), 南部琉球
旅鳥として海上を通過するものは多い。ときに内陸にも群れが飛来する。

ツバメチドリ科 GLAREOLIDAE

234 ツバメチドリ *Glareola maldivarum* Forster

南千島(エトロフ), 本州, 四国, 九州, 対馬, 男女群島, 伊豆諸島(八丈), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 小浜, 与那国)

旅鳥として渡来する。6月下旬に若鳥渡来の記録があり, 秋には比較的多いが, 春の記録は少なく, ほとんどが成鳥である。西南日本に繁殖の可能性がある。

トウゾクカモメ科 STERCORARIIDAE

235 オオトウゾクカモメ *Stercorarius skua* (Brünnich)

オオトウゾクカモメ *Stercorarius skua maccormicki* Saunders

北海道, 南千島, 九州, 伊豆諸島

南半球で繁殖を終えたものが5月から夏にかけて日本近海に渡来するが, 多くない。

236 トウゾクカモメ *Stercorarius pomarinus* (Temminck)

北海道, 南千島, 本州

春, 太平洋岸沖を北上するものが多い。

237 クロトウゾクカモメ *Stercorarius parasiticus* (Linnaeus)

北海道, 南千島, 本州, 伊豆諸島, 小笠原群島

春, 太平洋岸沖を北上するものがある。北海道北部では夏も記録がある。

238 シロハラトウゾクカモメ *Stercorarius longicaudus* Vieillot

北海道, 本州, 伊豆諸島

春, 太平洋岸沖を北上するものがある。また台風によって運ばれ, 内陸に飛来した記録もある。

カモメ科 LARIDAE

239 ユリカモメ *Larus ridibundus* Linnaeus

ユリカモメ *Larus ridibundus sibiricus* Buturlin

北海道(W), 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(大島W), 小笠原群島(父島, 母島), 中部琉球(沖縄)

冬鳥として渡来し, 港湾, 海岸, 内陸の湖や河川に多数生息する。

240 セグロカモメ *Larus argentatus* Pontoppidan

セグロカモメ *Larus argentatus vegae* Palmén

北海道(W), 南千島(エトロフ), 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 種子島, 伊豆諸島(大島, 八丈), 小笠原群島(父島, 母島, 西之島), 硫黄列島(北硫黄島), 南鳥島, 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣), 大東群島(南大東島)

冬鳥として海岸, 港湾に渡来し, 数は多い。オオセグロカモメより南へ移動する。

241 オオセグロカモメ *Larus schistisagus* Stejneger

北海道(B, W), 礼文島, 利尻島(B, W), 天売島(B, W), 南千島(エトロフB, W),

クナシリB, W, シコタンB, W), 大黒島(B, W), 本州北部(W, 三貫島B1973年), 佐渡(W), 本州南部(W), 四国(W), 九州, 対馬, 伊豆諸島(大島, 鳥島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(沖永良部), 南部琉球(石垣)
北海道, 南千島で繁殖し, 冬も残留するが, 本州以南では冬鳥である。セグロカモメより南下する傾向は少ない。1973年6月, 岩手県三貫島で巣と卵が発見された。

242 ワシカモメ *Larus glaucescens* Naumann

北海道(W), 南千島(エトロフW), 本州北部(W)

従来の記録は少ないが, 冬鳥として北日本にはふつうに渡来する。

243 シロカモメ *Larus hyperboreus* Gunnerus

シロカモメ *Larus hyperboreus pallidissimus* Portenko

北海道(W), 南千島(エトロフW), 本州(W), 佐渡(W), 四国, 九州, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(父島)

冬鳥として渡来し, 北日本に比較的多い。

244 カモメ *Larus canus* Linnaeus

カモメ *Larus canus kamtschatschensis* (Bonaparte)

北海道(W), 南千島(クナシリ, シコタン), 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 伊豆諸島(八丈), 硫黄列島(北硫黄島)

冬鳥として, 全国の海岸にふつうに見られる。

245 ウミネコ *Larus crassirostris* Vieillot

北海道(B, W), 礼文島(B), 利尻島(B), 天売島(B), 南千島(エトロフB, クナシリB, シコタンB), 本州(B, W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 男女群島(B, W), 甌島(B, W), 伊豆諸島(大島W, 新島W, 神津W, 三宅W, 八丈, 八丈小島B, W), 小笠原群島(父島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 与那国)

日本近海の島で集団繁殖し, 夏も全国の海岸で見られる。集団繁殖地として知床半島, 天売島, 蕪島, 椿島, 三貫島, 陸中海岸, 足島, 飛島, 経島, 八丈小島, 男女群島, 甌島等が知られている。

246 ズグロカモメ *Larus saundersi* (Swinhoe)

北海道, 本州(W), 九州(W)

旅鳥または冬鳥として渡来するが, 少ない。九州にはやや多い。

247 クビワカモメ *Larus sabini* Sabine

クビワカモメ *Larus sabini tschuktschorum* (Portenko)

本州北部(宮城県本吉郡気仙沼湾1909年11月)

迷鳥として1例があるだけである。

248 ミツユビカモメ *Larus tridactylus* Linnaeus

ミツユビカモメ *Larus tridactylus pollicaris* (Ridgway)

北海道(B?, W), 南千島, 本州(W), 隠岐, 四国(W), 九州, 対馬(W)

冬鳥として渡来するが, 岸からはなれた海上に多い。北海道では夏期も見られ, 繁殖の可能性はある。

249 ゾウゲカモメ *Larus eburneus* Phipps

北海道(根室支庁納沙布岬1934年2月26日一鳥39号)

1回2例の記録があるだけである。

250 ハジロクロハラアジサシ *Sterna leucoptera* Temminck

北海道(石狩), 本州(宮城, 秋田, 千葉, 東京, 神奈川, 愛知, 大阪), 四国(徳島), 九州(熊本, 鹿児島), 伊豆諸島(八丈), 南部琉球(西表)

数少ない旅鳥として春秋に見られる。

251 クロハラアジサシ *Sterna hybrida* Pallas

クロハラアジサシ *Sterna hybrida javanica* Horsfield

本州(宮城, 千葉, 東京, 静岡, 兵庫), 四国(高知), 九州(熊本), 南部琉球(西表1972年6月2日, 与那国)

数少ない旅鳥として渡来する。

252 ハシグロクロハラアジサシ *Sterna nigra* Linnaeus

本州(神奈川県三浦半島小田和湾1971年9月10日~14日一神奈川県立博物館研究報告1巻5号)

迷鳥として1回の記録がある。

253 オニアジサシ *Sterna caspia* Pallas

本州南部(兵庫県姫路市1973年4月28日), 九州(熊本県八代干拓1970年9月~10月, 1973年4月22日~27日), 八重山群島(1911年3月)

迷鳥としてまれに渡来する。

254 オオアジサシ *Sterna bergii* Lichtenstein

オオアジサシ *Sterna bergii cristata* Stephens

本州(東京都中野1947年8月, 静岡県大井川口, 兵庫県明石沖1950年10月, 三重県熊野灘1970年4月), 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(智島, 父島, 西之島B), 南鳥島, 北部琉球(徳之島B), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣), 大東群島(南大東島B)

繁殖地以外には, まれに渡来する。

255 ハシブトアジサシ *Sterna nilotica* Gmelin

ハシブトアジサシ *Sterna nilotica nilotica* Gmelin

本州(千葉県浦安1970年10月, 大阪湾南港1956年, 1969年), 九州(熊本県八代1972年9月~10月)

迷鳥として, まれに渡来する。

256 アジサシ *Sterna hirundo* Linnaeus

アジサシ *Sterna hirundo longipennis* Nordmann

北海道, 南千島, 本州, 四国, 九州, 伊豆諸島(八丈), 南鳥島, 中部琉球(沖縄) 旅鳥として春秋に多数渡来する。

アカアシアジサシ *Sterna hirundo minussensis* Sushkin

本州(宮城, 千葉, 静岡, 大阪)

前亜種に混じって少数渡来する。

257 ベニアジサシ *Sterna dougallii* Montague

ベニアジサシ *Sterna dougallii bangsi* Mathews

北部琉球(奄美B, 徳之島B, 与論), 中部琉球(沖縄, 座間味), 南部琉球(石垣, 西表)

夏鳥として渡来し, 琉球列島で繁殖する。周辺の海域で見られる。

258 エリグロアジサシ *Sterna sumatrana* Raffles

エリグロアジサシ *Sterna sumatrana sumatrana* Raffles

馬毛島(B), 南鳥島(B), 北部琉球(奄美B, 徳之島B, 与論), 中部琉球(沖縄, 座間味), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表B, 竹富, 仲神島B)

夏鳥として渡来し, 主に琉球列島で繁殖する。

259 コシジロアジサシ *Sterna aleutica* Baird

本州(宮城1931年, 千葉, 神奈川1969年, 静岡1969年)

まれに迷鳥として渡来する。

48 260 ナンヨウマミジロアジサシ *Sterna lunata* Peale

硫黄列島(北硫黄島), 南鳥島(1910年10月)

迷鳥として2例があるだけである。

261 マミジロアジサシ *Sterna anaethetus* Scopoli

マミジロアジサシ *Sterna anaethetus anaethetus* Scopoli

北海道(函館1870年), 本州(横浜1890年, 静岡1894年), 硫黄列島(北硫黄島), 南鳥島, 南部琉球(石垣および西表1971年8月14日)

まれに渡来するだけである。

262 セグロアジサシ *Sterna fuscata* Linnaeus

セグロアジサシ *Sterna fuscata nubilosa* Sparrman

本州, 四国, 九州, 伊豆諸島(青ヶ島), 小笠原群島(父島, 母島, 嫁島, 東島, 西之島), 北部琉球(徳之島), 中部琉球(沖縄B), 南部琉球(石垣, 西表, 仲神島B, 尖閣), 大東群島(南大東島)

繁殖地周辺以外ではまれであるが, 台風によって運ばれてくるものがある。

263 コアジサシ *Sterna albifrons* Pallas

コアジサシ *Sterna albifrons sinensis* Gmelin

本州(B), 四国(B), 九州(B), 小笠原群島, 北部琉球(与論), 中部琉球(沖縄B) 夏鳥として渡来し, 本州以南で繁殖する。

264 ハイイロアジサシ *Anous cerulea* (Bennett)

ハイイロアジサシ *Anous cerulea saxatilis* (Fisher)

硫黄列島(北硫黄島), 南鳥島(1911年8月)

2例の記録だけである。

265 クロアジサシ *Anous stolidus* (Linnaeus)

クロアジサシ *Anous stolidus pileatus* (Scopoli)

北海道(函館), 本州(宮城, 東京湾, 和歌山), 九州(佐賀), 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(父島, 母島B, 西之島B), 硫黄列島(北硫黄島B), 南鳥島(B) 繁殖地以外では, ごくまれである。

リュウキュウクロアジサシ *Anous stolidus pullus* Bangs

中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 西表, 仲神島B, 尖閣B)

繁殖地以外では少ない。

266 ヒメクロアジサシ *Anous tenuirostris* (Temminck)

ヒメクロアジサシ *Anous tenuirostris marculi* (Bryan)

硫黄列島(硫黄島), 南鳥島

まれに渡来するだけである。

267 シロアジサシ *Anous albus* (Sparrman)

シロアジサシ *Anous albus candidus* (Gmelin)

北海道, 本州(埼玉, 愛知, 滋賀, 大阪湾), 四国, 九州, 伊豆諸島(大島), 小笠原群島, 硫黄列島, 南鳥島

まれに渡来するだけである。

ウミスズメ科 ALCIDAE

268 ウミガラス *Uria aalge* (Pontoppidan)

ウミガラス *Uria aalge inornata* Salomonsen

北海道(B, W), 礼文島(W), 利尻島(W), 南千島(B), 本州北部(W), 伊豆諸島(大島)

夏期, 北海道では日本海側に多く, 繁殖地周辺にふつう。オホーツク側には多くない。冬期, 北海道南部の海上から本州北部沿岸に少なくない。太平洋側は福島県以北, 日本海側は能登半島以北の海上に分布するが, 年によってはさらに南下する。

269 ハシブトウミガラス *Uria lomvia* (Linnaeus)

ハシブトウミガラス *Uria lomvia arra* (Pallas)

北海道(W), 南千島(W), 本州北部(W)

冬期, 北日本の海上を訪れるが, 前種に比してずっと少ない。駿河湾でも4月, 6月の記録がある。

270 ウミバト *Cepphus columba* Pallas

アリューシャンウミバト *Cepphus columba kaiurka* Portenko

北海道(W), 南千島(W), 本州北部(W)

冬期, 北日本の海上で, まれに観察されるだけである。

チシマウミバト *Cepphus columba snowi* Stejneger

北海道(W), 南千島(W?)

冬期, 北日本の海上でまれに観察されるだけである。

271 ケイマフリ *Cephus carbo* Pallas

北海道(B,W), 礼文島, 利尻島, 南千島(B), 本州北部(B,W), 対馬, 伊豆諸島(八丈)

北海道ではユリ島, モユリ島, 大黒島, 天売島など, 本州北部では青森県尻屋崎, 岩手県三貫島などで繁殖する。冬期はやや南下するが, 主に駿河湾以北に分布する。三重県志摩半島でも記録がある。

272 マダラウミスズメ *Brachyramphus marmoratus* (Gmelin)

マダラウミスズメ *Brachyramphus marmoratus perdix* (Pallas)

北海道(B), 南千島, 本州(W), 九州(博多湾6羽採集), 伊豆諸島(大島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(久米)

夏期, 北海道東部海上で観察され, 繁殖の記録もある(小清水海岸から24km内陸の藻琴山麓で抱卵中の♀1羽が1961年6月15日に捕獲されている)。冬期, 東京湾, 駿河湾等にも渡来する。

273 ウミスズメ *Synthliboramphus antiquus* (Gmelin)

北海道(B,W), 礼文島(W), 利尻島(W), 南千島(B,W?), 本州北部(B,W), 本州南部(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬, 屋久島, 伊豆諸島(新島W, 八丈W, 鳥島), 硫黄列島(北硫黄島?), 北部琉球(奄美), 南部琉球(宮古, 石垣)

夏期, 北海道天売島, 岩手県三貫島などで繁殖するが, 数は多くない。冬期は, 北海道から本州沿岸の海上にきわめてふつうである。

274 カンムリウミスズメ *Synthliboramphus wumizusume* (Temminck)

北海道(函館, 釧路東南東150マイル沖), 本州(B,W), 九州(B,W), 対馬, 伊豆諸島(B,W), 中部琉球(沖縄)

本州では静岡県下田沖の神子元島, 三重県紀伊長島沖の耳穴島, 山口県大津郡など, 伊豆諸島では鵜渡根島, 式根島, 三宅島三本岳など(祇苗島も可能性あり), 九州では福岡県博多湾沖の筑前沖ノ島(小屋島), 机島, 桂島などで繁殖する。

275 エトロフウミスズメ *Aethia cristatella* (Pallas)

北海道(W), 南千島(B?, W), 本州北部(青森, 岩手, 新潟などの海上)

冬期, 北海道東部の海上で観察されるが, 数は多くない。新潟県沿岸からの記録がある。また長野県篠井の千曲川へ迷行した例もある。

276 シラヒゲウミスズメ *Aethia pygmaea* (Gmelin)

南千島(B?, W), 本州北部(宮城1957年2月♂1羽)

冬期, 北日本にまれに渡来する。

277 コウミスズメ *Aethia pusilla* (Pallas)

北海道(W), 南千島(W), 本州北部(W), 九州(久留米, 博多湾, 鹿児島県), 種子島

冬期, 北海道や東北沿岸ではふつう。ときにかんりの大群も見る。しかし, 関東以南および福井県以南の海上ではまれである。兵庫県で内陸に迷行した例がある。

278 ウミオウム *Aethia psittacula* (Pallas)

北海道(W?), 南千島(B?, W?), 本州北部(新潟沿岸, 宮城沿岸)

新潟県沿岸では冬期, 斃死体が漂着することがあるが, その他の地ではごく少ない。

279 ウトウ *Cerorhinca monocerata* (Pallas)

北海道(B, W), 南千島(B, W?), 本州(B, W), 佐渡, 九州(長崎), 対馬, 伊豆諸島(大島)

夏期, 北海道では大黒島, 天売島などで繁殖し, その周辺の海上には多いが, 昼間は島からかなり離れているのがふつうである。本州では陸奥湾, 岩手県椿島, 宮城県足島などで繁殖の記録があるが, 数は少ない。冬期は東北沿岸の海上にあり, 数は少なくない。新潟県沿岸からの記録がある。

280 ツノメドリ *Fratercula corniculata* (Naumann)

北海道(B?, W), 南千島(W), 本州北部(岩手, 宮城, 千葉, 静岡, 新潟)

冬期, 北海道や東北沿岸の海上で観察されるが, 数はごく少ない。新潟県沿岸には斃死体が漂着することがある。なお, 1961年6月と1962年7月に北海道大黒島で夏羽の個体が数羽観察されており, 同島での繁殖の可能性がある。

281 エトピリカ *Lunda cirrhata* (Pallas)

北海道(B, W), 南千島(B, W?), 本州北部(W), 本州南部(駿河湾, 鳥取県)

北海道ではモユリ島, 大黒島などで繁殖し, 夏期, 根室周辺の海上には少なくないが, 比較的局地的であり, 日本海側の海上ではほとんど見られない。冬期は岩手県, 宮城県, 新潟県などの海上で観察されたり, 死体が漂着したりするが, 数は少ない。

ハト目 COLUMBIFORMES

サケイ科 PTEROCLIDIDAE

282 サケイ *Syrhaptēs paradoxus* (Pallas)

本州北部(山形県飯森山1968年12月初旬♂1羽捕獲, 宮城県志津川町1970年12月19日♂1羽死体, 新潟市下所島信濃川河畔1968年11月29日♀1羽捕獲), 本州南部(滋賀県守山町木之浜の琵琶湖畔1969年1月19日~2月23日♂1羽観察), 九州(長崎県諫早市本明川河畔1971年1月28日♀1羽捕獲), 南部琉球(石垣) 上記6例のほか, 1916年ごろ神奈川県相模川河口で2羽, それ以前に神奈川県酒匂川河口で1羽の未確認記録がある。

ハト科 COLUMBIDAE

283 カラスバト *Columba janthina* Temminck

カラスバト *Columba janthina janthina* Temminck

本州(千葉, 横浜, 伊豆半島, 三重, 紀伊半島), 佐渡, 隠岐(B, W), 四国(愛媛県鹿島), 九州(B, W), 対馬(B, W), 五島列島(B?, W), 男女群島, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(B, W), 北部琉球(奄美B, W), 中部琉球(沖縄B, W, 座間味)

伊豆諸島では大島, 利島, 新島, 神津島, 三宅島, 御蔵島, 八丈島, 青ヶ島で, 九州では対馬東方の福岡県筑前沖ノ島, 宮崎県大島などで繁殖する。三宅島, 筑前沖ノ島, 奄美大島などでは少なくない。しかし, 本州などでの記録は, 離島からの漂行の例である。

ヨナクニカラスバト *Columba janthina stejnegeri* (Kuroda)

南部琉球(石垣B, W, 西表B, W, 与那国B, W)

数は少ないが, 西表島中央山地では比較的多い。宮古島でも観察されている。

アカガシラカラスバト *Columba janthina nitens* (Stejneger)

小笠原群島(B, W), 硫黄列島(B, W)

小笠原群島では鴛島, 媒島, 嫁島, 父島, 平島, 母島, 姪島, 姉島, 硫黄列島では北硫黄島, 硫黄島で記録があるが, 現在その数は少ない。硫黄列島での状況は不明である。

284 リュウキュウカラスバト *Columba jōyi* (Stejneger)

中部琉球(沖縄, 伊平屋, 伊是名, 屋我地, 座間味), 大東群島(北大東島, 南

大東島)

沖縄周辺では1904年まで、大東群島では1936年まで生息していたが、それ以後の記録はなく、絶滅したと思われる。

285 オガサワラカラスバト *Columba versicolor* Kittlitz

小笠原群島(父島、媒島)

絶滅種。父島で1827年Beecheyが1羽、1828年Kittlitzが2羽、媒島で1889年Holstが♂1羽採集したのみで、その後はまったく記録がない。

286 シラコバト *Streptopelia decaocto* (Freivaldszky)

シラコバト *Streptopelia decaocto decaocto* (Freivaldszky)

本州北部(埼玉B,W)

局地的な分布で、現在、埼玉県越ヶ谷周辺のみに生息する。左記のほか、茨城県、東京都、千葉県など、関東平野に点々と記録がある。本種が日本在来の種であるかどうかは疑問もある。

287 ベニバト *Streptopelia tranquebarica* (Hermann)

ベニバト *Streptopelia tranquebarica humilis* (Temminck)

本州北部(埼玉県、横浜)、九州(福岡県三井郡小郡村1936年3月、長崎市1886年11月、宮崎県?1935年)、男女群島(1958年)
迷鳥であるが、飼鳥の逃亡したものかもしれない。

288 キジバト *Streptopelia orientalis* (Latham)

キジバト *Streptopelia orientalis orientalis* (Latham)

北海道(B,W)、南千島(B?), 本州(B,W)、佐渡(B,W)、隠岐(B,W)、四国(B,W)、九州(B,W)、対馬(B,W)、五島列島、屋久島、種子島、伊豆諸島(大島~八丈B,W、鳥島)、小笠原群島(父島)、硫黄列島(北硫黄島)、北部琉球(奄美W、喜界、沖永良部、与論)、中部琉球(沖縄)、南部琉球(宮古、石垣)
北海道では夏鳥、本州、四国、九州では最もふつうの留鳥である。

リュウキュウキジバト *Streptopelia orientalis stimpsoni* (Stejneger)

屋久島、北部琉球(奄美B,W、徳之島、沖永良部、与論)、中部琉球(沖縄B,W、座間味、久米)、南部琉球(宮古B,W、石垣B,W、西表B,W、鳩間B,W、竹富、黒島、仲神島、与那国B,W、尖閣)

奄美大島から与那国島まで繁殖する。留鳥で、数はきわめて多く、特に西表島北端の鳩間島では本亜種が地上にまで営巢し、コロニー状態で繁殖している。

屋久島は迷鳥である。

289 キンバト *Chalcophaps indica* (Linnaeus)

キンバト *Chalcophaps indica yamashinai* Hachisuka

南部琉球(石垣, 西表 B, W, 鳩間, 竹富, 小浜, 黒島, 与那国 B, W)

あまり多くない。西表島で多少とも見かけるほか, その属島の小浜島, 黒島, 鳩間島にもおり, また石垣島属島の竹富島でも観察されている。

290 アオバト *Sphenurus sieboldii* (Temminck)

アオバト *Sphenurus sieboldii sieboldii* (Temminck)

北海道(B), 南千島(クナシリ), 本州(B, W), 佐渡, 隠岐, 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(大島, 新島, 八丈, 青ヶ島), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島)

北海道では夏鳥で, 知床半島, 大雪山, 阿寒, 支笏, 小樽など道東, 道南方面に多い。本州では留鳥, または漂鳥。四国, 九州では繁殖もするが, むしろ越冬地で, 高知, 熊本, 宮崎などの温暖地では冬期かなりの群れを見る。

291 ズアカアオバト *Sphenurus formosae* (Swinhoe)

リュウキュウズアカアオバト *Sphenurus formosae permagnus* (Stejneger)

屋久島, 種子島, 北部琉球(奄美 B, W, 徳之島 B, W, 沖永良部), 中部琉球(沖縄 B, W)

留鳥として奄美大島より沖縄まで分布し, 数は多い。鹿児島からの報告もある。

チュウダイズアカアオバト *Sphenurus formosae medioximus* (Bangs)

南部琉球(宮古, 石垣 B, W, 西表 B, W, 鳩間, 竹富, 黒島, 与那国 B, W)

留鳥として宮古以南に分布し, 数は多い。

ホトトギス目 CUCULIFORMES

ホトトギス科 CUCULIDAE

292 ジュウイチ *Cuculus fugax* Horsfield

ジュウイチ *Cuculus fugax hyperythrus* Gould

北海道(B-大雪山, 函館), 本州北部(B), 本州南部, 佐渡, 四国(B), 九州, 伊豆諸島(大島, 三宅, 八丈)

夏期，本州中部山地では繁殖するものが少なくない。

293 カッコウ *Cuculus canorus* Linnaeus

カッコウ *Cuculus canorus telephonus* Heine

北海道(B)，礼文島，利尻島，南千島(B?)，本州(B)，佐渡，四国(B)，九州(B)，対馬(B)，伊豆諸島(大島，三宅，八丈)，小笠原群島(父島)，硫黄列島(北硫黄島)，中部琉球(沖縄)，南部琉球(与那国)

夏期，北海道および本州中部以北の高原にふつうである。

294 ツツドリ *Cuculus saturatus* Blyth

ツツドリ *Cuculus saturatus horsfieldi* Moore

北海道(B)，南千島(B?)，本州(B)，佐渡，四国(B)，九州(B?)，対馬，伊豆諸島(三宅，御蔵，八丈)，小笠原群島(父島，母島)，硫黄列島(北硫黄島)，中部琉球(沖縄)，南部琉球(石垣，与那国)，大東群島(南大東島)

北海道，本州北部で夏鳥，他の多くの地方では通過のみである。繁殖地ではふつう。

295 ホトトギス *Cuculus poliocephalus* Latham

ホトトギス *Cuculus poliocephalus poliocephalus* Latham

北海道(B)，本州(B)，佐渡，四国(B)，九州(B)，対馬，屋久島，伊豆諸島(B)，小笠原群島(父島，母島)，硫黄列島(北硫黄島)，中部琉球(沖縄)，南部琉球(与那国)

北海道では南部で少数が夏鳥。本州，四国では各地にふつう。伊豆諸島では三宅島，御蔵島，八丈島に繁殖記録があるが，大島，利島，新島，神津島でも繁殖していると思われる。九州では少数繁殖するが，多くは通過である。

フクロウ目 STRIGIFORMES

フクロウ科 STRIGIDAE

296 シロフクロウ *Nyctea scandiaca* (Linnaeus)

北海道(W)，南千島，本州北部(秋田，千葉)，本州南部(岐阜，鳥取，広島)

北海道では，年により冬期，少数が渡来する。本州では迷鳥である。

297 ワシミミズク *Bubo bubo* (Linnaeus)

カラフトワシミズク *Bubo bubo borissowi* Hesse

北海道(帯広—動雑42巻329ページ), 南千島(エトロフ, クナシリ)
まれな種で, 確実な記録はほとんどない。

タイリクワシミズク *Bubo bubo kiautschensis* Reichenow

五島列島(Ibis, 1886年524ページ), 伊豆諸島(三宅), 北部琉球(奄美)
迷鳥としてまれに渡来する。

298 シマフクロウ *Ketupa blakistoni* (Seebohm)

シマフクロウ *Ketupa blakistoni blakistoni* (Seebohm)

北海道(B, W), 南千島(エトロフ, クナシリ, シコタン)

北海道東部および中央部の原生林に留鳥として生息する。数は少ないが, 近年繁殖が確認されている。

299 トラフズク *Asio otus* (Linnaeus)

トラフズク *Asio otus otus* (Linnaeus)

北海道(B), 南千島, 本州北部(B, W), 本州南部(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(大島, 三宅, 青ヶ島, 鳥島), 硫黄列島(北硫黄島), 南部琉球(石垣)

北海道, 東北では主に夏鳥, それ以南では主に冬鳥と思われる。

300 コミミズク *Asio flammeus* (Pontoppidan)

コミミズク *Asio flammeus flammeus* (Pontoppidan)

北海道(W), 南千島(W?), 本州(W), 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(大島, 八丈, 鳥島), 中部琉球(久米), 南部琉球(石垣)

本州では冬期, 河原や草地を訪れる冬鳥で, 年によって渡来数には多少がある。

301 コノハズク *Otus scops* (Linnaeus)

コノハズク *Otus scops japonicus* Temminck & Schlegel

北海道(B), 利尻島, 南千島(クナシリ), 本州(B, W), 佐渡, 四国(B?), 九州(B?); 対馬, 伊豆諸島(鳥島), 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(西表, 竹富)

北海道, 東北では夏鳥, 本州中部以南では留鳥または夏鳥, 南西諸島では3月, 4月, 8月に鳴き声が聞かれており, ふつうに通過すると思われる。

リュウキュウコノハズク *Otus scops elegans* (Cassin)

九州(長崎), 北部琉球(奄美B, W, 徳之島), 中部琉球(沖縄B, W), 南部琉球

(石垣B,W, 西表B,W, 竹富B,W, 小浜B,W, 黒島B,W)

奄美大島以南の南西諸島に、きわめてふつう。長崎県の例は迷行と思われる。

ダイトウコノハズク *Otus scops interpositus* Kuroda

大東群島(南大東島B,W)

留鳥としてふつうに生息する。

302 オオコノハズク *Otus bakkamoena* Pennant

サメイロオオコノハズク *Otus bakkamoena ussuriensis* (Buturlin)

本州北部(新潟)

大陸からの迷鳥である。

オオコノハズク *Otus bakkamoena semitorques* Temminck & Schlegel

北海道(B), 南千島, 本州(B,W), 佐渡(B,W), 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬, 五島列島, 屋久島, 伊豆諸島(B,W)

北日本では主に夏鳥, 本州中部以南では留鳥または漂鳥。

リュウキュウオオコノハズク *Otus bakkamoena pryeri* (Gurney)

伊豆諸島(八丈), 中部琉球(沖縄, 屋我地), 南部琉球(西表)

西表島では少なくない。

303 キンメフクロウ *Aegolius funereus* (Linnaeus)

キンメフクロウ *Aegolius funereus pallens* (Schalow)

北海道(美幌), 南千島(クナシリ1930年10月), 本州(新潟1955年1月—野鳥25巻2/3号)

まれな種である。

304 アオバズク *Ninox scutulata* (Raffles)

チョウセンアオバズク *Ninox scutulata macroptera* Blasius

北海道(札幌), 本州北部(富山), 伊豆諸島(八丈), 硫黄列島(北硫黄島), 南部琉球(石垣), 大東群島(北大東島1922年10月, 南大東島)

大陸からの迷鳥である。

アオバズク *Ninox scutulata japonica* (Temminck & Schlegel)

北海道(B), 本州(B), 佐渡, 隠岐, 四国(B), 九州(B), 対馬, 種子島, 伊豆諸島(大島B, 利島, 新島, 神津島, 三宅B, 御蔵B, 八丈B), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 南部琉球(石垣, 西表), 大東群島(北大東島, 南大東島)

各地に夏鳥としてふつうに渡来する。

リュウキュウアオバズク *Ninox scutulata totogo* Momiyama

北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄, 座間味), 南部琉球(宮古B, W?, 石垣B, W?, 西表B, W?, 竹富, 黒島, 新城, 与那国B, W?)

琉球諸島に分布する。

305 フクロウ *Strix uralensis* Pallas

エゾフクロウ *Strix uralensis japonica* (Clark)

北海道(B, W), 南千島(エトロフB, W)

北海道と南千島に留鳥として生息する。

トウホクフクロウ *Strix uralensis hondoensis* (Clark)

本州北部(B, W)

青森, 岩手, 宮城, 福島, 栃木, 新潟に分布する。

モミヤマフクロウ *Strix uralensis momiyamae* Taka-Tsukasa

本州中部および本州南部(B, W)

山形, 千葉北部, 静岡, 愛知, 長野, 富山, 福井, 京都, 鳥取に分布する。

キュウシュウフクロウ *Strix uralensis fuscescens* Temminck & Schlegel

本州南部(B, W), 四国(B, W), 九州(B, W), 伊豆諸島(鳥島)

本州では千葉県南部, 静岡県東南部, 紀伊半島, 淡路島, 広島県南部に分布する。

ヨタカ目 CAPRIMULGIFORMES

ヨタカ科 CAPRIMULGIDAE

306 ヨタカ *Caprimulgus indicus* Latham

ヨタカ *Caprimulgus indicus jotaka* Temminck & Schlegel

北海道(B), 南千島(クナシリ), 本州(B), 佐渡, 四国(B), 九州(B), 対馬, 伊豆諸島(大島, 三宅, 八丈), 小笠原群島(鴛島, 父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島), 南部琉球(石垣, 西表, 与那国), 大東群島(南大東島)

各地にふつうの夏鳥。伊豆諸島や南西諸島では旅鳥。福岡で12月, 2月の記録がある。

アマツバメ目 APODIFORMES

アマツバメ科 APODIDAE

307 ハリオアマツバメ *Chaetura caudacuta* (Latham)

ハリオアマツバメ *Chaetura caudacuta caudacuta* (Latham)

北海道(B), 利尻島, 南千島(B?), 本州北部(B), 本州南部, 佐渡, 四国, 九州, 対馬, 伊豆諸島(三宅, 八丈), 北部琉球(奄美), 南部琉球(与那国)
アマツバメに比べてずっと少ないが, 本州中部以北では少なくない。

308 ヒメアマツバメ *Apus affinis* (Gray)

ヒメアマツバメ *Apus affinis subfurcatus* (Blyth)

本州北部(B, W), 本州南部(B, W), 四国(B, W), 九州(B, W), 種子島, 伊豆諸島(三宅), 中部琉球(沖縄B, W), 南部琉球(西表), 大東群島(南大東島)
1929年6月12日, 南大東島で1羽採集された以外はまったく記録のない迷鳥であったが, 1967年7月8日静岡市内で繁殖が確認され, 以後本州, 四国, 九州の太平洋岸各地から続々と繁殖の確認が報告されるようになった。したがって, 静岡での初確認以前にも本種が日本列島沿いに北上していたと考えられ, かなり確実な記録として, 1964年7月15日種子島, 1965年6月6日鎌倉市内, 1966年1月23日神奈川県酒匂川などの観察例がある。現在, 繁殖地の北限は神奈川県小田原市である。沖縄県名護市まで, 太平洋岸で点々と繁殖している。生息地では留鳥。

309 アマツバメ *Apus pacificus* (Latham)

キタアマツバメ *Apus pacificus pacificus* (Latham)

北海道(B), 礼文島, 利尻島(B?), 南千島(B)
夏鳥として北海道にふつうに生息する。

アマツバメ *Apus pacificus kurodae* (Domaniewski)

本州(B), 佐渡, 四国(B), 九州(B), 屋久島(B?), 種子島, 伊豆諸島(B), 北部琉球(徳之島B)

夏鳥として本州以南に分布する。伊豆諸島でも繁殖する。西表島, 与那国島で観察例もある。

ブッポウソウ目 CORACIIFORMES

カワセミ科 ALCEDINIDAE

310 ヤマセミ *Ceryle lugubris* (Temminck)

エゾヤマセミ *Ceryle lugubris pallida* Momiyama

北海道(B,W), 南千島(クナシリ, シコタン)

局地的ではあるが, 少なくない。

ヤマセミ *Ceryle lugubris lugubris* (Temminck)

本州(B,W), 四国(B,W), 九州(B,W)

局地的に分布する。最近は減少している。

311 ヤマショウビン *Halcyon pileata* (Boddaert)

北海道(十勝支庁然別沼1964年10月24日, 十勝支庁東雲湖1965年6月3日), 利尻島(杓形1971年5月28日), 本州(新潟県塩沢町1972年10月24日, 静岡県志太郡1891年6月8日, 静岡市平沢1972年5月12日, 愛知1911年4月, 京都, 兵庫), 九州(福岡県高良山1921年, 佐賀県三養基郡鳥栖町), 対馬(1972年4月), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(西表1921年10月)

大陸からの迷鳥である。

312 アカショウビン *Halcyon coromanda* (Latham)

アカショウビン *Halcyon coromanda major* (Temminck & Schlegel)

北海道(B), 本州(B), 佐渡, 四国(B), 九州(B), 対馬, 伊豆諸島(三宅, 青ヶ島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣)

北海道では主に道南で繁殖する。本州では各地にいる。四国では高知, 愛媛, 九州では宮崎と鹿児島で繁殖しており, 高知, 宮崎では少なくない。その他の地域では通過だけである。

リュウキュウアカショウビン *Halcyon coromanda bangsi* (Oberholser)

北部琉球(奄美B, 徳之島B, 沖永良部B, 与論B), 中部琉球(沖縄B), 南部琉球(宮古B, 石垣B, 西表B, 黒島, 与那国B)

夏鳥として渡来し, 奄美大島以南でふつうに繁殖する。

313 ミヤコショウビン *Halcyon miyakoensis* Kuroda

南部琉球(宮古1887年2月5日)

絶滅種。標本はたった1点で, 1887年2月5日に採集されたものである。

314 カワセミ *Alcedo atthis* (Linnaeus)

カワセミ *Alcedo atthis bengalensis* Gmelin

北海道(B, W?), 南千島, 本州(B, W), 佐渡(B, W), 隠岐(B, W), 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(三宅, 八丈), 小笠原群島(父島), 北部琉球(奄美B, W, 喜界, 徳之島B, W, 沖永良部), 中部琉球(沖縄B, W), 南部琉球(宮古B, W, 石垣B, W, 西表B, W, 小浜, 黒島, 与那国), 大東群島(南大東島)

北海道では夏鳥と思われる。他では留鳥。南九州の一部や南西諸島では多い。

ハチクイ科 MEROPIDAE

315 ハチクイ *Merops ornatus* Latham

南部琉球(宮古1904年7月9日♂1羽採集)

上記1例のみの迷鳥である。繁殖地はオーストラリアで、異例の迷行と思われる。

ブッポウソウ科 CORACIIDAE

316 ブッポウソウ *Eurystomus orientalis* (Linnaeus)

ブッポウソウ *Eurystomus orientalis calonyx* Sharpe

北海道(釧路, 阿寒), 利尻島, 焼尻島, 南千島, 本州(B), 佐渡(B), 四国(B), 九州(B), 対馬, 硫黄列島(硫黄島), 南部琉球(与那国)

夏鳥として渡来し、場所によってはかなり多い。

ヤツガシラ科 UPUPIDAE

317 ヤツガシラ *Upupa epops* Linnaeus

ヤツガツラ *Upupa epops saturata* Lönnerberg

北海道(函館, 札幌など), 南千島, 本州北部(青森, 山形, 群馬, 埼玉, 東京, 神奈川, 新潟, 石川), 本州南部(愛知, 三重, 和歌山, 鳥取, 島根, 山口), 四国(徳島, 高知), 九州(福岡, 長崎, 鹿児島), 対馬, 種子島, 男女群島, 伊豆諸島(大島), 北部琉球(徳之島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 与那国) 旅鳥として渡来するが、少ない。冬期の記録もある。

キツツキ目 PICIFORMES

キツツキ科 PICIDAE

318 アリスイ *Jynx torquilla* Linnaeus

アリスイ *Jynx torquilla japonica* (Bonaparte)

北海道(B), 礼文島(B), 利尻島(B), 南千島(クナシリB, シコタンB), 本州北部(B,W), 本州南部(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 対馬, 五島列島, 種子島, 伊豆諸島(大島, 神津)

夏期, 北海道では少なくない。本州では主に冬鳥で, 繁殖は青森県と岩手県でのみ知られている。全体的に数は多くない。

シベリアアリスイ *Jynx torquilla chinensis* (Hesse)

南千島(エトロフ)

1回採集された記録があるが, 留鳥か迷鳥か不明。

319 アオゲラ *Picus awokera* Temminck

アオゲラ *Picus awokera awokera* Temminck

本州(B,W), 飛島, 粟島, 佐渡

数は少なくない。留鳥, 一部漂鳥。

カゴシマアオゲラ *Picus awokera horii* Taka-Tsukasa

四国(B,W), 九州(B,W)

四国石鎚山山麓にはかなり多い。留鳥。

タネアオゲラ *Picus awokera takatsukasae* Kuroda

屋久島(B,W), 種子島(B,W)

あまり多くない。

320 ヤマゲラ *Picus canus* Gmelin

ヤマゲラ *Picus canus jessoensis* Stejneger

北海道(B,W), 南千島, 本州北部(日光)

数は少なくない。本州ではまれな迷鳥である。

321 ノグチゲラ *Sapheopipo noguchii* (Seebohm)

中部琉球(沖縄B,W)

沖縄本島北部山地(北は西銘岳から南は伊湯岳に至る間)にのみ生息する稀種で, 生息数は100~200羽(1972年現在)と推定されるが, 絶滅のおそれがある。

322 クマゲラ *Dryocopus martius* (Linnaeus)

北海道(B,W), 南千島(クナシリ), 本州北部(秋田県八幡平)

留鳥として北海道に生息するが, 原生林伐採のため減少しつつある。本州北部の記録がある。

323 キタタキ *Dryocopus javensis* (Horsfield)

キタタキ *Dryocopus javensis richardsi* Tristram

対馬

かつては対馬で繁殖していたが, 1920年10月9日♂1羽♀1羽の採集を最後に消息を絶った。同島では絶滅と思われる。朝鮮では少数が残存している(光陵付近)。

324 アカゲラ *Dendrocopos major* (Linnaeus)

エゾアカゲラ *Dendrocopos major japonicus* (Seeböhm)

北海道(B,W), 利尻島, 南千島(クナシリ B,W)

北海道各地に多い。

アカゲラ *Dendrocopos major hondoensis* (Kuroda)

本州(B,W), 飛島, 粟島, 対馬, 伊豆諸島(八丈)

本州の中北部では多いが, 本州西南部には少ない。

325 オオアカゲラ *Dendrocopos leucotos* (Bechstein)

エゾオオアカゲラ *Dendrocopos leucotos subcirris* (Stejneger)

北海道(B,W), 利尻島, 南千島(クナシリ B,W)

留鳥。北海道各地にふつう。

トウホクオオアカゲラ *Dendrocopos leucotos stejnegeri* (Kuroda)

本州北部(B,W), 佐渡(B,W)

本州での分布は千葉県, 神奈川県, 山梨県, 長野県以北であり, アカゲラよりずっと少ない。佐渡で繁殖する。留鳥。

ナミエオオアカゲラ *Dendrocopos leucotos namiyei* (Stejneger)

本州南部(B,W), 隠岐, 四国(B,W), 九州(B,W)

本州での分布は, 静岡県, 奈良県, 和歌山県, 京都府以西である。西南日本には多い。留鳥。

オーストンオオアカゲラ *Dendrocopos leucotos owstoni* (Ogawa)

北部琉球(奄美 B,W)

数は少なくない。留鳥。

326 コアカゲラ *Dendrocopos minor* (Linnaeus)

コアカゲラ *Dendrocopos minor amurensis* (Buturlin)

北海道(B,W), 南千島

大雪日高山系より北, および東側に分布。数は多くない。

327 コゲラ *Dendrocopos kizuki* (Temminck)

エゾコゲラ *Dendrocopos kizuki ijimae* (Taka-Tsukasa)

北海道(B,W), 利尻島, 南千島(B,W)

北海道の各地に多い。

ホンシュウコゲラ *Dendrocopos kizuki seebohmi* (Hargitt)

本州北部(B,W)

滋賀県, 福井県, 京都府以東に分布。ふつうの留鳥。

ミヤケコゲラ *Dendrocopos kizuki matsudairai* (Kuroda)

屋久島(B,W), 伊豆諸島(大島, 三宅B,W, 御蔵B,W, 八丈B,W)

三宅島, 御蔵島には多産する。八丈島では近年ほとんど観察されていない。伊豆大島ではコゲラが観察されている(亜種?)。留鳥。

シコクコゲラ *Dendrocopos kizuki shikokuensis* (Kuroda)

本州南部(B,W), 四国(B,W)

三重県, 奈良県, 兵庫県, 鳥取県以西に分布。各地でふつうの留鳥。

キュウシュウコゲラ *Dendrocopos kizuki kizuki* (Temminck)

九州(B,W)

各地でふつうの留鳥。

ツシマコゲラ *Dendrocopos kizuki kotataki* (Kuroda)

隠岐(B,W), 対馬(B,W)

対馬では少なくない。留鳥。

アマミコゲラ *Dendrocopos kizuki amamii* (Kuroda)

北部琉球(奄美B,W, 徳之島B,W)

あまり多くない。留鳥。

リュウキュウコゲラ *Dendrocopos kizuki nigrescens* (Seeböhm)

中部琉球(沖縄B,W, 屋我地B,W)

数は少ない。留鳥。

オリコゲラ *Dendrocopos kizuki orii* (Kuroda)

南部琉球(西表 B, W)

多くない。留鳥。

328 ミユビゲラ *Picoides tridactylus* (Linnaeus)

ミユビゲラ *Picoides tridactylus inouyei* Yamashina

北海道(B, W)

1942年に十勝支庁十勝三股で発見され、♂ 1羽♀ 2羽が採集された。1956年に営巣も確認された。数はきわめて少なく、十勝岳、大雪山、石狩岳などの北海道中央山地にのみ生息する。留鳥。

スズメ目 PASSERIFORMES

ヤイロチョウ科 PITTIDAE

329 ヤイロチョウ *Pitta brachyura* (Linnaeus)

ヤイロチョウ *Pitta brachyura nympha* Temminck & Schlegel

本州(秋田1965年5月, 栃木1916年~17年, 埼玉1973年6月, 長野1926年, 1954年5月, 静岡1909年~10年, 1938年, 山梨1964年10月, 愛知, 福井1958年6月, 1959年7月, 1963年6月, 石川1963年5月, 和歌山1924年, 1927年, 広島1960年8月, 鳥取, 島根), 隠岐, 四国(B-高知, 愛媛), 九州(福岡1900年6月, 1933年, 1937年6月, 長崎B, 1955年7月, 1960年7月, 熊本1925年7月, 1972年5月, 宮崎1951年9月, 1968年9月, 1972年6月, 鹿児島), 対馬(B)

夏鳥として主に西南日本に渡来するが, 少ない。既知の場所以外にも, 本州西南部, 九州には繁殖地があると思われる。

ヒバリ科 ALAUDIDAE

330 クビワコウテンシ *Melanocorypha bimaculata* (Ménétries)

クビワコウテンシ *Melanocorypha bimaculata torquata* Blyth

伊豆諸島(八丈1923年3月22日)

ただ1回の記録だけである。飼鳥が逃げた疑いもある。

331 ヒメコウテンシ *Calandrella cinerea* (Gmelin)

ヒメコウテンシ *Calandrella cinerea longipennis* (Eversmann)

本州北部(神奈川県酒匂川下流1958年5月6日採集, 長野県1965年12月), 佐渡(加茂村梅津1932年4月), 硫黄列島(北硫黄島1930年4月, 1931年10月)

迷鳥としてまれに渡来する。上記のほかに千葉県(1966年4月-野鳥31巻4号), 鳥島(1958年4月-鳥76号)の観察記録がある。

332 ヒバリ *Alauda arvensis* Linnaeus

オオヒバリ *Alauda arvensis pekinensis* Swinhoe

北海道(W), 南千島(B), 本州(W), 四国, 九州, 伊豆諸島(八丈)
南千島で繁殖し, 冬は南下する。

カラフトチュウヒバリ *Alauda arvensis lonnbergi* Hachisuka

北海道, 南千島, 本州(W), 四国, 九州, 伊豆諸島(八丈)
主に樺太から, 冬鳥として渡来する。

ヒバリ *Alauda arvensis japonica* Temminck & Schlegel

北海道(B), 焼尻島(B), 天売島(B), 南千島, モユルリ(B), 本州(B, W),
佐渡(B, W), 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬(W), 五島列島, 屋久島, 種子
島, 馬毛島, 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 西表, 与那国)
草原, 畑等で繁殖し, 積雪地のものは秋期に暖地へ移動する。

333 ハマヒバリ *Eremophila alpestris* (Linnaeus)

ハマヒバリ *Eremophila alpestris flava* (Gmelin)

北海道(1887年), 本州(長野1914年, 1915年, 1916年, 静岡1894年, 滋賀1921
年, 愛知1971年12月~1972年3月), 対馬(1920年)
まれな冬鳥として海岸や荒地に渡来する。新潟県でも, 1967年12月~1968年1
月に観察されている。

ツバメ科 HIRUNDINIDAE

334 ショウドウツバメ *Riparia riparia* (Linnaeus)

ショウドウツバメ *Riparia riparia ijimae* (Lönnerberg)

北海道(B), 南千島(エトロフB, クナシリB), 本州, 九州(佐賀), 対馬, 伊
豆諸島(八丈)

北海道では各地で繁殖し, 本州以南では旅鳥として通過する。特に秋期, 太平

洋岸沿いには毎年群れが見られる。

335 ツバメ *Hirundo rustica* Linnaeus

ツバメ *Hirundo rustica gutturalis* Scopoli

北海道(B), 利尻島, 焼尻島, 南千島(B), 本州(B,W), 佐渡(B), 四国(B), 九州(B,W), 対馬, 屋久島, 種子島(B), 伊豆諸島(B), 小笠原群島, 硫黄列島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 黒島, 与那国), 大東群島

ふつうに繁殖するが, 日本の北部および南部では多くない。

アカハラツバメ *Hirundo rustica saturata* Ridgway

本州(青森), 九州(福岡, 鹿児島), 男女群島, 伊豆諸島(八丈), 南部琉球(与那国)

前亜種に混じって旅鳥または冬鳥として渡来するが, 少ない。

336 リュウキュウツバメ *Hirundo tahitica* Gmelin

リュウキュウツバメ *Hirundo tahitica namiyei* (Stejneger)

北部琉球(奄美B, 徳之島B, 喜界B), 中部琉球(沖縄B, 座間味B), 南部琉球(石垣B, 西表, 与那国B), 大東群島(北大東島, 南大東島)

奄美群島以南で繁殖する。やや局地的であるが少なくない。

337 コシアカツバメ *Hirundo daurica* Linnaeus

コシアカツバメ *Hirundo daurica japonica* Temminck & Schlegel

北海道(B-根室1973年7月), 礼文島(B, 1972年8月), 本州北部(B), 本州南部(B), 佐渡(B), 四国(B), 九州(B), 対馬(B), 屋久島, 伊豆諸島, 南部琉球(石垣)

南西日本に多いが, 近年北上し, 1972年には北海道で繁殖するのが知られた。

338 イワツバメ *Delichon urbica* (Linnaeus)

イワツバメ *Delichon urbica dasypus* (Bonaparte)

北海道(B), 利尻島(B), 焼尻島(B), 天売島(B), 南千島(B), 本州(B,W), 佐渡(B), 四国(B), 九州(B,W), 伊豆諸島(三宅B, 八丈B, 鳥島), 南部琉球(西表, 与那国)

海岸や山地に多いが, 近年は低地や市街地でも繁殖し, また越冬するものも多い。

セキレイ科 MOTACILLIDAE

339 イワミセキレイ *Dendronanthus indicus* (Gmelin)

本州(島根B), 九州(B,W), 男女群島, 伊豆諸島, 小笠原群島, 硫黄列島(北硫黄島), 南部琉球(与那国), 大東群島(南大東島)

まれな旅鳥または冬鳥とされていたが, 1971年以来, 福岡市内にて繁殖している。また島根県でも繁殖が知られ, 佐賀県では夏期を通じて観察されている。

340 ツメナガセキレイ *Motacilla flava* Linnaeus

マミジロツメナガセキレイ *Motacilla flava simillima* Hartert

本州, 伊豆諸島, 硫黄列島, 南部琉球(石垣, 与那国)

冬鳥として渡来するが, 少ない。

キマユツメナガセキレイ *Motacilla flava taiwana* (Swinhoe)

九州(熊本), 男女群島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 小浜, 黒島, 与那国)

冬鳥として渡来するが, 琉球を除いては少ない。

341 キガシラセキレイ *Motacilla citreola* Pallas

キガシラセキレイ *Motacilla citreola citreola* Pallas

本州南部(兵庫県姫路市1972年4月18日), 男女群島(1970年4月27日, 1971年5月)

日本では3回の記録しかない。まれに出現する。

342 キセキレイ *Motacilla cinerea* Tunstall

キセキレイ *Motacilla cinerea robusta* (Brehm)

北海道(B), 利尻島, 南千島(B), 本州(B,W), 佐渡(W), 隠岐(W), 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬(W), 壱岐(W), 五島列島(W), 屋久島(W), 種子島(W), 伊豆諸島(大島, 神津, 三宅B, 八丈, 青ヶ島, 鳥島), 硫黄列島, 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄W), 南部琉球(宮古W, 石垣W, 西表W, 与那国W, 尖閣W), 大東群島

留島または漂鳥として, 全国にふつうに生息する。

343 ハクセキレイ *Motacilla alba* Linnaeus

ハクセキレイ *Motacilla alba lugens* Gloger

北海道(B), 礼文島(B), 利尻島(B), 天売島(B), 南千島(B), 本州北部(B,W), 本州南部(W), 佐渡(B,W), 隠岐(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W),

屋久島(W), 種子島(W), 伊豆諸島(W), 小笠原群島(父島W), 硫黄列島(北硫黄島W), 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄W), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国), 大東群島(南大東島)

繁殖地はしだいに南下し, 1965年5月栃木県, 1968年6月茨城県, 1973年7月千葉県, で繁殖例が発見されている。冬鳥としては全国的に多数渡来する。

ホオジロハクセキレイ *Motacilla alba leucopsis* Gould

本州(B,W), 九州(B,W), 対馬(W), 男女群島, 五島列島, 伊豆諸島(三宅, 八丈), 南部琉球(石垣)

本州(鳥取県境港1972年5月, 島根県安来市1972年5月), 九州(熊本県相良村1968年4月)で繁殖が確認されている。主に冬鳥として各地に渡来するが, 数は少ない。

344 セグロセキレイ *Motacilla grandis* Sharpe

北海道(B,W), 本州(B,W), 佐渡(B,W), 隠岐, 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬(W), 屋久島, 伊豆諸島(三宅W, 八丈W), 北部琉球(奄美)

各地に留鳥として生息し, ふつうに繁殖するが, 川原に多く, 海岸には少ない。

345 マミジロタヒバリ *Anthus novaeseelandiae* (Gmelin)

マミジロタヒバリ *Anthus novaeseelandiae sinensis* (Bonaparte)

男女群島, 伊豆諸島(八丈), 南部琉球(石垣, 与那国), 大東群島(南大東島)

まれに渡来する。上記のほか, 対馬, 九州西部, 沖縄では比較的多くの観察記録がある。

346 コマミジロタヒバリ *Anthus godlewskii* (Taczanowski)

南部琉球(与那国)

上記の1例のみである。

347 ヨーロッパビンズイ *Anthus trivialis* (Linnaeus)

ヨーロッパビンズイ *Anthus trivialis trivialis* (Linnaeus)

本州(新潟県柏崎1965年2月9日-鳥91/92号)

上記の1例のみである。

348 ビンズイ *Anthus hodgsoni* Richmond

カラフトビンズイ *Anthus hodgsoni yunnanensis* Uchida & Kuroda

北海道, 南千島(エトロフB, クナシリB, シコタンB), 本州, 九州

冬鳥として渡来するが, 少ない。

ビンズイ *Anthus hodgsoni hodgsoni* Richmond

北海道(B), 礼文島(B), 利尻島(B), 本州北部(B,W), 本州南部(W), 佐渡(W), 四国(B,W), 九州(W), 対馬(W), 伊豆諸島(大島W, 新島W, 三宅W, 御蔵W, 八丈W), 硫黄列島, 中部琉球(沖縄W), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国), 大東群島(南大東島W)

本州中部以北の山地の明るい林, 草原, 岩石地で繁殖し, 数は多い。冬は暖地へ移動する。

349 セジロタヒバリ *Anthus gustavi* Swinhoe

セジロタヒバリ *Anthus gustavi gustavi* Swinhoe

本州(新潟県悪田1967年10月9日, 静岡県安倍郡大里村西嶋海岸1894年9月), 硫黄列島(北硫黄島1927年1月), 南部琉球(石垣1927年2月, 1928年4月, 1931年10月, 西表1921年11月)

数少ない旅鳥である。

350 ムネアカタヒバリ *Anthus cervinus* (Pallas)

南千島, 本州(W), 佐渡(W), 四国, 九州(W), 五島列島, 男女群島, 伊豆諸島(八丈), 硫黄列島, 中部琉球(沖縄, 久米), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 小浜, 黒島, 与那国), 大東群島

冬鳥または旅鳥として渡来するが, 多くない。

351 タヒバリ *Anthus spinoletta* (Linnaeus)

タヒバリ *Anthus spinoletta japonicus* Temminck & Schlegel

北海道, 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 種子島(W), 伊豆諸島(大島W, 三宅W, 八丈W), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 与那国)

北海道には旅鳥として, 本州以南には冬鳥として渡来し, 数は多い。

サンショウクイ科 CAMPEPHAGIDAE

352 アサクラサンショウクイ *Coracina melaschistos* (Hodgson)

アサクラサンショウクイ *Coracina melaschistos intermedia* (Hume)

九州(宮崎県延岡市1971年1月10日)

上記の1例のみである。

353 サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus* (Raffles)

サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus divaricatus* (Raffles)

南千島, 本州(B), 佐渡(B), 四国(B), 九州, 対馬, 伊豆諸島(新島, 八丈, 鳥島), 南部琉球(石垣, 与那国)

夏鳥としてふつうに渡来し, 平地から低山の林に見られる。

リュウキュウサンショウクイ *Pericrocotus divaricatus tegimae* Stejneger

九州南部(熊本, 宮崎, 鹿児島), 屋久島, 種子島, 北部琉球(奄美B,W, 徳之島B,W), 中部琉球(沖縄B), 南部琉球(石垣B,W, 西表B,W)

琉球で繁殖し, ときに南九州に渡来する。

ヒヨドリ科 PYCNONOTIDAE

354 シロガシラ *Pycnonotus sinensis* (Gmelin)

シロガシラ *Pycnonotus sinensis orii* Kuroda

南部琉球(石垣B,W, 西表B,W, 小浜B,W, 黒島B,W, 波照間B,W, 与那国B,W)

八重山諸島にだけ留鳥として生息し, 数は多い。

355 ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis* (Temminck)

エゾヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis hensoni* Stejneger

北海道(B), 南千島, 本州北部(W), 佐渡(W), 九州(W), 対馬, 屋久島, 種子島, 中部琉球(沖縄, 座間味, 久米)

北海道で繁殖し, 冬は本州以南に渡る。ふつうに見られるが, 多くない。

ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis amaurotis* (Temminck)

本州(B,W), 粟島, 佐渡(B,W), 隠岐(B,W), 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬(B,W), 奄岐(B,W), 五島列島(B,W), 屋久島(B,W), 種子島(B,W), 伊豆諸島(B,W), 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄W), 南部琉球(石垣, 鳩間)

本州から九州にふつうに生息し, 数が多い。秋には大群で移動する。

アマミヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis ogawae* Hartert

北部琉球(奄美B,W, 徳之島B,W)

ごくふつうに生息する。

リュウキュウヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis pryeri* Stejneger

中部琉球(沖縄B,W, 伊平屋B,W, 座間味B,W, 久米B,W), 南部琉球(宮古

B, W)

ごくふつうに生息する。

イシガキヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis stejnegeri* Hartert

南部琉球(石垣 B, W, 西表 B, W, 竹富 B, W, 黒島 B, W)

ごくふつうに生息する。

台湾ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis nagamichii* Deignan

南部琉球(与那国 B, W)

ごくふつうに生息する。

ダイトウヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis borodininis* (Kuroda)

大東群島(北大東島 B, W, 南大東島 B, W)

ごくふつうに生息する。

オガサワラヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis squamiceps* (Kittlitz)

小笠原群島(智島 B, W, 父島 B, W, 母島 B, W)

ふつうに生息する。

ハシブトヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis magnirostris* Hartert

硫黄列島(北硫黄島 B, W, 硫黄島 B, W)

現在の生息状態は不明である。

モズ科 LANIIDAE

356 チゴモズ *Lanius tigrinus* Drapiez

北海道, 焼尻島, 本州北部(B), 本州南部, 佐渡, 四国(徳島), 九州(佐賀), 対馬, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(八丈), 南部琉球(石垣1971年3月♂1羽)
本州中部以北に夏鳥として渡来し, 局地的に繁殖する。北海道からは焼尻島1例のみ。

357 モズ *Lanius bucephalus* Temminck & Schlegel

モズ *Lanius bucephalus bucephalus* Temminck & Schlegel

北海道(B, W), 南千島(クナシリ), 本州(B, W), 佐渡(B, W), 隠岐(B, W), 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬(W), 奄岐(B, W), 五島列島(B, W), 屋久島(W), 種子島(W), 伊豆諸島(B, W), 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄W), 南部琉球(石垣, 西表, 与那国), 大東群島(北大東島, 南大東島)
九州以北では, 留鳥としてふつうに繁殖している。北海道では, 冬期少数が残

留する。

358 アカモズ *Lanius cristatus* Linnaeus

アカモズ *Lanius cristatus superciliosus* Latham

北海道(B), 利尻島, 南千島, 本州北部(B), 本州南部(兵庫B), 佐渡(B), 四国, 九州, 対馬(B?)

夏鳥として主に本州中部以北に渡来するが, 兵庫県で繁殖が確認されている。

シマアカモズ *Lanius cristatus lucionensis* Linnaeus

九州(鹿児島B, 熊本B), 中部琉球(沖縄, 渡嘉敷), 南部琉球(石垣, 西表, 黒島, 与那国), 大東群島

琉球では定期的に記録され, 最近, 南九州で繁殖することが知られた。

359 オオモズ *Lanius excubitor* Linnaeus

オオモズ *Lanius excubitor bianchii* Hartert

北海道(W), 南千島(クナシリ), 本州(岩手, 新潟, 石川, 長野, 京都, 兵庫, 山口県角島)

北海道には冬鳥として渡来する。本州ではまれである。

シベリアオオモズ *Lanius excubitor mollis* Eversmann

本州北部(栃木県上都賀郡日光), 九州

迷鳥である。

360 オオカラモズ *Lanius sphenocercus* Cabanis

オオカラモズ *Lanius sphenocercus sphenocercus* Cabanis

本州南部(兵庫県神戸1889年11月, 兵庫県神崎郡1935年, 鳥取県気高郡鹿野1926年1月), 四国(高知県幡多郡宿毛1920年1月), 九州(宮崎), 対馬
冬期まれに渡来する。

レンジャク科 BOMBYCILLIDAE

361 キレンジャク *Bombycilla garrulus* (Linnaeus)

キレンジャク *Bombycilla garrulus centralasiae* Poliakov

北海道(W), 南千島(W), 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬, 伊豆諸島(大島, 三宅), 小笠原群島, 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄)

冬鳥として渡来するが, 渡来数は年によって変動が著しい。

362 ヒレンジャク *Bombycilla japonica* (Siebold)

北海道(W), 本州(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 伊豆諸島(三宅, 八丈), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄)
冬鳥として渡来するが, 年によって渡来数に差がある。

カワガラス科 CINCLIDAE

363 カワガラス *Cinclus pallasii* Temminck

カワガラス *Cinclus pallasii pallasii* Temminck

北海道(B,W), 南千島(B,W), 本州(B,W), 佐渡, 四国(B,W), 九州(B,W), 屋久島(B,W)

留鳥として溪流に生息し, あまり移動はしない。

ミソサザイ科 TROGLODYTIDAE

364 ミソサザイ *Troglodytes troglodytes* (Linnaeus)

ミソサザイ *Troglodytes troglodytes fumigatus* Temminck

北海道(B,W), 利尻島(B,W), 南千島(B,W), 本州(B,W), 粟島, 佐渡, 隠岐, 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬(B,W), 奄岐, 伊豆諸島(大島, 新島)
留鳥として生息する。

モスケミソサザイ *Troglodytes troglodytes mosukei* Momiyama

伊豆諸島(神津, 三宅 B,W, 御蔵 B,W, 八丈 B,W, 青ヶ島)

留鳥として生息するが多くない。

オガワミソサザイ *Troglodytes troglodytes ogawae* Hartert

屋久島(B,W), 種子島(B,W)

留鳥として生息するが多くない。

ダイトウミソサザイ *Troglodytes troglodytes orii* Yamashina

大東群島(南大東島)

現在の生息状況は不明であるが, おそらく絶滅したものと見られている。

イワヒバリ科 PRUNELLIDAE

365 イワヒバリ *Prunella collaris* (Scopoli)

イワヒバリ *Prunella collaris erythropygia* (Swinhoe)

本州北部(B,W), 九州(佐賀)

本州の高山に繁殖し, 冬期はやや低い所へ漂行する。

366 ヤマヒバリ *Prunella montanella* (Pallas)

北海道, 本州(秋田, 岩手, 長野, 鳥取)

迷鳥または, まれな冬鳥として渡来する。

367 カヤクグリ *Prunella rubida* (Temminck & Schlegel)

カヤクグリ *Prunella rubida rubida* (Temminck & Schlegel)

本州(B,W), 四国, 九州, 伊豆諸島(大島)

主に本州中部以北の高山で繁殖し, 冬は山麓や暖地に移動する。兵庫県氷ノ山にも繁殖している。

エゾカヤクグリ *Prunella rubida fervida* (Sharpe)

北海道(B,W), 南千島(B)

北海道の高い山で繁殖し, 冬は山麓へ移動する。新潟, 鳥取の記録もある。

ヒタキ科 MUSCICAPIDAE

ツグミ亜科 TURDINAE

368 コマドリ *Erithacus akahige* (Temminck)

コマドリ *Erithacus akahige akahige* (Temminck)

北海道(B), 礼文島(B), 利尻島(B), 南千島(B), 本州(B,W), 四国(B), 九州(B), 伊豆諸島(大島, 利島)

夏鳥として渡来するが, 北海道, 本州で冬期の記録がある。

タネコマドリ *Erithacus akahige tanensis* Kuroda

屋久島(B), 種子島, 伊豆諸島(神津~八丈B, 青ヶ島)

伊豆諸島には夏鳥として多数渡来する。屋久島での生息状況は明らかでない。

369 アカヒゲ *Erithacus komadori* (Temminck)

アカヒゲ *Erithacus komadori komadori* (Temminck)

男女群島, 屋久島(B,W), 種子島(B,W), 北部琉球(トカラ, 奄美B,W, 徳之島B,W)

留鳥として主に奄美群島以南, 琉球の島々に繁殖するが, 1970年春, 男女群島女島に数十羽が生息していることが発見された。

ホントウアカヒゲ *Erithacus komadori namiyei* (Stejneger)

中部琉球(沖縄B, W, 慶良間列島B, W)

沖縄の北部に分布する。慶良間列島では少なくない。

ウスアカヒゲ *Erithacus komadori subrufus* (Kuroda)

南部琉球(石垣B, W, 西表B, W, 与那国B, W)

非常に少なく、西表島以外ではきわめてまれ。

370 シマゴマ *Erithacus sibilans* (Swinhoe)

焼尻島, 南千島, 本州(山形1920年5月, 新潟1964年5月, 鳥取, 山口1966年5月, 1967年5月), 佐渡(1969年5月), 四国, 九州(佐賀1962年5月, 大分)

旅鳥として主に日本海側を通過するが, 少ない。観察も合わせて, 従来はすべて5月の記録である。

371 ノゴマ *Erithacus calliope* (Pallas)

北海道(B), 礼文島(B), 利尻島(B), 天売島(B), 南千島(B), 本州, 粟島, 佐渡, 四国, 九州, 対馬, 男女群島, 屋久島, 種子島, 硫黄列島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 西表, 与那国), 大東群島
北海道の草原で繁殖し, 本州以南では春秋に旅鳥として通過する。

372 オガワコマドリ *Erithacus svecicus* (Linnaeus)

オガワコマドリ *Erithacus svecicus svecicus* (Linnaeus)

本州(埼玉1956年2月—鳥67号, 1974年1月, 静岡1906年12月—動雑18巻, 京都1971年, 兵庫1960年, 1972年), 佐渡(1969年12月)
まれに渡来する。

373 コルリ *Erithacus cyane* (Pallas)

北海道(B), 南千島, 本州(B), 四国, 九州(長崎, 鹿児島), 伊豆諸島(青ヶ島)
主に本州中部以北の山地に夏鳥として渡来し, 繁殖する。兵庫県氷ノ山でも少数繁殖する。

374 ルリビタキ *Tarsiger cyanurus* (Pallas)

ルリビタキ *Tarsiger cyanurus cyanurus* (Pallas)

北海道(B, W), 利尻島, 南千島(B), 本州(B, W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(B, W), 九州(W), 対馬(W), 五島列島(W), 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(大島, 新島, 三宅, 神津, 八丈), 小笠原群島, 硫黄列島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄, 久米), 南部琉球(石垣, 西表, 与那国)

北海道および本州中部以北の山地の針葉樹林で繁殖し、冬は山麓や暖地へ移動する。本州南部では大台ヶ原、氷ノ山で繁殖する。冬鳥として大陸から渡来するものも多い。

375 ジョウビタキ *Phoenicurus aureus* (Pallas)

ジョウビタキ *Phoenicurus aureus aureus* (Pallas)

北海道(W), 南千島, 本州(W), 粟島(W), 佐渡(W), 隠岐(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 壱岐(W), 五島列島(W), 屋久島(W), 種子島(W), 伊豆諸島(大島W, 新島W, 三宅W, 八丈W, 鳥島W), 小笠原群島(聳島, 父島, 母島), 硫黄列島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄, 座間味, 久米), 南部琉球(石垣, 西表, 与那国)

冬鳥として、各地にふつうに渡来する。

376 ノビタキ *Saxicola torquata* (Linnaeus)

ノビタキ *Saxicola torquata stejnegeri* (Parrot)

北海道(B), 利尻島(B), 南千島(B), 本州北部(B), 本州南部, 佐渡, 四国, 九州, 対馬, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(大島, 八丈, 鳥島), 中部琉球(伊江), 南部琉球(石垣, 西表, 与那国)

本州中部以北の草原に夏鳥として多数渡来、繁殖する。本州中部以西では、旅鳥として通過する。冬期の記録もある。

377 イナバヒタキ *Oenanthe isabellina* (Temminck)

南千島, 本州(鳥取市1905年~1910年春)

迷鳥として1回記録された。南千島の記録もある(Nechaev, 1969年)。

378 ハシグロヒタキ *Oenanthe oenanthe* (Linnaeus)

ハシグロヒタキ *Oenanthe oenanthe oenanthe* (Linnaeus)

本州(東京1969年11月一野鳥35巻1号, 京都1972年10月24日), 硫黄列島(北硫黄島石野村1936年4月15日♂1羽)

迷鳥としてまれに渡来する。

379 サバクヒタキ *Oenanthe deserti* (Temminck)

サバクヒタキ *Oenanthe deserti oreophila* (Oberholser)

本州(東京都板橋区1968年1月~2月一野鳥33巻4号)

迷鳥としてまれに渡来する。中部千島新知島で、1929年11月28日に1羽採集されている。

380 イソヒヨドリ *Monticola solitarius* (Linnaeus)

イソヒヨドリ *Monticola solitarius philippensis* (Müller)

北海道(B), 南千島, 本州(B,W), 佐渡(B,W), 隠岐(B,W), 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬(B,W), 奄岐(B,W), 五島列島(B,W), 男女群島(B,W), 屋久島(B,W), 種子島(B,W), 伊豆諸島(B,W), 小笠原群島(B,W), 硫黄列島(B,W), 北部琉球(奄美B,W, 徳之島B,W), 中部琉球(B,W), 南部琉球(B,W), 大東群島(B,W)

留鳥として, 海岸や島の岩石地に生息する。

381 ヒメイソヒヨ *Monticola gularis* (Swinhoe)

本州(秋田市, 1969年5月)

迷鳥としてまれに渡来する。

382 マミジロ *Turdus sibiricus* Pallas

マミジロ *Turdus sibiricus davisoni* (Hume)

北海道(B), 南千島, 本州北部(B), 本州南部, 佐渡, 四国, 九州, 対馬
夏鳥として本州中部以北の山地に渡来し, 繁殖する。北海道では多くない。

383 トラツグミ *Turdus dauma* Latham

トラツグミ *Turdus dauma aureus* Holandre

北海道(B), 南千島, 本州(B,W), 佐渡, 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬, 屋久島(B,W), 種子島, 伊豆諸島(大島B, 新島B, 三宅B, 御蔵B, 八丈B, 鳥島), 小笠原群島(父島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 西表)

本州以北ではふつうに繁殖する。1973年に熊本でも繁殖が確認された。なお小笠原群島(父島および母島)で繁殖するものがあるが, 亜種は未定である。

オオトラツグミ *Turdus dauma amami* Hartert

北部琉球(奄美B,W)

奄美大島に留鳥として生息するが, 数は少ない。

コトラツグミ *Turdus dauma horsfieldi* (Bonaparte)

南部琉球(西表B,W? 1921年, 1936年, 1972年3月)

西表島に生息する。

384 オガサワラガビチョウ *Turdus terrestris* Kittlitz

小笠原群島(父島? 1828年5月, 4羽採集)

現在は絶滅した。

385 カラアカハラ *Turdus hortulorum* Sclater

本州(石川1890年, 新潟県柏崎1966年5月1日♂2羽, 長野, 鳥取, 山口県角島1965年4月30日♂1羽, 5月1日♂1羽, 10月1日♀1羽, 1966年5月3日♂1羽)

迷鳥としてまれに渡来する。

386 クロツグミ *Turdus cardis* Temminck

北海道(B), 本州(B, W), 粟島, 佐渡(B), 四国(B), 九州(B), 対馬, 男女群島, 屋久島, 伊豆諸島(八丈, 鳥島), 南部琉球(石垣)

夏鳥として渡来するが, 本州西南部以南では越冬する個体がある。

387 アカハラ *Turdus chrysolaus* Temminck

北海道(B), 利尻島(B?), 南千島(B), 本州北部(B, W), 本州南部(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 対馬, 男女群島, 屋久島(W), 種子島(W), 伊豆諸島(大島, 八丈, 鳥島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄, 伊江), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 竹富, 与那国)

本州中部以北の山地の林で繁殖し, 冬は暖地へ移動する。

388 アカコッコ *Turdus celaenops* Stejneger

本州, 屋久島, 伊豆諸島(大島W, 利島B, W, 新島B, W, 式根B, W, 神津B, W, 三宅B, W, 御蔵B, W, 八丈B, W, 青ヶ島B, W)

主に伊豆諸島南部に繁殖する種で, 本州の太平洋岸の地域にも出現することがある。屋久島における状況は不明である。

389 シロハラ *Turdus pallidus* Gmelin

北海道, 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 隠岐(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(B?, W), 五島列島, 男女群島, 屋久島(W), 種子島(W), 伊豆諸島(大島W, 新島W, 三宅W, 御蔵W, 八丈W, 鳥島), 硫黄列島, 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国)

冬鳥として渡来するが, 対馬では繁殖の可能性がある。

390 マミチャジナイ *Turdus obscurus* Gmelin

北海道, 南千島, 本州, 佐渡, 四国(W), 九州(W), 対馬, 種子島, 伊豆諸島(八丈), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 与那国)

主に旅鳥として渡来する。富士山麓および大雪山における本種の繁殖の記録に

ついては、さらにくわしい検討を要する。

391 ノドグロツグミ *Turdus ruficollis* Pallas

ノドグロツグミ *Turdus ruficollis atrogularis* Jarocki

南部琉球(石垣1920年3月25日)

迷鳥としてまれに渡来する。

392 ツグミ *Turdus naumanni* Temminck

ツグミ *Turdus naumanni eunomus* Temminck

北海道(W), 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 隠岐(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 宍岐(W), 五島列島, 男女群島, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(大島W, 新島W, 三宅W, 八丈W, 鳥島), 小笠原群島, 硫黄列島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国)

冬鳥として全国に多数渡来する。

ハチジョウツグミ *Turdus naumanni naumanni* Temminck

北海道(W), 本州(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 伊豆諸島(八丈), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 与那国)

冬鳥として全国的に渡来するが, 前亜種よりずっと少ない。

393 ノハラツグミ *Turdus pilaris* Linnaeus

本州(長野県西筑摩郡1960年1月25日)

迷鳥としてまれに渡来する。

394 ワキアカツグミ *Turdus iliacus* Linnaeus

ワキアカツグミ *Turdus iliacus iliacus* Linnaeus

本州(千葉県保田1933年秋)

ごくまれな迷鳥として渡来する。

ダルマエナガ亜科 PARADOXORNITHINAE

395 ヒゲガラ *Panurus biarmicus* (Linnaeus)

ヒゲガラ *Panurus biarmicus russicus* (Brehm)

本州(山形1920年10月22日—鳥3巻11号, 新潟1969年11月15日)

迷鳥として2回記録がある。

ウグイス亜科 SYLVIINAE

396 ヤブサメ *Cettia squameiceps* (Swinhoe)

北海道(B), 南千島, 本州(B), 粟島, 佐渡, 隠岐, 四国(B), 九州(B), 対馬, 男女群島, 屋久島(B), 種子島, 小笠原群島(父島, 母島), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄, 座間味), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表)

主に九州以北に夏鳥として渡来し, 低山帯の森林中の沢沿いのやぶなどに生息する。

397 ウグイス *Cettia diphone* (Kittlitz)

カラフトウグイス *Cettia diphone sakhalinensis* (Yamashina)

北海道, 利尻島(B), 南千島(エトロフB, クナシリB, シコタンB), 本州, 九州

南樺太と南千島で繁殖し, 北海道以南の日本で越冬する。

ウグイス *Cettia diphone cantans* (Temminck & Schlegel)

北海道(B), 礼文島, 本州(B, W), 粟島, 佐渡(B, W), 隠岐, 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬(B, W), 壱岐(B, W), 五島列島, 男女群島, 屋久島(B, W), 種子島(B, W), 伊豆諸島(大島B, W, 利島B, W, 新島B, W, 神津B, W, 三宅B, W, 御蔵B, W, 八丈B, W, 青ヶ島)

北海道から九州に生息し, 低山帯から亜高山帯までの, 森林近くのやぶで繁殖する。

ハシナガウグイス *Cettia diphone diphone* (Kittlitz)

伊豆諸島(鳥島B), 小笠原群島(鰐島, 父島B, 母島B, 平島), 硫黄列島(北硫黄島, 硫黄島)

鳥島, 小笠原群島および硫黄列島に留鳥として生息する。

リュウキュウウグイス *Cettia diphone riukiensis* (Kuroda)

北部琉球(トカラ, 奄美B, 与論), 中部琉球(沖縄B, 久米), 南部琉球(宮古B, 石垣B, 西表B, 竹富B, 小浜, 黒島, 波照間, 与那国B), 大東群島(南大東島)

琉球列島に留鳥として生息する。中部琉球ではふつう。

ダイトウハシナガウグイス *Cettia diphone restrictus* (Kuroda)

大東群島(南大東島B)

1920年代には見られたが, 現在では絶滅した。

398 オオセッカ *Megalurus pryeri* Seebohm

オオセッカ *Megalurus pryeri pryeri* Seebohm

本州北部(B, W)

東北地方北部(宮城1935年~37年, 青森1972年, 秋田1973年)の湿原で繁殖し, 関東東海地方(埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 静岡, 愛知から記録がある)のよし原, 草原などで越冬する。山形, 新潟からも記録がある。

399 エゾセンニュウ *Locustella fasciolata* (Gray)

北海道(B), 礼文島, 利尻島(B), 南千島(エトロフ, クナシリ), 本州, 佐渡, 四国(高知), 対馬, 屋久島, 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣)

北海道には夏鳥として平地のやぶに生息し, 数は少なくない。春秋には本州を通過するものもある。

400 シマセンニュウ *Locustella ochotensis* (Middendorff)

シマセンニュウ *Locustella ochotensis ochotensis* (Middendorff)

北海道(B), 礼文島(B), 利尻島(B), 南千島(エトロフB, クナシリB, シコタン), 大黒島(B), 本州, 佐渡, 南部琉球(与那国)

北海道以北で繁殖する。北海道では東部, 北部で繁殖し, 草原や背の低いやぶに生息する。本州は主に秋期, 渡りの際に通過する。

ウチヤマシマセンニュウ *Locustella ochotensis pleskei* Taczanowski

本州(千葉, 三重B, 広島), 九州(福岡県机島B), 伊豆諸島(利島, 新島, 三宅B, 御蔵, 八丈B)

伊豆諸島, 熊野灘および九州の離島に夏鳥として渡来, 草原, ささやぶなどで繁殖する。

401 マキノセンニュウ *Locustella lanceolata* (Temminck)

北海道(B), 南千島(エトロフB, クナシリB, シコタンB), 大黒島(B), 本州(B), 佐渡

北海道以北の草原で繁殖する。本州では主に旅鳥であるが, 富士山で1931年に2巣が認められている。また群馬県では夏期の目撃記録がいくつか知られている。渡りのとき, 南部琉球でも観察されている。

402 コヨシキリ *Acrocephalus bistrigiceps* Swinhoe

北海道(B), 礼文島, 利尻島, 南千島, 本州(B), 佐渡, 隠岐, 九州(熊本県阿蘇B

1972年), 対馬

本州中部以北の水辺の草原, 高原の草原で, 夏鳥として繁殖する。最近, 九州での繁殖も記録された。

403 オオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus* (Linnaeus)

オオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus orientalis* (Temminck & Schlegel)

北海道(B), 天売島(B), 本州(B), 佐渡, 四国(B), 九州(B), 対馬, 男女群島, 伊豆諸島(大島, 三宅, 八丈), 小笠原群島(父島), 北部琉球(奄美, 沖永良部), 南部琉球(宮古, 石垣, 与那国), 大東群島(南大東島)

九州以北のよし原に, ふつうに繁殖する夏鳥である。

404 ハシブトオオヨシキリ *Acrocephalus aedon* (Pallas)

本州(長野1927年5月)

迷鳥として1回記録がある。

405 キマユムシクイ *Phylloscopus inornatus* (Blyth)

キマユムシクイ *Phylloscopus inornatus inornatus* (Blyth)

本州(山口県角島1966年4月27日), 中部琉球(沖縄, 久米), 南部琉球(石垣, 与那国)

沖縄諸島には定期的に渡来する。小笠原群島でも観察記録がある。

406 カラフトムシクイ *Phylloscopus proregulus* (Pallas)

カラフトムシクイ *Phylloscopus proregulus proregulus* (Pallas)

本州(山口県角島1967年4月21日)

迷鳥として1例の記録がある。

407 メボソムシクイ *Phylloscopus borealis* (Blasius)

コメボソムシクイ *Phylloscopus borealis borealis* (Blasius)

北海道, 本州, 隠岐, 九州, 対馬, 種子島, 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 与那国), 大東群島(南大東島)

旅鳥として通過する。

メボソムシクイ *Phylloscopus borealis xanthodryas* (Swinhoe)

北海道(B), 利尻島, 南千島(エトロフB, シコタンB), 本州(B), 粟島, 佐渡, 四国(B), 九州, 対馬, 伊豆諸島(八丈), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣, 西表), 大東群島(南大東島)

夏鳥として渡来し, 北海道, 本州, 四国の高い山の針葉樹林帯で繁殖する。

408 エゾムシクイ *Phylloscopus tenellipes* Swinhoe

北海道(B), 礼文島(B), 利尻島(B), 南千島, 本州(B), 四国, 九州, 南部琉球(与那国)

夏鳥として渡来し, 北海道および本州の山地の森林で繁殖する。四国でも夏期の記録(剣山1943年6月)がある。

409 センダイムシクイ *Phylloscopus occipitalis* (Blyth)

センダイムシクイ *Phylloscopus occipitalis coronatus* (Temminck & Schlegel)

北海道(B), 南千島, 本州(B), 粟島, 佐渡(B), 四国(B), 九州(B), 対馬(B), 屋久島, 南部琉球(宮古)

主に四国以北の低山帯の森林に夏鳥として渡来し, 繁殖する。九州(熊本1969年)でも繁殖記録がある。

410 イジマムシクイ *Phylloscopus ijimae* (Stejneger)

屋久島, 伊豆諸島(大島B, 利島B, 新島B, 神津B, 三宅B, 御蔵B, 八丈B, 青ヶ島B), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 与那国)

伊豆諸島には夏鳥として渡来し, 林ややぶで繁殖する。

411 キクイタダキ *Regulus regulus* (Linnaeus)

キクイタダキ *Regulus regulus japonensis* Blakiston

北海道(B), 南千島(エトロフB, クナシリB), 本州(B, W), 佐渡, 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(大島, 神津, 八丈), 南部琉球(石垣)

本州以北の亜高山針葉樹林帯で繁殖し, 冬期は全国に冬鳥として多数渡来する。

412 セッカ *Cisticola juncidis* (Rafinesque)

セッカ *Cisticola juncidis brunniceps* (Temminck & Schlegel)

本州(B, W), 隠岐, 四国, 九州(B, W), 奄岐, 五島列島, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(大島B, W, 三宅, 八丈B, W), 琉球全域(大東群島を除く)

本州以南の草原で, ふつうに繁殖する。北日本のものは冬期温暖な地方へ移動する。

ヒタキ亜科 MUSCICAPINAE

413 マミジロキビタキ *Ficedula zanthopygia* (Hay)

本州(富山, 長野, 島根, 山口), 九州(佐賀)

迷鳥として少数の記録がある。

414 キビタキ *Ficedula narcissina* (Temminck)

キビタキ *Ficedula narcissina narcissina* (Temminck)

北海道(B), 天売島, 南千島(クナシリ), 本州(B), 佐渡, 四国(B), 九州(B?), 対馬, 男女群島, 伊豆諸島(大島, 三宅, 御蔵, 八丈), 小笠原群島(父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美), 南部琉球(石垣), 大東群島(南大東島)

主に四国以北に夏鳥として渡来し, 低山帯から亜高山帯より下の森林で繁殖する。九州でも繁殖の可能性がある。

リュウキュウキビタキ *Ficedula narcissina owstoni* (Bangs)

屋久島(B), 種子島(B), 北部琉球(奄美B), 中部琉球(沖縄B), 南部琉球(石垣B, 西表B)

種子島以南の島に留鳥として生息する。室戸岬(1935年)でも記録がある。

415 ムギマキ *Ficedula mugimaki* (Temminck)

北海道, 本州, 佐渡, 四国, 九州, 種子島, 伊豆諸島(式根, 八丈), 中部琉球(沖縄)

旅鳥として春秋に通過する。樺太では繁殖するものもある。

416 オジロビタキ *Ficedula parva* (Bechstein)

オジロビタキ *Ficedula parva albicilla* (Pallas)

本州(石川1973年2月-野鳥38巻5号, 山口県角島1966年9月)

迷鳥としてまれに渡来する。

417 オオルリ *Cyanoptila cyanomelana* (Temminck)

オオルリ *Cyanoptila cyanomelana cyanomelana* (Temminck)

北海道(B), 南千島, 本州(B), 佐渡, 隠岐, 四国(B), 九州(B), 対馬(B), 屋久島, 伊豆諸島(大島B, 神津, 三宅B?, 八丈), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島), 南部琉球(与那国)

夏鳥として, 九州以北の低山帯の林で繁殖する。

418 サメビタキ *Muscicapa sibirica* Gmelin

サメビタキ *Muscicapa sibirica sibirica* Gmelin

北海道(B), 南千島, 本州北部(B), 本州南部, 隠岐, 四国, 九州, 対馬, 男女群島, 屋久島, 伊豆諸島(八丈), 南部琉球(与那国), 大東群島(南大東島)

夏鳥として渡来し、北海道、本州中部以北の亜高山の針葉樹林で繁殖する。他の地方では、旅鳥として主に秋期に出現する。

419 エゾビタキ *Muscicapa griseisticta* (Swinhoe)

北海道、南千島(エトロフ B)、本州、佐渡、四国、九州、対馬、種子島、中部琉球(沖縄)、南部琉球(黒島、与那国)、大東群島(南大東島)

主に旅鳥として通過する。北海道、本州、九州で、夏期の古い記録があるが、サメビタキの幼鳥を誤認したのではないかと考えられる。繁殖の確認はない。

420 コサメビタキ *Muscicapa latirostris* Raffles

北海道(B)、南千島(クナシリ B)、本州(B)、佐渡、四国(B)、九州(B)、対馬(B)、壱岐、男女群島、伊豆諸島(神津、三宅、八丈)、南部琉球(石垣、与那国)

北海道から九州までの低山帯の林に、夏鳥として渡来する。男女群島、御蔵島でも観察されている。

カササギヒタキ亜科 MONARCHINAE

421 サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata* (Eyton)

サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata atrocaudata* (Eyton)

北海道、本州(B)、佐渡、隠岐、四国(B)、九州(B)、対馬(B)、男女群島、屋久島(B)、伊豆諸島(八丈)

北海道は一度の観察記録(1887年函館)があるのみ。本州以南には夏鳥として渡来し、低山帯の森林中で繁殖する。屋久島で、ひなが採集されている。

リュウキュウサンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata illex* Bangs

南九州(鹿児島?)、北部琉球(奄美 B、徳之島 B、喜界)、中部琉球(沖縄、伊平屋、伊是名、伊江、座間味、久米)、南部琉球(宮古 B、石垣 B、西表 B、黒島、与那国 B)

琉球列島に留鳥として生息する。

エナガ科 AEGITHALIDAE

422 エナガ *Aegithalos caudatus* (Linnaeus)

シマエナガ *Aegithalos caudatus japonicus* Prazák

北海道(B, W)、礼文島、利尻島、南千島(B, W)、本州北部(青森、栃木、千

葉, 新潟, 長野)

少なくない。

チョウセンエナガ *Aegithalos caudatus magnus* (Clark)

対馬(B,W)

少なくない。留鳥。

エナガ *Aegithalos caudatus trivirgatus* (Temminck & Schlegel)

本州(B,W), 粟島, 佐渡(B,W), 隠岐

各地に留鳥として多い。

キュウシュウエナガ *Aegithalos caudatus kiusiuensis* Kuroda

四国(B,W), 九州(B,W)

九州では少なくないが, 四国ではあまり多くない。留鳥。

ツリスガラ科 REMIZIDAE

423 ツリスガラ *Remiz pendulinus* (Linnaeus)

ツリスガラ *Remiz pendulinus consobrinus* (Swinhoe)

本州(東京都南砂町1888年1月3日, 千葉), 九州(長崎市1877年2月12日, 2月25日)

迷鳥として, まれに渡来する。

シジュウカラ科 PARIDAE

424 ハシブトガラ *Parus palustris* Linnaeus

ハシブトガラ *Parus palustris hensoni* Stejneger

北海道(B,W), 利尻島(B,W), 南千島(B,W)

北海道各地に留鳥として少なくないが, コガラより低木の叢林を好む。

425 コガラ *Parus montanus* von Baldenstein

カラフトコガラ *Parus montanus sachalinensis* Lönnerberg

北海道, 本州北部(新潟)

樺太産の亜種であり, 迷鳥である。

コガラ *Parus montanus restrictus* Hellmayr

北海道(B,W), 本州(B,W), 佐渡, 飛島, 粟島, 四国(B,W), 九州(B,W)

北海道では平地および山地の森林に, 本州では亜高山帯とその下の森林に, ふ

つうである。九州では1973年に繁殖が確認された。ヒガラより留鳥性が強く、冬でも平野までおりることはほとんどない。

426 ヒガラ *Parus ater* Linnaeus

ヒガラ *Parus ater insularis* Hellmayr

北海道(B,W),利尻島(B,W),南千島(B,W),本州(B,W),四国(B,W),九州(B,W),対馬(B,W),屋久島(B,W),伊豆諸島(大島),琉球

北海道では平地および山地の針葉樹林,本州では山地の針葉樹林に留鳥として多い。

427 ヤマガラ *Parus varius* Temminck & Schlegel

ヤマガラ *Parus varius varius* Temminck & Schlegel

北海道(B,W),南千島(B),本州(B,W),佐渡(B,W),隠岐(B,W),四国(B,W),伊豆諸島(大島W)

北海道では,道南に少数繁殖するだけである。本州ではふつうであるが,主として暖帯照葉林に生息するため,多少局地的になる。

タネヤマガラ *Parus varius sunsumpi* Kuroda

種子島(B,W)

留鳥。あまり多くない。

ヤクシマヤマガラ *Parus varius yakushimensis* Kuroda

屋久島(B,W),北部琉球(奄美)

留鳥として数は多い。

アマミヤマガラ *Parus varius amamii* (Kuroda)

北部琉球(奄美B,W,徳之島B,W),中部琉球(沖縄B,W)

奄美大島および沖縄で少なくない。

ダイトウヤマガラ *Parus varius orii* (Kuroda)

大東群島

かつて北大東島,南大東島に生息したが,1930年代に森林の伐採がひどく,減少した。

オリイヤマガラ *Parus varius olivaceus* (Kuroda)

南部琉球(西表B,W)

海岸近くにはあまりいないが,山地では少なくない。

ナミエヤマガラ *Parus varius namiyei* Kuroda

伊豆諸島北部(B, W)

利島, 新島, 神津島に分布する。

オーストンヤマガラ *Parus varius owstoni* Ijima

伊豆諸島南部(B, W)

三宅島, 御蔵島, 八丈島に留鳥として分布。数は多い。

428 シジュウカラ *Parus major* Linnaeus

シジュウカラ *Parus major minor* Temminck & Schlegel

北海道(B, W), 礼文島, 利尻島(B, W), 南千島(B, W?), 本州(B, W), 佐渡(B, W), 隠岐(B, W), 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬(B, W), 杣岐, 五島列島(B, W), 伊豆諸島(大島B, W, 利島B, W, 新島B, W, 三宅B, W, 御蔵, 八丈B, W)

日本各地で最も多い鳥の一つ。留鳥, または漂鳥。

アマミシジュウカラ *Parus major amamiensis* Kleinschmidt

北部琉球(奄美B, W, 徳之島B, W)

数は多い。留鳥。

オキナワシジュウカラ *Parus major okinawae* Hartert

中部琉球(沖縄B, W, 屋我地B, W)

沖縄では, 北部山地には少なくないが, 南部平地にはほとんどいない。留鳥。

イシガキシジュウカラ *Parus major nigriloris* Hellmayr

南部琉球(石垣B, W, 西表B, W)

数は多い。

ゴジュウカラ科 SITTIDAE

429 ゴジュウカラ *Sitta europaea* Linnaeus

シロハラゴジュウカラ *Sitta europaea asiatica* Gould

北海道(B, W), 利尻島(B, W), 南千島

北海道各地の平地から山地の広葉樹林に少なくない。留鳥。

ゴジュウカラ *Sitta europaea amurensis* Swinhoe

本州(B, W)

太平洋岸の一部地域を除いた山地の広葉樹林にすみ, 冬期は低地へ下るが, 森

林の乏しい平野部には出ない。中部山岳の亜高山帯のものは前亜種に似る。漂鳥、または留鳥。

キュウシュウゴジュウカラ *Sitta europaea roseilia* Bonaparte

本州(B,W), 四国(B,W), 九州(B,W)

本州では伊豆半島以西の太平洋側、四国では石鎚山地に少なくないが、九州ではふつうではない。

キバシリ科 CERTHIIDAE

430 キバシリ *Certhia familiaris* Linnaeus

キタキバシリ *Certhia familiaris daurica* Domaniewski

北海道(B,W), 南千島(B,W)

平地から山地までの針葉樹林に、留鳥としてすむ。数は少なくない。

キバシリ *Certhia familiaris japonica* Hartert

本州(B,W), 四国(徳島B,W), 九州

山地の針葉樹林にすみ、あまり多くない。冬はやや低地へ移動するものもある。

メジロ科 ZOSTEROPIDAE

431 メジロ *Zosterops japonica* Temminck & Schlegel

メジロ *Zosterops japonica japonica* Temminck & Schlegel

北海道(B,W), 本州(B,W), 佐渡(B,W), 隠岐(B?), 四国(B,W), 九州(B,W), 対馬(B,W), 壱岐(B,W), 五島列島(B?), 男女群島(B?), 屋久島(W), 種子島(W), 伊豆諸島(W), 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄, 座間味, 久米) 日本各地に多いが、主に暖帯照葉樹林を好むため、太平洋沿岸域に多産し、山岳部、日本海側にはやや少ない。冬期は北部のもの、山地のものは南方あるいは低地へ移動するが、暖地のものは留まる。漂鳥、または留鳥。冬期、伊豆諸島、南西諸島へも渡る。

シマメジロ *Zosterops japonica insularis* Ogawa

屋久島(B,W), 種子島(B,W), 中部琉球(久米)

数は多い。久米島の記録は迷行例と思われる。留鳥。

リュウキュウメジロ *Zosterops japonica loochooensis* Tristram

北部琉球(奄美B,W, 徳之島B,W, 喜界B,W, 沖永良部B,W, 与論B,W),

中部琉球(沖縄B,W,伊平屋,屋我地,伊江,座間味B,W,久米B,W),南部琉球(宮古B,W,石垣B,W,西表B,W,鳩間B,W,竹富B,W,黒島B,W,与那国B,W)

留鳥としてきわめて多い。

ダイトウメジロ *Zosterops japonica daitoensis* Kuroda

大東群島(南大東島B,W)

留鳥として生息する。

シチトウメジロ *Zosterops japonica stejnegeri* Seebohm

伊豆諸島(B,W)

伊豆大島から鳥島まで全島に留鳥として分布し、数はきわめて多い。

イオウトウメジロ *Zosterops japonica alani* Hartert

小笠原群島(B,W),硫黄列島(B,W)

本来は硫黄列島に分布し、小笠原群島のものは硫黄島のものを人為的に導入した結果であるが、このとき、シチトウメジロも移入されており、おそらく両者が交雑して現在の小笠原のメジロが形成されたと思われる。小笠原群島では髯島、父島、父島属島、母島、母島属島と、多少でも林があるすべての島嶼に多産する。

ミツスイ科 MELIPHAGIDAE

432 メグロ *Apalopteron familiare* (Kittlitz)

ムコジマメグロ *Apalopteron familiare familiare* (Kittlitz)

小笠原群島(髯島, 媒島, 父島?)

現状の詳細は不明。1968年と1969年の調査では、発見することができなかった。

その後、東京都立大学の調査隊が髯島で目撃したとのことである。

ハハジマメグロ *Apalopteron familiare hahasima* Yamashina

小笠原群島(母島B,W, 向島, 妹島, 姪島)

1969年7月の調査では母島, 向島で確認され、母島ではその後繁殖も確かめられた。母島沖村跡では高密度に生息している。

ホオジロ科 EMBERIZIDAE

433 キアオジ *Emberiza citrinella* Linnaeus

キアオジ *Emberiza citrinella erythrogenys* Brehm

本州北部(長野県松本市1935年12月 ♂)

上記1例のみの迷鳥である。

434 シラガホオジロ *Emberiza leucocephala* Gmelin

シラガホオジロ *Emberiza leucocephala leucocephala* Gmelin

北海道(札幌1890年), 南千島, 本州(岩手, 宮城, 山形, 栃木, 東京, 長野, 静岡), 伊豆諸島(八丈)

迷鳥として渡来する。

435 ホオジロ *Emberiza cioides* Brandt

ホオジロ *Emberiza cioides ciopsis* Bonaparte

北海道(B, W?), 南千島(クナシリ), 本州(B, W), 佐渡(B, W), 隠岐, 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬(B, W), 奄岐(B, W), 五島列島(B, W), 屋久島(B, W), 種子島(B, W), 伊豆諸島(大島B, W, 利島B, W, 新島B, W, 神津B, W, 三宅B, W, 御蔵B, W, 八丈B, W)

本州以南では留鳥または漂鳥として各地にきわめて多い。

436 コジュリン *Emberiza yessoensis* (Swinhoe)

コジュリン *Emberiza yessoensis yessoensis* (Swinhoe)

北海道, 南千島?, 本州北部(B, W), 本州南部(W), 佐渡, 九州(B, W)

北海道では近年確かな記録がない。本州では, 繁殖地として青森, 秋田, 宮城, 茨城, 千葉, 山梨および静岡県富士山麓, 長野県霧ヶ峰などが知られている。一方, 1971年, 熊本県阿蘇山麓の一ノ宮町付近で新たに本種の繁殖地が発見された。冬期は各地のよし原などで観察される。

437 シロハラホオジロ *Emberiza tristrami* Swinhoe

本州北部(栃木県上都賀郡1936年11月19日 ♀ 1羽), 本州南部(山口県角島1966年4月26日 ♂ 1羽, 同5月4日 ♂ 1羽, 同5月6日 ♂ 1羽, 同10月26日 ♀ 1羽), 南部琉球(西表1921年10月)

上記の記録のみの迷鳥である。礼文島での観察記録(1968年春)がある。

438 ホオアカ *Emberiza fucata* Pallas

ホオアカ *Emberiza fucata fucata* Pallas

北海道(B), 南千島(B), 本州(B, W), 佐渡, 隠岐, 四国(B?, W), 九州(B, W), 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(八丈), 北部琉球(奄美), 中部琉球(伊江), 南

部琉球(石垣)

北海道、東北、中部高原地帯ではふつうの夏鳥で、本州南西部では兵庫県鉢高原、伯耆大山で少数繁殖し、四国でも石鎚山山頂付近で繁殖の可能性がある。1965年には大分県九重高原で繁殖が確認され、1971年には熊本県阿蘇山麓の一ノ宮町付近でも繁殖が確認された。また宮崎県霧島山麓でも夏期の観察記録がある。冬期は北日本や高地のものは移動し、関東以南の草原などに少なくない。

439 コホオアカ *Emberiza pusilla* Pallas

本州(東京、長野県松本1921年8月、静岡県大里村1904年11月、愛知県名古屋市1890年、島根県那賀郡三隅町1959年10月)、粟島(1933年10月~11月)、四国(高知県宿毛1917年1月)、五島列島(1929年1月)、男女群島(1970年4月)、南部琉球(与那国1972年3月)

迷鳥としてまれに渡来する。

440 キマユホオジロ *Emberiza chrysophrys* Pallas

対馬(1972年5月)

迷鳥として、上記1例(数羽)がある。ほかに男女群島でも観察記録がある。

441 カシラダカ *Emberiza rustica* Pallas

カシラダカ *Emberiza rustica latifascia* Portenko

北海道(W?), 礼文島, 利尻島, 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 隠岐(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 男女群島, 伊豆諸島(新島W, 八丈W), 南部琉球(西表)

北海道では主に通過鳥, 本州以南では冬鳥である。冬期, 各地にきわめて多く, しばしば100羽をこす大群を見る。青森県, 佐賀県, 対馬では夏期の観察記録があり, 青森県恐山では1953年8月13日幼鳥17羽が観察されているが, 繁殖の確証はない。

442 ミヤマホオジロ *Emberiza elegans* Temminck

ミヤマホオジロ *Emberiza elegans elegans* Temminck

北海道, 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬(B, W), 五島列島, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(三宅, 八丈), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(西表, 与那国)

冬期, 本州南西部や九州では少なくないが, 関東以北では少ない。対馬では繁殖が確認されている。

443 シマアオジ *Emberiza aureola* Pallas

シマアオジ *Emberiza aureola ornata* Shulpin

北海道(B), 礼文島(B), 利尻島(B), 南千島(B), 本州, 九州(佐賀), 硫黄列島(北硫黄島)

北海道各地の草原にふつうの夏鳥。本州以南は通過のみ。渡りの主経路は大陸沿岸沿いと思われる。

444 シマノジコ *Emberiza rutila* Pallas

北海道(函館1939年5月), 本州(秋田, 長野, 島根1964年2月♂3羽, ♀2羽, 山口県角島1966年5月12日♂2羽, 同5月14日♂1羽), 対馬, 男女群島(1970年5月♂1羽)

上記の記録だけの迷鳥である。ほかに飼鳥の逃げ出したものと思われる記録が数例ある。

445 ズグロチャキンチョウ *Emberiza melanocephala* Scopoli

伊豆諸島(八丈1928年11月6日♂幼鳥1羽, 1930年11月21日♂幼鳥1羽)

上記2例のみの迷鳥である。

446 ノジコ *Emberiza sulphurata* Temminck & Schlegel

北海道(?), 本州(B, W?), 九州(W?), 対馬, 屋久島, 伊豆諸島(御蔵)

数の少ない種類の一つで, 本州では局地的に繁殖し, 青森, 福島, 神奈川, 山梨, 静岡, 長野, 新潟などが知られる。

447 アオジ *Emberiza spodocephala* Pallas

シベリアアオジ *Emberiza spodocephala spodocephala* Pallas

本州(東京, 神奈川1929年2月, 新潟県柏崎市1966年4月29日♂1羽, 山口県角島1966年5月13日♂1羽), 対馬(1891年3月), 南部琉球(石垣1901年4月)大陸からの迷鳥である。

アオジ *Emberiza spodocephala personata* Temminck

北海道(B), 礼文島(B), 利尻島(B), 南千島, 本州(B, W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 五島列島, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(W), 北部琉球(奄美W, 徳之島W, 与論), 中部琉球(沖縄W, 伊平屋, 座間味), 南部琉球(竹富W, 与那国W)

北海道から本州中部山地にかけて繁殖する。本州南西部では, 兵庫県氷ノ山で繁殖するものがある。夏期は北部や山地にすみ, 冬期は南部や低地に移動する。

各地にきわめて多い。

448 クロジ *Emberiza variabilis* Temminck

北海道(B?), 利尻島, 南千島, 本州北部(B,W), 本州南部(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 対馬, 壱岐, 五島列島, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(大島W, 新島W, 神津W, 三宅W, 八丈W), 北部琉球(奄美), 中部琉球(沖縄, 久米), 南部琉球(宮古)

夏期, 北海道では中央山地や知床半島で, 本州では青森, 秋田, 福島, 栃木, 新潟, 長野, 石川で観察されている。山形, 福島, 栃木, 長野では巣卵が確認された。北海道では夏鳥, 本州北部では漂鳥または冬鳥, 本州南部以南では冬鳥である。

449 シベリアジュリン *Emberiza pallasi* (Cabanis)

キタシベリアジュリン *Emberiza pallasi polaris* Middendorff

九州(佐賀県南川副村1925年3月1日♂1羽採集)

上記1例のみの迷鳥である。しかし, 南西部のよし原では, オオジュリンに混じってごく少数ながら渡来している可能性がある。

シベリアジュリン *Emberiza pallasi pallasi* (Cabanis)

九州(佐賀県大託間村1924年1月27日♂1羽採集)

上記1例のみの迷鳥である。

450 オオジュリン *Emberiza schoeniclus* (Linnaeus)

オオジュリン *Emberiza schoeniclus pyrrhulina* (Swinhoe)

北海道(B), 南千島(B), 本州北部(B,W), 本州南部(W), 佐渡, 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(八丈)

北海道各地の草原には夏鳥としてふつうに生息し, 本州以南では主に冬鳥で, 冬期, よし原などに少なくない。1973年秋田県で繁殖が確認された。

451 ツメナガホオジロ *Calcarius lapponicus* (Linnaeus)

ツメナガホオジロ *Calcarius lapponicus coloratus* Ridgway

北海道(W), 南千島(エトロフ), 本州(東京都世田谷1943年4月, 長野県西穂高村1914年, 同県白馬山麓1915年1月, 静岡県1912年11月, 京都, 兵庫), 伊豆諸島(八丈1924年11月)

ごくまれに渡来するにすぎない。

452 ユキホオジロ *Plectrophenax nivalis* (Linnaeus)

ユキホオジロ *Plectrophenax nivalis vlasowae* Portenko

北海道(W), 本州北部(山形, 新潟, 富山, 石川, 島根), 佐渡
冬期, 北海道に渡来し, 年により本州の日本海側に少数渡来する。

オオユキホオジロ *Plectrophenax nivalis townsendi* Ridgway

南千島(エトロフ)

冬期まれにコマンドル群島, アリューシャン列島より飛来する。

453 ゴマフスズメ *Zonotrichia iliaca* (Merrem)

ゴマフスズメ *Zonotrichia iliaca unalaschcensis* (Gmelin)

本州北部(栃木県日光1935年11月♂1羽採集)

上記1例のみで, 北米からの迷鳥である。

454 ミヤマシトド *Zonotrichia leucophrys* (Forster)

ミヤマシトド *Zonotrichia leucophrys gambelii* (Nuttall)

本州北部(東京都羽村町1964年3月9日♂1羽捕獲, 千葉県木更津市1936年12月♂1羽採集)

北米からの迷鳥である。

455 キガシラシトド *Zonotrichia atricapilla* (Gmelin)

本州北部(東京都荒川下流1935年12月10日 1羽採集)

上記1例のみで, 北米からの迷鳥である。

アトリ科 FRINGILLIDAE

456 アトリ *Fringilla montifringilla* Linnaeus

北海道(W), 南千島, 本州(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬,
屋久島, 種子島, 伊豆諸島(大島, 式根, 八丈, 鳥島), 小笠原群島(父島, 母島),
硫黄列島(北硫黄島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(石垣)

冬鳥として, ふつうに渡来する。奄美大島での観察記録がある。

457 カワラヒワ *Carduelis sinica* (Linnaeus)

コカワラヒワ *Carduelis sinica minor* (Temminck & Schlegel)

北海道(B), 本州(B, W), 粟島, 佐渡(B, W), 四国(B, W), 九州(B, W), 対
馬(B, W), 五島列島, 伊豆諸島(大島B, W, 利島B, W, 新島B, W, 三宅B,
W, 御蔵B, W, 八丈B, W, 青ヶ島)

北海道では夏鳥であるが, 本州以南では留鳥として繁殖するものが多い。

オオカワラヒワ *Carduelis sinica kawarahiba* (Temminck)

北海道(W), 南千島(B), 本州(W), 四国(W), 九州(W), 屋久島(W), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 竹富, 小浜, 黒島)

冬鳥として, ふつうに渡来する。

オガサワラカワラヒワ *Carduelis sinica kittlitzii* (Seeböhm)

小笠原群島(聳島 B, W, 媒島 B, W, 父島 B, W, 母島 B, W, 向島 B, W), 硫黄列島(北硫黄島 B, W, 硫黄島 B, W)

留鳥として生息するが少なく, 特に硫黄列島での現在の生息状態は不明である。

458 マヒワ *Carduelis spinus* (Linnaeus)

北海道(B), 南千島, 本州北部(B?, W), 本州南部(W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 屋久島, 伊豆諸島(大島, 八丈, 鳥島), 小笠原群島(聳島, 父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表, 与那国)

北海道の森林で繁殖し, 本州北部および中部山地でも夏期の記録がある。本州以南には, 冬鳥としてふつうに渡来する。

459 ベニヒワ *Acanthis flammea* (Linnaeus)

ベニヒワ *Acanthis flammea flammea* (Linnaeus)

北海道(W), 南千島(エトロフ), 本州(W), 佐渡(W), 九州, 伊豆諸島(八丈), 小笠原群島(母島)

冬鳥として渡来するが, 渡りには年によって多少がある。本州中部以南には少ない。

460 コベニヒワ *Acanthis hornemanni* (Holboell)

コベニヒワ *Acanthis hornemanni exilipes* (Coues)

北海道(W), 本州(青森W, 長野W)

冬期まれに渡来する。

461 ハギマシコ *Leucosticte arctoa* (Pallas)

ハギマシコ *Leucosticte arctoa brunneonucha* (Brandt)

北海道(B?, W), 利尻島, 南千島(W), 本州(W), 佐渡

北海道および本州北部には冬鳥として渡来するものが比較的多いが, 本州中部以南には少ない。夏期大雪山で成鳥および幼鳥と思われるものが観察されている。利尻島でも夏期の記録がある。

462 アカマシコ *Carpodacus erythrinus* (Pallas)

アカマシコ *Carpodacus erythrinus grebnitskii* Stejneger

本州(栃木, 新潟1968年4月1日, 京都1936年11月), 伊豆諸島(八丈1931年10月)

迷鳥として, まれに渡来する。

463 オオマシコ *Carpodacus roseus* (Pallas)

北海道(W), 南千島, 本州(W), 四国(徳島1955年), 九州(W)

冬鳥として渡来するが多くない。特に本州中部以南ではまれである。

464 ギンザンマシコ *Pinicola enucleator* (Linnaeus)

コバシギンザンマシコ *Pinicola enucleator kamtschatkensis* (Dybowski)

本州(新潟1957年2月22日♂1羽—野鳥25巻2/3号)

迷鳥として1例がある。

ギンザンマシコ *Pinicola enucleator sakhalinensis* Buturlin

北海道(B, W), 利尻島(B?), 南千島, 本州(石川1948年11月♂1羽, 1956年11月♀1羽)

北海道では大雪山, 利尻岳等に夏期生息する。本州以南にはごくまれに迷行する。

465 イスカ *Loxia curvirostra* Linnaeus

イスカ *Loxia curvirostra japonica* Ridgway

北海道(B?, W), 南千島, 本州(B, W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(大島W, 三宅W, 八丈W, 青ヶ島, 鳥島), 小笠原群島(父島, 母島), 硫黄列島(硫黄島)

主に冬鳥として渡来するが, 年によって渡来数には著しく多少がある。北海道, 本州中部以北の山地には, 夏も生息するものがある。青森, 岩手, 長野, 山梨, 鳥取の各県からは繁殖の記録がある。

466 ナキイスカ *Loxia leucoptera* Gmelin

ナキイスカ *Loxia leucoptera bifasciata* (Brehm)

北海道(W), 本州(W), 伊豆諸島(八丈)

冬鳥としてイスカの群れに混じって渡来するが, 数はひじょうに少ない。本州では青森, 宮城, 福島, 栃木, 神奈川, 長野, 京都, 大阪, 島根, 鳥取から記録がある。

467 ベニマシコ *Uragus sibiricus* (Pallas)

ベニマシコ *Uragus sibiricus sanguinolentus* (Temminck & Schlegel)

北海道(B), 利尻島(B), 南千島(B), 本州北部(B,W), 本州南部(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W)

北海道には夏鳥として渡来し, 繁殖する。本州以南には主に冬鳥として渡来するが, 青森県下北半島では繁殖している。

468 オガサワラマシコ *Chaunoproctus ferreorostris* (Vigors)

小笠原群島(父島? 絶滅)

1827年および1828年に小笠原(父島?)で約10羽が採集されているが, その後確認されず, 絶滅したと認められている。

469 ウソ *Pyrrhula pyrrhula* (Linnaeus)

ベニバラウソ *Pyrrhula pyrrhula cassinii* Baird

南千島, 本州(長野, 富山, 島根)

迷鳥として, まれに記録される。

アカウソ *Pyrrhula pyrrhula rosacea* Seebohm

北海道(W), 礼文島, 利尻島, 本州(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 伊豆諸島(神津)

冬鳥として渡来するが, 利尻岳に夏期生息繁殖するものは, この亜種と思われる。

ウソ *Pyrrhula pyrrhula griseiventris* Lafresnaye

北海道(B,W), 南千島(B), 本州北部(B,W), 本州南部(W), 佐渡(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 伊豆諸島(大島, 神津, 八丈)

北海道の森林および本州中部以北の亜高山帯の森林で繁殖し, 冬期は山麓および平地に移動する。

470 コイカル *Eophona migratoria* Hartert

コイカル *Eophona migratoria migratoria* Hartert

本州(W), 四国(W), 九州(W), 対馬(W), 伊豆諸島(新島, 八丈), 小笠原群島(父島), 南部琉球(西表, 与那国)

冬鳥として渡来するが, 少ない。西日本, 南部琉球には比較的多い。

471 イカル *Eophona personata* (Temminck & Schlegel)

イカル *Eophona personata personata* (Temminck & Schlegel)

北海道(B), 南千島, 本州(B,W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(B?)

W), 対馬, 伊豆諸島(三宅, 八丈), 小笠原群島(父島), 南部琉球(与那国)
本州以北で繁殖するが, 九州でも夏期生息が認められている。

472 シメ *Coccothraustes coccothraustes* (Linnaeus)

シベリアシメ *Coccothraustes coccothraustes coccothraustes* (Linnaeus)
北海道(石狩, 野幌), 南千島(エトロフ), 本州(青森, 長野, 福井, 鳥取)
まれな冬鳥として渡来する。

シメ *Coccothraustes coccothraustes japonicus* Temminck & Schlegel
北海道(B), 本州(B, W), 佐渡(W), 隠岐, 四国(W), 九州(W), 対馬(W),
屋久島(W), 伊豆諸島(大島W, 三宅W, 八丈W, 鳥島), 小笠原群島(父島, 母
島), 硫黄列島(硫黄島), 中部琉球(沖縄), 南部琉球(宮古W, 石垣, 西表, 竹
富, 黒島, 与那国)
北海道で繁殖し, 本州以南には冬鳥として渡来するが, 福島県と長野県から繁
殖の記録が知られる。

ハタオリドリ科 PLOCEIDAE

473 ニュウナイズメ *Passer rutilans* (Temminck)

ニュウナイズメ *Passer rutilans rutilans* (Temminck)

北海道(B), 南千島(B), 本州北部(B, W), 本州南部(W), 四国(W), 九州
(W), 伊豆諸島(八丈W), 北部琉球(奄美)
本州中部以北の平地および山地で繁殖し, 冬には暖地へ移動する。

474 スズメ *Passer montanus* (Linnaeus)

スズメ *Passer montanus saturatus* Stejneger

北海道(B, W), 礼文島(B, W), 利尻島(B, W), 南千島(エトロフB, W, クナ
シリB, W), 本州(B, W), 佐渡(B, W), 隠岐(B, W), 四国(B, W), 九州(B,
W), 対馬(B, W), 屋久島(B, W), 種子島(B, W), 伊豆諸島(大島B, W, 利
島B, W, 新島B, W, 神津B, W, 三宅B, W, 御蔵B, W, 八丈B, W, 青ヶ島),
北部琉球(B, W), 中部琉球(B, W), 南部琉球(B, W), 大東群島(北大東島B,
W, 南大東島B, W)
留鳥として多数生息する。

ムクドリ科 STURNIDAE

475 シベリアムクドリ *Sturnus sturninus* (Pallas)

小笠原群島

迷鳥として1例の記録がある。

476 コムクドリ *Sturnus philippensis* (Forster)

北海道(B), 利尻島(B), 天売島(B), 南千島(B), 本州北部(B), 本州南部, 佐渡(B), 四国, 九州, 男女群島, 屋久島, 種子島, 伊豆諸島(三宅, 御蔵, 八丈, 鳥島), 小笠原群島, 中部琉球(沖縄, 伊江), 南部琉球(宮古, 石垣, 西表), 大東群島(北大東島, 南大東島)

本州中部以北には夏鳥として多数渡来する。九州では秋期大群で通過する。

477 カラムクドリ *Sturnus sinensis* (Gmelin)

本州(茨城, 埼玉, 東京), 硫黄列島(北硫黄島), 南部琉球(石垣)

迷鳥として, まれに渡来するにすぎない。

478 ムクドリ *Sturnus cineraceus* Temminck

北海道(B, W), 天売島(B), 南千島(B), 本州(B, W), 佐渡(B, W), 四国(B, W), 九州(B, W), 伊豆諸島(大島B, W, 八丈W), 小笠原群島(聳島, 父島, 母島), 硫黄列島(北硫黄島), 北部琉球(奄美W), 中部琉球(沖縄W), 南部琉球(石垣, 西表, 与那国, 尖閣), 大東群島(南大東島)

本州以北には留鳥として多数生息するが, 九州以南では少ない。北海道でも冬期残るものがあり, 伊豆大島では繁殖するものがふえている。

コウライウグイス科 ORIOLIDAE

479 コウライウグイス *Oriolus chinensis* Linnaeus

コウライウグイス *Oriolus chinensis diffusus* Sharpe

本州(山口県角島1965年5月7日, 1966年5月9日), 対馬

まれな旅鳥として春期記録されている。上記のほかに埼玉1972年5月27日, 高知1970年5月3日の観察記録がある。

モリツバメ科 ARTAMIDAE

480 モリツバメ *Artamus leucorhynchus* (Linnaeus)

モリツバメ *Artamus leucorhynchus leucorhynchus* (Linnaeus)

南部琉球(西表1973年4月 1羽観察)

迷鳥として1例がある。

カラス科 CORVIDAE

481 カケス *Garrulus glandarius* (Linnaeus)

ミヤマカケス *Garrulus glandarius brandtii* Eversmann

北海道(B,W), 南千島(クナシリ)

北海道の平地および山地の林に、留鳥として分布する。

カケス *Garrulus glandarius japonicus* Temminck & Schlegel

本州(B,W), 四国(B,W), 九州北部(B,W), 対馬, 伊豆諸島(大島)

低い山の林に多く繁殖し、冬は暖地へ移動するものもある。

サドカケス *Garrulus glandarius tokugawae* Takatsukasa

佐渡(B,W)

留鳥として佐渡ヶ島に分布する。

ヒュウガカケス *Garrulus glandarius hiugaensis* Momiyama

本州(伊豆半島南端B,W), 九州南部(B,W)

上記のごく限られた地域に、留鳥として生息する。

ヤクシマカケス *Garrulus glandarius orii* Kuroda

屋久島(B,W)

山地の林で繁殖するが、多くない。

482 ルリカケス *Garrulus lidthi* Bonaparte

北部琉球(奄美B,W, 徳之島B,W)

上記の島だけに分布する特産種であるが、徳之島では近年数が減っている。

483 オナガ *Cyanopica cyana* (Pallas)

オナガ *Cyanopica cyana japonica* Parrot

本州北部(B,W), 本州南部, 九州北部

かつては兵庫, 島根, 佐賀, 福岡, 宮崎にも生息していたが、現在は岐阜, 愛知両県以西には分布しないらしい(ただし、兵庫県では1966年に6羽, 1967年に1羽が記録されている)。

484 カササギ *Pica pica* (Linnaeus)

カササギ *Pica pica sericea* Gould

九州(福岡 B, W, 佐賀 B, W, 長崎 B, W, 熊本)

佐賀平野を中心に、留鳥として生息している。

485 ホシガラス *Nucifraga caryocatactes* (Linnaeus)

ハシナガホシガラス *Nucifraga caryocatactes macrorhynchos* Brehm

九州(福岡県早良郡残島1923年2月)

迷鳥として1例がある。

ホシガラス *Nucifraga caryocatactes japonica* Hartert

北海道(B, W), 南千島(B, W), 本州(B, W), 佐渡, 四国(B, W), 九州, 伊豆諸島(大島)

九州では福岡県沖ノ島, 大分県, 熊本県等で観察されている。

486 コクマルガラス *Corvus monedula* Linnaeus

コクマルガラス *Corvus monedula dauuricus* Pallas

北海道(札幌, 函館), 本州(山形, 神奈川, 福井, 静岡, 山口), 九州(福岡, 長崎, 熊本), 南部琉球(石垣)

まれな冬鳥として渡来するが, 1973年春には熊本市で, ミヤマガラスの大群に混じる50羽以上が観察されている。

487 ミヤマガラス *Corvus frugilegus* Linnaeus

ミヤマガラス *Corvus frugilegus pastinator* Gould

本州, 四国, 九州(W), 対馬, 五島列島, 大東群島(南大東島)

九州北部および中部には冬鳥として渡来するが, その他の地方ではまれである。

488 ハシボソガラス *Corvus corone* Linnaeus

ハシボソガラス *Corvus corone orientalis* Eversmann

北海道(B, W), 礼文島(W), 利尻島(W), 南千島(B), 本州(B, W), 飛島, 粟島, 佐渡(B, W), 隠岐, 四国(B, W), 九州(B, W), 対馬(B, W), 壱岐, 五島列島, 伊豆諸島(大島, 新島, 三宅, 八丈), 小笠原群島(父島), 硫黄列島(北硫黄島), 中部琉球(沖縄)

留鳥として生息するものが多い。

489 ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos* Wagler

ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos japonensis* Bonaparte

北海道(B, W), 礼文島(B, W), 利尻島(B, W), 南千島(B, W), 本州(B, W),

佐渡(B,W), 隠岐(B,W), 四国(B,W), 九州(B,W), 五島列島, 屋久島(B,W), 種子島(B,W), 伊豆諸島(B,W), 小笠原群島, 大東群島

市街地, 海辺, 山地等に生息し, その数が多い。小笠原群島では1889年に採集されている。

リュウキュウハシブトガラス *Corvus macrorhynchos connectens* Stresemann

北部琉球(奄美B,W, 徳之島, 喜界), 中部琉球(沖縄B,W, 座間味, 久米), 南部琉球(宮古)

留鳥として生息する。

オサハシブトガラス *Corvus macrorhynchos osai* Ogawa

南部琉球(石垣B,W, 西表B,W, 竹富, 小浜, 黒島B,W, 新城, 波照間)

留鳥として生息する。

チョウセンハシブトガラス *Corvus macrorhynchos mandshuricus* Buturlin

対馬(B,W)

対馬全島に分布する。

490 ワタリガラス *Corvus corax* Linnaeus

ワタリガラス *Corvus corax kamtschaticus* Dybowski

北海道(W), 礼文島(B?), 利尻島(B?), 南千島(B)

北海道に冬鳥として渡来する。礼文島, 利尻島, 知床半島では繁殖するものがあると言われるが, 巣卵の発見はまだない。

索引

ア

アオアシシギ 40
 アオゲラ 63
 アオサギ 12
 アオジ 95
 アオシギ 43
 アオツラカツオドリ 7
 アオバズク 58
 アオバト 55
 アカアシアジサシ 48
 アカアシカツオドリ 7
 アカアシシギ 39
 アカアシミズナギドリ 4
 アカウソ 100
 アカエリカイツブリ 2
 アカエリヒレアシシギ 44
 アカオネツタイチョウ 6
 アカガシラカラスバト 53
 アカガシラサギ 10
 アカゲラ 64
 アカコッコ 80
 アカシヨウビン 61
 アカツクシガモ 16
 アカハシハジロ 19

アカハジロ 19
 アカハラ 80
 アカハラダカ 23
 アカハラツバメ 68
 アカヒゲ 76
 アカマシコ 99
 アカモズ 74
 アカヤマドリ 29
 アサクラサンショウクイ 71
 アジサシ 48
 アシナガウミツバメ 5
 アトリ 97
 アナドリ 4
 アネハズル 31
 アビ 1
 アホウドリ 2
 アマサギ 10
 アマツバメ 60
 アマミコゲラ 65
 アマミシジュウカラ 90
 アマミヒヨドリ 72
 アマミヤマガラ 89
 アマミヤマシギ 42
 アメリカウズラシギ 38
 アメリカコガモ 18
 アメリカコハクチョウ 16
 アメリカヒドリ 18
 アラナミキンクロ 20
 アリスイ 63
 アリュースシャンウミバト 50

イ

イイジマムシクイ 85
 イオウトウメジロ 92
 イカル 100
 イカルチドリ 35
 イシガキシジュウカラ 90
 イシガキヒヨドリ 73
 イスカ 99
 イソシギ 41
 イソヒヨドリ 79
 イナバヒタキ 78

イヌワシ 25
 イワツバメ 68
 イワヒバリ 75, 76
 イワミセキレイ 69

ウ

ウグイス 82
 ウスアカヒゲ 77
 ウスアカヤマドリ 28
 ウズラ 28
 ウズラシギ 38
 ウソ 100
 ウチヤマシマセンニュウ 83
 ウトウ 52
 ウミアイサ 21
 ウミウ 7
 ウミオウム 52
 ウミガラス 50
 ウミスズメ 51
 ウミネコ 46
 ウミバト 50

エ

エゾアカゲラ 64
 エゾオオアカゲラ 64
 エゾカヤクグリ 76
 エゾコゲラ 65
 エゾセンニュウ 83
 エゾビタキ 87
 エゾヒヨドリ 72
 エゾフクロウ 59
 エゾムシクイ 85
 エゾヤマセミ 61
 エゾライチョウ 28
 エトビリカ 52
 エトロフウミスズメ 51
 エナガ 87, 88
 エリグロアジサシ 48
 エリマキシギ 39

オ

オオアカゲラ 64

オオアジサシ 47, 48
オオカラモズ 74
オオカワラヒワ 98
オオキアシシギ 40
オオクイナ 31
オオグンカンドリ 8
オオコノハズク 58
オオジシギ 43
オオジュリン 96
オオシロハラミズナギドリ 3
オオセグロカモメ 45
オオセッカ 83
オオソリハシシギ 41
オオダイサギ 11
オオタカ 23
オオチドリ 36
オオトウゾクカモメ 44, 45
オオトラツグミ 79
オオノスリ 24
オオハクチョウ 16
オオハシシギ 39
オオハム 1
オオハヤブサ 26
オオバン 33
オオヒシクイ 15
オオヒバリ 67
オオホシハジロ 19
オオマガン 15
オオマシコ 99
オオミズナギドリ 4
オオメダイチドリ 35
オオモズ 74
オオユキホオジロ 97
オオヨシキリ 84
オオヨシゴイ 9
オオルリ 86
オオワシ 23
オガサワラガビチョウ 79
オガサワラカラスバト 54
オガサワラカワラヒワ 98
オガサワラノスリ 24
オガサワラヒヨドリ 73

オガサワラマシコ 100
オカヨシガモ 18
オガワコマドリ 77
オガワミソサザイ 75
オキナワシジュウカラ 90
オグロシギ 41
オサハシブトガラス 105
オシドリ 17
オジロトウネン 37
オジロビタキ 86
オジロワシ 22
オーストンウミツバメ 5
オーストンオオアカゲラ 64
オーストンヤマガラ 90
オナガ 103
オナガガモ 19
オナガミズナギドリ 4
オニアジサシ 47
オバシギ 38
オリイコゲラ 66
オリイヤマガラ 89

カ

カイツブリ 1
カケス 103
カゴシマアオゲラ 63
カササギ 103, 104
カシラダカ 94
カタジロワシ 25
カツオドリ 7
カッコウ 56
カナダヅル 30
カモメ 46
カヤクグリ 76
カラアカハラ 80
カラシラサギ 11
カラスバト 53
カラフトアオアシシギ 40
カラフトウグイス 82
カラフトコガラ 88
カラフトコチョウゲンボウ 27
カラフトチュウヒバリ 67
カラフトビンズイ 70
カラフトムシクイ 84
カラフトワシ 25
カラフトワシミミズク 57
カラムクドリ 102
カリガネ 15
カルガモ 17
カワアイサ 21, 22
カワウ 7
カワガラス 75
カワセミ 61, 62
カワラヒワ 97
カンムリウミスズメ 51
カンムリカイツブリ 2
カンムリツクシガモ 17
カンムリワシ 25

キ

キアオジ 92, 93
キアシシギ 40
キガシラシトド 97
キガシラセキレイ 69
クイタダキ 85
キジ 29
キジバト 54
キセキレイ 69
キタアマツバメ 60
キタキジ 29
キタキバシリ 91
キタシベリアジュリン 96
キタタキ 64
キタヤマドリ 28
キバシリ 91
キビタキ 86
キマユツメナガセキレイ 69
キマユホオジロ 94
キマユムシクイ 84
キュウシュウエナガ 88
キュウシュウキジ 29
キュウシュウコゲラ 65
キュウシュウゴジュウカラ 91
キュウシュウフクロウ 59

キョウジョシギ 37
キリアイ 39
キレンジャク 74
キンクロハジロ 20
ギンザンマシコ 99
キンバト 55
キンメフクロウ 58

ク

クイナ 31
クサシギ 40
クビワカモメ 47
クビワコウテンシ 66
クマゲラ 64
クマタカ 25
クロアジアホウドリ 3
クロアジサシ 49
クロウミツバメ 6
クログモ 20
クロコシジロウミツバメ 5
クロサギ 12
クロジ 96
クロツグミ 80
クロツラヘラサギ 13
クロヅル 30
クロトウゾクカモメ 45
クロトキ 13
クロハゲワシ 25
クロハラアジサシ 47

ケ

ケアシノスリ 24
ケイマフリ 51
ケリ 36
ケワタガモ 20

コ

コアオアシシギ 39
コアカゲラ 65
コアジサシ 49
コアホウドリ 2
コイカル 100
ゴイスギ 10
コウノトリ 12
コウミスズメ 52
コウライウグイス 102
コウライキジ 29
コオバシギ 38
コオリガモ 21
コガモ 17, 18
コガラ 88
コカワラヒワ 97
コクガン 14
コクマルガラス 104
コグンカンドリ 8
コゲラ 65
コケワタガモ 20
コサギ 11
コサメビタキ 87
コシアカツバメ 68
コシギ 43
コシジロアジサシ 48
コシジロウミツバメ 5
コシジロオオソリハシシギ 41
コシジロヤマドリ 29
コシャクシギ 42
ゴジュウカラ 90
ゴジュケイ 28
ゴジュリン 93
コチドリ 34
コチョウゲンボウ 27
コトラツグミ 79
コノハズク 57
コハクチョウ 16
コバシギンザンマシコ 99
コバシチドリ 36
コブハクチョウ 16
コベニヒワ 98
コホオアカ 94
コマドリ 76
ゴマフスズメ 97
コマミジロタヒバリ 70
コミズナギドリ 4
コミミズク 57

コムクドリ 102
コメボソムシクイ 84
コモンシギ 39
コヨシキリ 83
コルリ 77

サ

サカツラガン 16
サケイ 53
ササゴイ 10
サシバ 24
サドカケス 103
サバクヒタキ 78
サメイロオオコノハズク 58
サメビタキ 86
サルハマシギ 38
サンカノゴイ 8, 9
サンコウチョウ 87
サンショウクイ 71, 72

シ

シコクコゲラ 65
シコクヤマドリ 28
シジュウカラ 90
シジュウカラガン 14
シチトウメジロ 92
シノリガモ 21
シベリアアオジ 95
シベリアアリスイ 63
シベリアオオハシシギ 39
シベリアオオモズ 74
シベリアシメ 101
シベリアジュリン 96
シベリアハヤブサ 26
シベリアムクドリ 102
シマアオジ 95
シマアカモズ 74
シマアジ 19
シマエナガ 87
シマキジ 29
シマクイナ 32

シマゴマ 77
 シマセンニユウ 83
 シマノジコ 95
 シマハヤブサ 26
 シマフクロウ 57
 シマメジロ 91
 シメ 101
 ジュウイチ 55
 ショウドウツバメ 67
 ジョウビタキ 78
 シラオネツタイチョウ 6
 シラガホオジロ 93
 シラコバト 54
 シラヒゲウミスズメ 52
 シロアジサシ 50
 シロエリオオハム 1
 シロガシラ 72
 シロカモメ 46
 シロチドリ 35
 シロハヤブサ 26
 シロハラ 80
 シロハラクイナ 32
 シロハラゴジュウカラ 90
 シロハラチュウシャクシギ 42
 シロハラトウゾクカモメ 45
 シロハラホオジロ 93
 シロハラミズナギドリ 3
 シロフクロウ 56

ス

スアカアオバト 55
 スグロカモメ 46
 スグロチャキンチョウ 95
 スグロミゾゴイ 9, 10
 スズガモ 20
 スズメ 101

セ

セイタカシギ 44
 セグロアジサシ 49
 セグロカモメ 45
 セグロセキレイ 70

セグロミズナギドリ 4, 5
 セジロタヒバリ 71
 セッカ 85
 センダイムシクイ 85

ソ

ソウゲカモメ 47
 ソデグロヅル 31
 ソリハシシギ 41
 ソリハシセイタカシギ 44

タ

ダイサギ 11
 ダイシャクシギ 41
 ダイゼン 36
 ダイトウコノハズク 58
 ダイトウノスリ 24
 ダイトウハシナガウグイス 82
 ダイトウヒヨドリ 73
 ダイトウミソサザイ 75
 ダイトウメジロ 92
 ダイトウヤマガラ 89
 タイリクワシミミズク 57
 タイワンコジュケイ(テッケイ) 28
 タイワンヒヨドリ 73
 タカブシギ 40
 タゲリ 36
 タシギ 43
 タネアオゲラ 63
 タネコマドリ 76
 タネヤマガラ 89
 タヒバリ 71
 タマシギ 34
 タンチョウ 30

チ

チゴハヤブサ 27
 チゴモズ 73
 チシマウガラス 8
 チシマウミバト 50
 チュウサギ 11

チュウジシギ 43
 チュウシャクシギ 42
 チュウダイサギ 11
 チュウダイズアカアオバト 55
 チュウヒ 26
 チョウゲンボウ 27
 チョウセンアオバズク 58
 チョウセンエナガ 88
 チョウセンオオタカ 23
 チョウセンハシブトガラス 105

ツ

ツクシガモ 17
 ツグミ 81
 ツシマコゲラ 65
 ツツドリ 56
 ツノメドリ 52
 ツバメ 68
 ツバメチドリ 44
 ツミ 23
 ツメナガセキレイ 69
 ツメナガホオジロ 96
 ツリスガラ 88
 ツルクイナ 33
 ツルシギ 39

テ

テッケイ 28

ト

トウカイキジ 29
 トウゾクカモメ 45
 トウネン 37
 トウホクオオアカゲラ 64
 トウホクフクロウ 59
 トキ 13
 トビ 22
 トモエガモ 18
 トラツグミ 79
 トラフズク 57

ナ

ナキイスカ 99
ナベコウ 13
ナベヅル 30
ナミエオオアカゲラ 64
ナミエヤマガラ 90
ナンヨウマミジロアジサシ 48

ニ

ニウナイスズメ 101

ノ

ノガン 33
ノグチゲラ 63
ノゴマ 77
ノジコ 95
ノスリ 24
ノドグロツグミ 81
ノハラツグミ 81
ノビタキ 78

ハ

ハイイロアジサシ 49
ハイイロウミツバメ 5
ハイイログアン 14
ハイイロチュウヒ 25
ハイイロヒレアシシギ 44
ハイイロペリカン 6
ハイイロミズナギドリ 4
ハイタカ 23
ハギマシコ 98
ハクガン 15
ハクセキレイ 69
ハシグロクロハラアジサシ 47
ハシグロヒタキ 78
ハシジロアビ 1
ハシナガウグイス 82
ハシナガホシガラス 104
ハシビロガモ 19
ハシブトアジサシ 48
ハシブトウミガラス 50
ハシブトオオヨシキリ 84
ハシブトガラ 88

ハシブトガラス 104
ハシブトゴイ 10
ハシブトヒヨドリ 73
ハシボソガラス 104
ハシボソシロチドリ 35
ハシボソミズナギドリ 4
ハジロカイツブリ 1, 2
ハジロクロハラアジサシ 47
ハジロコチドリ 34
ハジロミズナギドリ 3
ハチクイ 62
ハチクマ 22
ハチジョウツグミ 81
ハハジマメグロ 92
ハマシギ 38
ハマヒバリ 67
ハヤブサ 26
ハリオアマツバメ 60
ハリオシギ 43
ハリモモチュウシャク 42
バン 32

ヒ

ヒガラ 89
ヒクイナ 32
ヒゲガラ 81
ヒシクイ 15
ヒドリガモ 18
ヒバリ 67
ヒバリシギ 37
ヒメアマツバメ 60
ヒメイトヒヨ 79
ヒメウ 8
ヒメウズラシギ 37
ヒメクイナ 31, 32
ヒメクロアジサシ 49, 50
ヒメクロウミツバメ 5
ヒメコウテンシ 67
ヒメシジュウカラガン 14
ヒメシロハラミズナギドリ 3
ヒメノガン 33
ヒメハジロ 21

ヒメヒシクイ 15
ヒュウガカケス 103
ヒヨドリ 72
ヒレンジャク 75
ビロードキンクロ 20
ビンズイ 70, 71

フ

フクロウ 59
ブッポウソウ 62
フルマカモメ 3

ヘ

ベニアジサシ 48
ベニバト 54
ベニバラウソ 100
ベニヒワ 98
ベニマシコ 99, 100
ヘラサギ 13
ヘラシギ 38

ホ

ホウロクシギ 42
ホオアカ 93
ホオジョロ 93
ホオジョロガモ 21
ホオジョロハクセキレイ 70
ホシガラス 104
ホシハジロ 19
ホトトギス 56
ホンシュウコゲラ 65
ホントウアカヒゲ 77

マ

マガモ 17
マガン 14, 15
マキノセンニユウ 83
マダラウミスズメ 51
マダラチュウヒ 26
マナヅル 31
マヒワ 98
マミジロ 79

マミジロアジサシ 49
マミジロキビタキ 85
マミジロクイナ 32
マミジロタヒバリ 70
マミジロツメナガセキレイ 69
マミチャジナイ 80
マリアナヨシゴイ 9

ミ

ミカドガン 16
ミコアイサ 21
ミサゴ 22
ミゾゴイ 9
ミソサザイ 75
ミツユビカモメ 47
ミフウズラ 30
ミミカイツブリ 2
ミヤケコゲラ 65
ミヤコショウビン 61
ミヤコドリ 34
ミヤマカケス 103
ミヤマガラス 104
ミヤマシトド 97
ミヤマホオジロ 94
ミユビゲラ 66
ミユビシギ 38

ム

ムギマキ 86
ムクドリ 102
ムコジマメグロ 92
ムナグロ 36
ムネアカタヒバリ 71
ムラサキサギ 12

メ

メグロ 92
メジロ 91
メジロガモ 19
メダイチドリ 35
メボソムシクイ 84
メリケンキアシシギ 40

モ

モウコメダイチドリ 35
モズ 73
モスケミソサザイ 75
モミヤマフクロウ 59
モリツバメ 102

ヤ

ヤイロチョウ 66
ヤクシマカケス 103
ヤクシマヤマガラ 89
ヤツガシラ 62
ヤブサメ 82
ヤマガラ 89
ヤマゲラ 63
ヤマシギ 42
ヤマショウビン 61
ヤマセミ 61
ヤマドリ 28
ヤマヒバリ 76

ユ

ユキホオジロ 96, 97
ユリカモメ 45

ヨ

ヨシガモ 18
ヨシゴイ 9
ヨタカ 59
ヨナクニカラスバト 53
ヨーロッパバインズイ 70

ラ

ライチョウ 27

リ

リュウキュウアオバズク 59
リュウキュウアカショウビン 61
リュウキュウウグイス 82
リュウキュウオオコノハズク

リュウキュウガモ 16
リュウキュウカラスバト 53
リュウキュウキジバト 54
リュウキュウキビタキ 86
リュウキュウクロアジサシ 49
リュウキュウコゲラ 65
リュウキュウコノハズク 57
リュウキュウサンコウチョウ 87
リュウキュウサンショウウイ 72
リュウキュウズアカアオバト 55
リュウキュウツバメ 68
リュウキュウツミ 23
リュウキュウハシブトガラス 105
リュウキュウヒクイナ 32
リュウキュウヒヨドリ 72
リュウキュウメジロ 91
リュウキュウヨシゴイ 9

ル

ルリカケス 103
ルリビタキ 77

レ

レンカク 34

ワ

ワキアカツグミ 81
ワシカモメ 46
ワシミミズク 56
ワタリガラス 105

索引

A

Acanthis flammea 98
Acanthis
 hornemanni 98
Accipiter gentilis 23
Accipiter gularis 23
Accipiter nisus 23
Accipiter soloensis 23
Acrocephalus aedon 84
Acrocephalus
 arundinaceus 84
Acrocephalus
 bistrigiceps 83
Aegithalos caudatus 87
Aegolius funereus 58
Aegyptius monachus 25
Aethia cristatella 51
Aethia psittacula 52
Aethia pusilla 52
Aethia pygmaea 52
Aix galericulata 17
Alauda arvensis 67
Alcedo atthis 61
Amaurornis
 phoenicurus 32
Anas acuta 19
Anas americana 18
Anas clypeata 19
Anas crecca 17
Anas falcata 18
Anas formosa 18
Anas penelope 18
Anas platyrhynchos 17
Anas poecilorhyncha 17
Anas querquedula 19
Anas strepera 18
Anous albus 50
Anous cerulea 49
Anous stolidus 49
Anous tenuirostris 49
Anser albifrons 14
Anser anser 14
Anser caerulescens 15
Anser canagicus 16

Anser cygnoides 16
Anser erythropus 15
Anser fabalis 15
Anthropoides virgo 31
Anthus cervinus 71
Anthus godlewskii 70
Anthus gustavi 71
Anthus hodgsoni 70
Anthus
 novaezeelandiae 70
Anthus spinoletta 71
Anthus trivialis 70
Apalopteron familiare 92
Apus affinis 60
Apus pacificus 60
Aquila chrysaetos 25
Aquila clanga 25
Aquila heliaca 25
Ardea cinerea 12
Ardea purpurea 12
Ardeola bacchus 10
Arenaria interpres 37
Artamus
 leucorhynchus 102
Asio flammeus 57
Asio otus 57
Aythya baeri 19
Aythya ferina 19
Aythya fuligula 20
Aythya marila 20
Aythya nyroca 19
Aythya valisineria 19

B

Bambusicola
 thoracica 28
Bombycilla garrulus 74
Bombycilla japonica 75
Botaurus stellaris 8
Brachyramphus
 marmoratus 51
Branta bernicla 14
Branta canadensis 14
Bubo bubo 56
Bubulcus ibis 10

<i>Bucephala albeola</i>	21	<i>Charadrius hiaticula</i>	34	<i>Dendrocopos leucotos</i>	64
<i>Bucephala clangula</i>	21	<i>Charadrius</i>		<i>Dendrocopos major</i>	64
<i>Bulweria bulwerii</i>	4	<i>leschenaultii</i>	35	<i>Dendrocopos minor</i>	65
<i>Butastur indicus</i>	24	<i>Charadrius mongolus</i>	35	<i>Dendrocoryna javanica</i>	16
<i>Buteo buteo</i>	24	<i>Charadrius placidus</i>	35	<i>Dendronanthus</i>	
<i>Buteo hemilasius</i>	24	<i>Chaunoproctus</i>		<i>indicus</i>	69
<i>Buteo lagopus</i>	24	<i>ferreorostris</i>	100	<i>Diomedea albatrus</i>	2
<i>Butorides striatus</i>	10	<i>Ciconia ciconia</i>	12	<i>Diomedea</i>	

C

<i>Calandrella cinerea</i>	67	<i>Cinclus pallasii</i>	75
<i>Calcarius lapponicus</i>	96	<i>Circus aeruginosus</i>	26
<i>Calidris acuminata</i>	38	<i>Circus cyaneus</i>	25
<i>Calidris alpina</i>	38	<i>Circus melanoleucus</i>	26
<i>Calidris bairdii</i>	37	<i>Cisticola juncidis</i>	85
<i>Calidris canutus</i>	38	<i>Clangula hyemalis</i>	21
<i>Calidris ferruginea</i>	38	<i>Coccothraustes</i>	
<i>Calidris melanotos</i>	38	<i>coccothraustes</i>	101
<i>Calidris minutilla</i>	37	<i>Columba janthina</i>	53
<i>Calidris ruficollis</i>	37	<i>Columba jouyi</i>	53
<i>Calidris temminckii</i>	37	<i>Columba versicolor</i>	54
<i>Calidris</i>		<i>Coracina</i>	
<i>tenuirostris</i>	38	<i>melaschistos</i>	71

<i>Calonectris</i>		<i>Corvus corax</i>	105
<i>leucomelas</i>	4	<i>Corvus corone</i>	104

<i>Caprimulgus indicus</i>	59	<i>Corvus frugilegus</i>	104
----------------------------	----	--------------------------	-----

<i>Carduelis sinica</i>	97	<i>Corvus</i>	
-------------------------	----	---------------	--

<i>Carduelis spinus</i>	98	<i>macrorhynchos</i>	104
-------------------------	----	----------------------	-----

<i>Carpodacus</i>		<i>Corvus monedula</i>	104
-------------------	--	------------------------	-----

<i>erythrinus</i>	99	<i>Coturnix coturnix</i>	28
-------------------	----	--------------------------	----

<i>Carpodacus roseus</i>	99	<i>Crocethia alba</i>	38
--------------------------	----	-----------------------	----

<i>Cephus carbo</i>	51	<i>Cuculus canorus</i>	56
---------------------	----	------------------------	----

<i>Cephus columba</i>	50	<i>Cuculus fugax</i>	55
-----------------------	----	----------------------	----

<i>Cerorhinca</i>		<i>Cuculus</i>	
-------------------	--	----------------	--

<i>monocera</i>	52	<i>poliocephalus</i>	56
-----------------	----	----------------------	----

<i>Certhia familiaris</i>	91	<i>Cuculus saturatus</i>	56
---------------------------	----	--------------------------	----

<i>Ceryle lugubris</i>	61	<i>Cyanopica cyana</i>	103
------------------------	----	------------------------	-----

<i>Cettia diphone</i>	82	<i>Cyanoptila</i>	
-----------------------	----	-------------------	--

<i>Cettia squameiceps</i>	82	<i>cyanomelana</i>	86
---------------------------	----	--------------------	----

<i>Chaetura caudacuta</i>	60	<i>Cygnus columbianus</i>	16
---------------------------	----	---------------------------	----

<i>Chalcophaps indica</i>	55	<i>Cygnus cygnus</i>	16
---------------------------	----	----------------------	----

<i>Charadrius</i>		<i>Cygnus olor</i>	16
-------------------	--	--------------------	----

<i>alexandrinus</i>	35		
---------------------	----	--	--

<i>Charadrius asiaticus</i>	36		
-----------------------------	----	--	--

<i>Charadrius dubius</i>	34		
--------------------------	----	--	--

D

<i>Delichon urbica</i>	68
------------------------	----

<i>Dendrocopos kizuki</i>	65
---------------------------	----

E

<i>Egretta alba</i>	11
---------------------	----

<i>Egretta eulophotes</i>	11
---------------------------	----

<i>Egretta garzetta</i>	11
-------------------------	----

<i>Egretta intermedia</i>	11
---------------------------	----

<i>Egretta sacra</i>	12
----------------------	----

<i>Emberiza aureola</i>	95
-------------------------	----

<i>Emberiza</i>	
-----------------	--

<i>chrysophrys</i>	94
--------------------	----

<i>Emberiza cioides</i>	93
-------------------------	----

<i>Emberiza citrinella</i>	92
----------------------------	----

<i>Emberiza elegans</i>	94
-------------------------	----

<i>Emberiza fucata</i>	93
------------------------	----

<i>Emberiza</i>	
-----------------	--

<i>leucocephala</i>	93
---------------------	----

<i>Emberiza</i>	
-----------------	--

<i>melanocephala</i>	95
----------------------	----

<i>Emberiza pallasi</i>	96
-------------------------	----

<i>Emberiza pusilla</i>	94
-------------------------	----

<i>Emberiza rustica</i>	94
-------------------------	----

<i>Emberiza rutila</i>	95
------------------------	----

<i>Emberiza</i>	
-----------------	--

<i>schoeniclus</i>	96
--------------------	----

<i>Emberiza</i>	
-----------------	--

<i>spodocephala</i>	95
---------------------	----

<i>Emberiza sulphurata</i>	95
----------------------------	----

<i>Emberiza tristrami</i>	93
---------------------------	----

<i>Emberiza variabilis</i>	96
----------------------------	----

<i>Emberiza yessoensis</i>	93
----------------------------	----

<i>Eophona migratoria</i>	100
---------------------------	-----

<i>Eophona personata</i>	100
--------------------------	-----

<i>Eremophila alpestris</i>	67
-----------------------------	----

Erithacus akahige 76
Erithacus calliope 77
Erithacus cyane 77
Erithacus komadori 76
Erithacus sibilans 77
Erithacus svecicus 77
Eudromias
morinellus 36
Eurynorhynchus
pygmeus 38
Eurystomus
orientalis 62

F

Falco columbarius 27
Falco peregrinus 26
Falco rusticolus 26
Falco subbuteo 27
Falco tinnunculus 27
Ficedula mugimaki 86
Ficedula narcissina 86
Ficedula parva 86
Ficedula zanthopygia 85
Fratercula
corniculata 52
Fregata ariel 8
Fregata minor 8
Fringilla
montifringilla 97
Fulica atra 33
Fulmarus glacialis 3

G

Gallicrex cinerea 33
Gallinago gallinago 43
Gallinago hardwickii 43
Gallinago megala 43
Gallinago solitaria 43
Gallinago stenura 43
Gallinula chloropus 32
Garrulus glandarius 103
Garrulus lidthi 103
Gavia adamsii 1
Gavia arctica 1
Gavia pacifica 1

Gavia stellata 1
Glareola maldivarum 44
Gorsakius goisagi 9
Gorsakius
melanolophus 9
Grus canadensis 30
Grus grus 30
Grus japonensis 30
Grus leucogeranus 31
Grus monacha 30
Grus vipio 31

H

Haematopus
ostralegus 34
Halcyon coromanda 61
Halcyon miyakoensis 61
Halcyon pileata 61
Haliaeetus albicilla 22
Haliaeetus palagicus 23
Himantopus
himantopus 44
Hirundo daurica 68
Hirundo rustica 68
Hirundo tahitica 68
Histrionicus
histrionicus 21
Hydrophasianus
chirurgus 34
Hypsipetes amaurotis 72

I

Ixobrychus
cinnamomeus 9
Ixobrychus
eurhythmus 9
Ixobrychus sinensis 9

J

Jynx torquilla 63

K

Ketupa blakistoni 57

L

Lagopus mutus 27
Lanius bucephalus 73
Lanius cristatus 74
Lanius excubitor 74
Lanius sphenocercus 74
Lanius tigrinus 73
Larus argentatus 45
Larus canus 46
Larus crassirostris 46
Larus eburneus 47
Larus glaucescens 46
Larus hyperboreus 46
Larus ridibundus 45
Larus sabini 47
Larus saundersi 46
Larus schistisagus 45
Larus tridactylus 47
Leucosticte arctoa 98
Limicola falcinellus 39
Limnodromus
scolopaceus 39
Limnodromus
semipalmatus 39
Limosa lapponica 41
Limosa limosa 41
Locustella
fasciolata 83
Locustella
lanceolata 83
Locustella
ochotensis 83
Loxia curvirostra 99
Loxia leucoptera 99
Lunda cirrhata 52
Lymnocyrtus
minimus 43

M

Megalurus pryeri 83
Melanitta fusca 20
Melanitta nigra 20
Melanitta
perspicillata 20
Melanocorypha
bimaculata 66

Mergus albellus 21
Mergus merganser 21
Mergus serrator 21
Merops ornatus 62
Microsarcops
 cinereus 36
Milvus migrans 22
Monticola gularis 79
Monticola solitarius 79
Motacilla alba 69
Motacilla cinerea 69
Motacilla citreola 69
Motacilla flava 69
Motacilla grandis 70
Muscicapa
 griseisticta 87
Muscicapa
 latirostris 87
Muscicapa sibirica 86

N

Netta rufina 19
Ninox scutulata 58
Nipponia nippon 13
Nucifraga
 caryocatactes 104
Numenius arquata 41
Numenius
 madagascariensis 42
Numenius minutus 42
Numenius phaeopus 42
Numenius tahitiensis 42
Numenius
 tenuirostris 42
Nyctea scandiaca 56
Nycticorax
 caledonicus 10
Nycticorax
 nycticorax 10

O

Oceanites oceanicus 5
Oceanodroma castro 5
Oceanodroma furcata 5
Oceanodroma

leucorhoa 5
Oceanodroma
 matsudairae 6
Oceanodroma
 monorhis 5
Oceanodroma
 tristrami 5
Oenanthe deserti 78
Oenanthe isabellina 78
Oenanthe oenanthe 78
Oriolus chinensis 102
Otis tarda 33
Otis tetrax 33
Otus bakkamoena 58
Otus scops 57

P

Pandion haliaetus 22
Panurus biarmicus 81
Parus ater 89
Parus major 90
Parus montanus 88
Parus palustris 88
Parus varius 89
Passer montanus 101
Passer rutilans 101
Pelecanus
 philippensis 6
Pericrocotus
 divaricatus 71
Pernis apivorus 22
Phaethon lepturus 6
Phaethon rubricauda 6
Phalacrocorax carbo 7
Phalacrocorax
 filamentosus 7
Phalacrocorax
 pelagicus 8
Phalacrocorax urile 8
Phalaropus
 fulicarius 44
Phalaropus lobatus 44
Phasianus colchicus 29
Phasianus
 soemmerringii 28

Philomachus pugnax 39
Phoenicurus aureoreus 78
Phylloscopus
 borealis 84
Phylloscopus ijimae 85
Phylloscopus
 inornatus 84
Phylloscopus
 occipitalis 85
Phylloscopus
 proregulus 84
Phylloscopus
 tenellipes 85
Pica pica 103
Picoides tridactylus 66
Picus awokera 63
Picus canus 63
Pinicola enucleator 99
Pitta brachyura 66
Platalea leucorodia 13
Platalea minor 13
Plectrophenax
 nivalis 96
Pluvialis dominica 36
Pluvialis squatarola 36
Podiceps auritus 2
Podiceps cristatus 2
Podiceps grisegena 2
Podiceps nigricollis 1
Podiceps ruficollis 1
Poliolimnas cinereus 32
Polysticta stelleri 20
Porzana exquisita 32
Porzana fusca 32
Porzana pusilla 31
Prunella collaris 75
Prunella montanella 76
Prunella rubida 76
Pterodroma externa 3
Pterodroma
 hypoleuca 3
Pterodroma
 longirostris 3
Pterodroma solandri 3
Puffinus carneipes 4

Puffinus griseus 4
Puffinus lherminieri 4
Puffinus nativitatis 4
Puffinus pacificus 4
Puffinus tenuirostris 4
Pycnonotus sinensis 72
Pyrhula pyrrhula 100

R

Rallina eurizonoides 31
Rallus aquaticus 31
Recurvirostra
avocetta 44
Regulus regulus 85
Remiz pendulinus 88
Riparia riparia 67
Rostratula
benghalensis 34

S

Sapheopipo noguchii 63
Saxicola torquata 78
Scolopax mira 42
Scolopax rusticola 42
Sitta europaea 90
Somateria
spectabilis 20
Sphenurus formosae 55
Sphenurus sieboldii 55
Spilornis cheela 25
Spizaetus nipalensis 25
Stercorarius
longicaudus 45
Stercorarius
parasiticus 45
Stercorarius
pomarinus 45
Stercorarius skua 44
Sterna albifrons 49
Sterna aleutica 48
Sterna anaethetus 49
Sterna bergii 47
Sterna caspia 47
Sterna dougallii 48
Sterna fuscata 49

Sterna hirundo 48
Sterna hybrida 47
Sterna leucoptera 47
Sterna lunata 48
Sterna nigra 47
Sterna nilotica 48
Sterna sumatrana 48
Streptopelia
decaocto 54
Streptopelia
orientalis 54
Streptopelia
tranquebarica 54
Strix uralensis 59
Sturnus cineraceus 102
Sturnus
philippensis 102
Sturnus sinensis 102
Sturnus sturninus 102
Sula dactylatra 7
Sula leucogaster 7
Sula sula 7
Synthliboramphus
antiquus 51
Synthliboramphus
wumizusume 51
Syrrhaptes
paradoxus 53

T

Tadorna cristata 17
Tadorna ferruginea 16
Tadorna tadorna 17
Tarsiger cyanurus 77
Terpsiphone
atrocaudata 87
Tetrastes bonasia 28
Threskiornis
melanocephalus 13
Tringa brevipes 40
Tringa erythropus 39
Tringa glareola 40
Tringa guttifer 40
Tringa hypoleucos 41
Tringa incana 40

Tringa melanoleuca 40
Tringa nebularia 40
Tringa ochropus 40
Tringa stagnatilis 39
Tringa totanus 39
Troglodytes
troglodytes 75
Tryngites
subruficollis 39
Turdus cardis 80
Turdus celanops 80
Turdus chrysolaus 80
Turdus dauma 79
Turdus hortulorum 80
Turdus iliacus 81
Turdus naumanni 81
Turdus obscurus 80
Turdus pallidus 80
Turdus pilaris 81
Turdus ruficollis 81
Turdus sibiricus 79
Turdus terrestris 79
Turnix suscitator 30

U

Upupa epops 62
Uragus sibiricus 99
Uria aalge 50
Uria lomvia 50

V

Vanellus vanellus 36

X

Xenus cinereus 41

Z

Zonotrichia
atricapilla 97
Zonotrichia iliaca 97
Zonotrichia
leucophrys 97
Zosterops japonica 91

日本鳥類目録改訂第5版から除いた種および亜種について

日本産として記録された鳥で日本鳥類目録改訂第5版から除いた種および亜種は、次の表のとおりである。除外については、各委員の意見を参考にし、次の理由のひとつに当たると判断した。

- 標本または写真による証拠がない。
- 写真はあっても不鮮明で確実な同定ができない。
- 似た種が多く、写真による同定は困難である。
- 標本はあっても、亜種の同定を十分に行う資料がそろっていない。
- 外国産の飼鳥が不慮に逃げ出したものと推察される。

1 ミナミオナガミズナギドリ *Puffinus bulleri* Salvin

小笠原群島父島沖(1968年11月18日) (小笠原の自然62ページ-文部省・文化庁, 1970年)

2 コウミツバメ *Halocyptena microsoma* Coues

トカラ列島東方100キロの海上(1968年8月6日) (週刊世界動物百科127号, 1973年)

3 ナンヨウヒメウ *Phalacrocorax melanoleucus* (Vieillot)

伊豆諸島八丈島(1955年5月11日) (鳥獣集報16巻1号64ページ, 1957年)

4 ナンキンオシ *Nettapus coromandelianus* (Gmelin)

南部琉球与那国島(1972年3月22日) (週刊世界動物百科70号, 1972年)

5 オオケワタガモ *Somateria mollissima* (Linnaeus)

北海道根室落石湾(1971年2月28日) (野鳥36巻7号27ページ, 1971年)

6 シロガシラトビ *Haliastur indus* (Boddaert)

北九州市門司区(1963年, 1970年1月3日) (小林桂助, 原色日本鳥類図録一保育社, 1972年), 東京都多摩川是政(1974年1月) (未発表)

7 ヒメハイロチュウヒ *Circus pygargus* (Linnaeus)

宮城県伊豆沼(1967年3月4日) (野鳥32巻8号15ページ, 1967年)

8 キョクアジサシ *Sterna paradisaea* Pontoppidan

千葉県浦安(1967年4月24日) (野鳥32巻7号27ページ, 1967年)

9 オニカッコウ *Eudynamys scolopacea* (Linnaeus)

- 南部琉球西表島(1970年10月8日) (野鳥36巻1号25ページ, 1971年)
- 10 シベリアツメナガセキレイ *Motacilla flava plexa* (Thayer & Bangs)
男女群島(1970年5月3日) (男女群島鳥類調査報告書29ページ—北九州野鳥の会, 1971年)
- 11 キタツメナガセキレイ *Motacilla flava macronyx* (Stresemann)
山口県角島(1965年5月12日) (野鳥31巻1号12ページ, 1966年), 男女群島(1970年4月28日~5月3日) (男女群島鳥類調査報告書29ページ—北九州野鳥の会, 1971年)
- 12 タイワンハクセキレイ *Motacilla alba ocularis* Swinhoe
男女群島(1970年4月28日~5月3日) (男女群島鳥類調査報告書27ページ—北九州野鳥の会, 1971年)
- 13 コセジロタヒバリ *Anthus gustavi menzbieri* Shulpin
南部琉球石垣島(1927年2月15日) (山階鳥類研究所報告30号94ページ, 1968年)
- 14 カラアカモズ *Lanius cristatus cristatus* Linnaeus
青森県尻屋崎(1938年5月8日), 伊豆諸島鳥島(1955年1月), 福岡県沖島(1963年5月25日) (山階鳥類研究所報告30号94ページ, 1968年)
- 15 カラフトミソサザイ *Troglodytes troglodytes dauricus* Dybowski & Taczanowski
新潟県佐渡郡加茂村河内(1953年1月5日) (野鳥新潟4号4ページ, 1964年), 島根県浜田港馬島(1938年12月) (鳥78号21ページ, 1961年—チョウセンミソサザイ [=カラフトミソサザイ] として報告)
- 16 シベリアセンニュウ *Locustella certhiola minor* David & Oustalet
北海道礼文島および利尻島(1952年夏) (日本鳥類目録改訂4版70ページ, 1958年)
- 17 ヤチセンニュウ *Locustella naevia mongolia* Sushkin
南千島クナシリ島(1963年6月4日) (V. A. Nechaev, Birds of the Southern Kuriles, 171ページ, 1969年), シコタン島(1948年8月24日) (A. I. Gizenko, Birds of Sakhalin, 282ページ, 1955年)
- 18 ミヤマビタキ *Muscicapa ferruginea* (Hodgson)
男女群島(1971年5月) (週刊世界動物百科120号, 1973年)
- 19 チョウセンオオルリ *Cyanoptila cyanomelana cumatilis* Thayer & Bangs
北海道(C. Vaurie, Birds of the Palearctic Fauna, 第1巻326ページ, 1959)

年)

20 キタシマアオジ *Emberiza aureola aureola* Pallas

日本(迷鳥) (C. Vaurie, Birds of the Palearctic Fauna 第1巻692 ページ, 1959年)

21 チョウセンオオジュリン *Emberiza schoeniclus pallidior* Hartert

新潟県柏崎市(1956年2月28日, 1965年2月28日) (野鳥32巻2号65ページ, 1967年)

22 サバンナシトド *Ammodramus sandwichensis* (Gmelin)

宮城県伊豆沼(1971年1月16日) (野鳥37巻7号36ページ, 1972年), 茨城県涸沼(1971年3月14日) (野鳥37巻7号37ページ, 1972年; 週刊世界動物百科76号, 1972年)

23 チョウセンカワラヒワ *Carduelis sinica ussuriensis* (Hartert)

島根県浜田(1941年3月5日) (鳥78号21ページ, 1961年)

24 ベニスズメ *Amandava amandava* (Linnaeus)

本州以南の草原で繁殖。

25 ブンチョウ *Padda oryzivora* (Linnaeus)

本州以南の草原で繁殖。

26 キンバラ *Lonchura malacca atricapilla* (Vieillot)

本州以南の草原で繁殖。

27 ホシムクドリ *Sturnus vulgaris* Linnaeus

鹿児島県出水市(1969年12月27日~1970年1月5日, 1974年1月4日~5日) (野鳥35巻6号21ページ, 1970年), 熊本県江津湖(1973年11月~12月) (野鳥39巻2号42ページ, 1974年)

NDC 488

日本鳥類目録

132P 212mm

学習研究社

日本鳥類目録

著作権者：日本鳥学会（国立科学博物館内）

郵便番号160 東京都新宿区百人町 3-23-1

印刷所・株式会社東京印書館

発行所・株式会社学習研究社

郵便番号145 東京都大田区上池台 4-40-5

電話・東京 (03) 720-1111 振替東京142930

©日本鳥学会——1974

昭和49年 3月20日印刷

昭和49年 3月30日発行

昭和50年10月30日第2刷発行

昭和54年 7月20日第3刷発行

この本に関するお問い合わせ、製本上のミスなどありましたら、下記あてをお願いします。

文書は、東京都大田区上池台 4-40-5 (〒145) 学研ユーザー・サービス部事務局

電話は、東京 (03) 720-1111 (大代表)
